

御浜町のまちづくりに関する アンケート調査結果報告書

【概要版】

令和6年8月

御 浜 町

目 次

I. 調査の概要及び回答者の属性	3
1. 調査の概要	3
(1) 調査目的	3
(2) 調査概要及び回収率等	3
(3) 本調査結果報告書の留意点	3
2. 回答者の属性	4
(1) 性別	4
(2) 年齢	4
(3) 職業・産業分類	5
(4) 就学先・勤務先	5
(5) 居住歴・出身地	6
(6) 居住地区	6
II. 調査結果(御浜町のまちづくりに関するアンケート調査)	9
1. 愛着度・定住意向について	9
(1) 愛着度について	9
(2) 今後の定住意向について	10
(3) 住み続けたい理由	11
(4) 住みたくない理由	12
2. まちの現状と今後の取り組みについて	13
(1) まちの各環境に対する満足度	13
(2) まちの各環境に対する重要度	32
(3) 今後のまちづくりの特色について	50
3. 若者の定住対策について	52
4. 防災対策について	53
(1) 防災対策で必要なこと	53
(2) 災害への備え対策について	54
5. 高齢者福祉について	56
6. 行政サービスについて	58
7. コミュニティ活動、参画・協働について	59
(1) コミュニティ活動（地域活動）等への参加状況と参加意向	59
(2) 参加したいコミュニティ活動（地域活動）等	60
(3) コミュニティ活動（地域活動）等に参加しない理由	62
(4) 町民参画・協働のために必要なこと	63
8. 日頃の行動について	65
(1) 生涯学習活動について	65
(2) スポーツ活動について	65
(3) 健康増進について	66
(4) かかりつけ医について	68
(5) 地域福祉活動について	68
(6) 地域とのつながりについて	69
III. 調査結果(御浜町の暮らしやすさの幸福度に関するアンケート調査)	73
1. 暮らしやすさの幸福度について	73
(1) 生活環境について	73
(2) 地域の間人関係について	75
(3) 自分らしい生き方について	76
(4) 幸福度について	77

I . 調査の概要及び回答者の属性

I. 調査の概要及び回答者の属性

1. 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、第6次御浜町総合計画の中間見直しを行い、令和8年から令和13年の5年間のまちづくりを進めるための後期基本計画の策定に向け、今後の定住意向をはじめ、各分野の満足度・重要度、今後のまちづくりの方向、若者の定住対策、防災対策、高齢者福祉など、町民の意識構造の実態把握を目的に実施しました。

(2) 調査概要及び回収率等

	内 容
調 査 対 象	18 歳以上の町民
抽 出 法	無作為抽出（住民基本台帳より抽出）
調 査 方 法	郵送による配布・回収及び Web 回答
調 査 時 期	令和6年7月
配 布 数	2,000
有効回収数	791
有効回収率	39.6%

(3) 本調査結果報告書の留意点

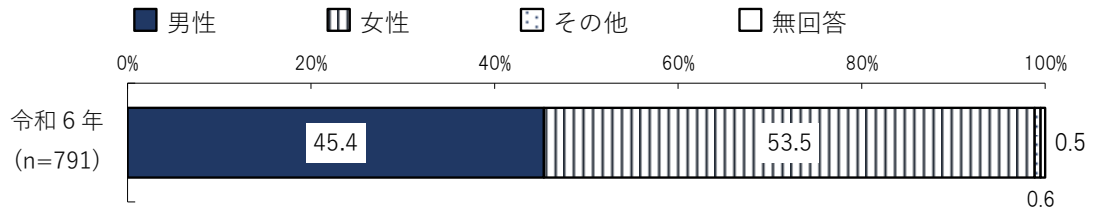
本報告書を理解する上で、次の点に留意する必要があります。

- 比率は百分率（%）で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しています。したがって、合計が100%を上下する場合があります。
- 基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率は回答数を100%として算出しています。
- 質問の終わりに【複数回答】とある設問は、1人の回答者が複数の回答を出してもよい設問のため、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- グラフ中の選択肢の文言は一部簡略化しています。
- 設問の中には「～に○をつけた方にうかがいます。」などいろいろな制限があり、また、回答者数が少なく、有意性の低いものも含まれます。

2. 回答者の属性

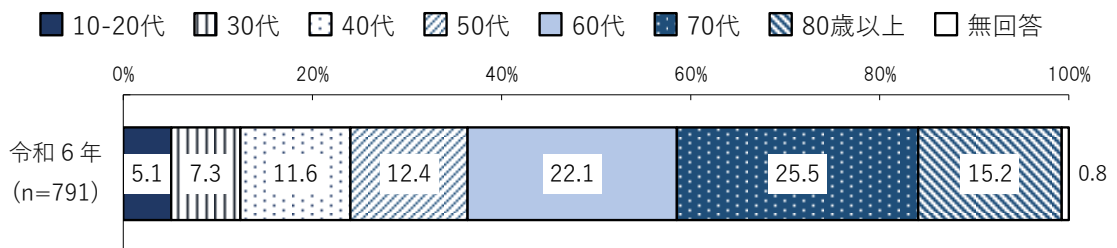
(1)性別

回答者の性別は、「女性」が 53.5%と最も高く、次いで「男性」(45.4%)、「その他」(0.6%) となっています。



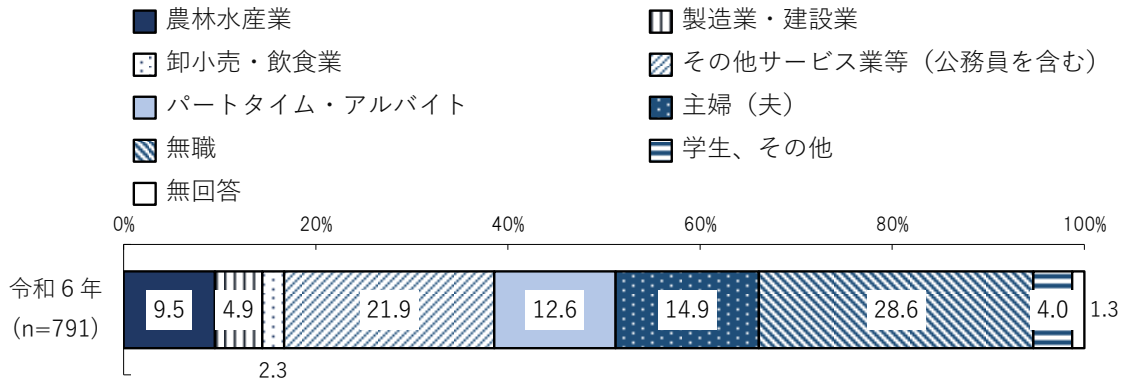
(2)年齢

回答者の年齢は、「70代」が 25.5%と最も高く、次いで「60代」(22.1%)、「80歳以上」(15.2%)、「50代」(12.4%)、「40代」(11.6%)、「30代」(7.3%)、「10-20代」(5.1%) の順となっています。

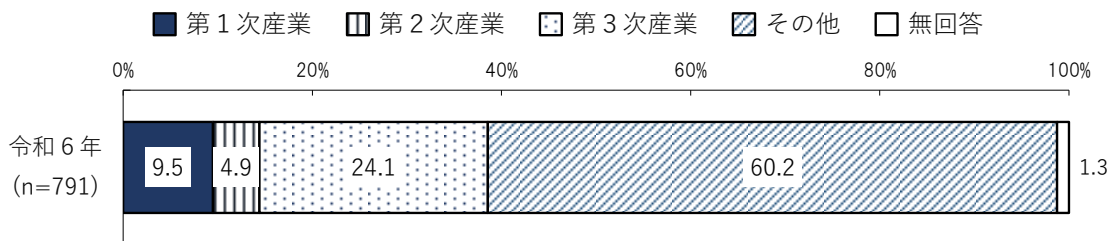


(3)職業・産業分類

回答者の職業をみると、「無職」が28.6%と最も高く、次いで「**その他サービス業等（公務員を含む）**」(21.9%)、「**主婦（夫）**」(14.9%)、「**パートタイム・アルバイト**」(12.6%)、「**農林水産業**」(9.5%)、「**製造業・建設業**」(4.9%)、「**学生、その他**」(4.0%)、「**卸小売・飲食業**」(2.3%)の順となっています。

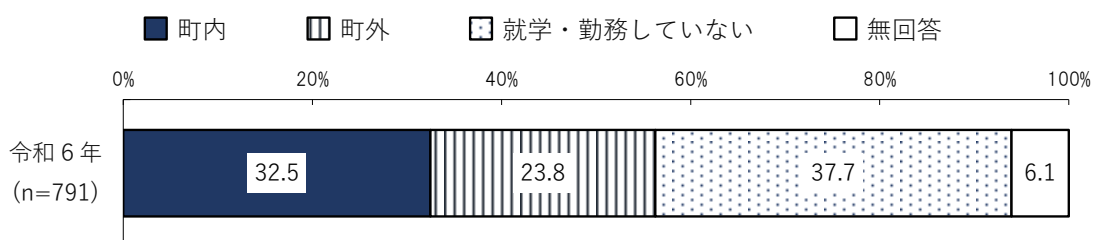


回答者の職業を産業分類でみると、「**第3次産業**」が24.1%と最も高く、次いで「**第1次産業**」(9.5%)、「**第2次産業**」(4.9%)の順となっています。



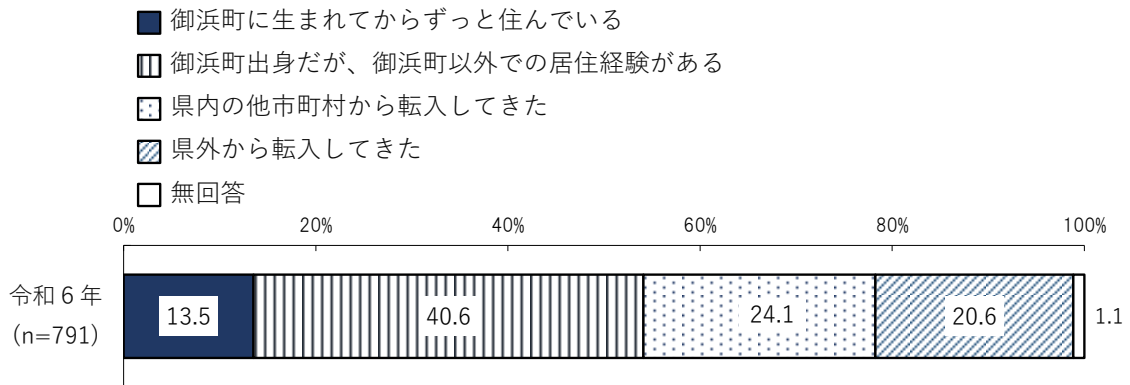
(4)就学先・勤務先

回答者の就学先・勤務先は、「**就学・勤務していない**」が37.7%と最も高く、次いで「**町内**」(32.5%)、「**町外**」(23.8%)の順となっています。

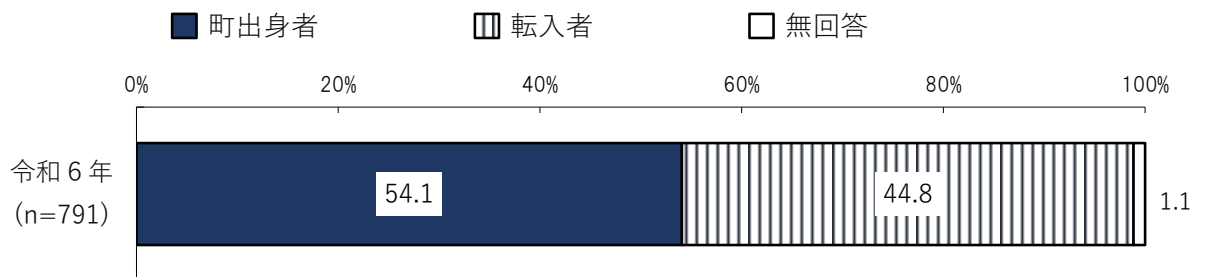


(5) 居住歴・出身地

回答者の居住歴は、「御浜町出身だが、御浜町以外での居住経験がある」が40.6%と最も高く、次いで「県内の他市町村から転入してきた」(24.1%)、「県外から転入してきた」(20.6%)、「御浜町に生まれてからずっと住んでいる」(13.5%)となっています。

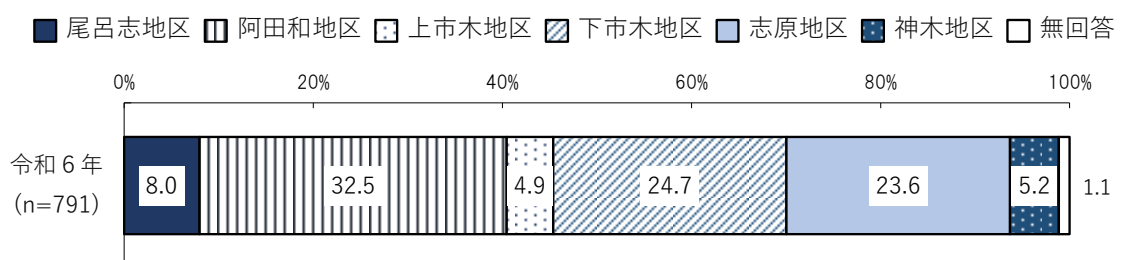


回答者の居住歴を「町出身者」(「御浜町に生まれてからずっと住んでいる」及び「御浜町出身だが、御浜町以外での居住経験がある」)、「転入者」(「県内の他市町村から転入してきた」及び「県外から転入してきた」)に区分すると、「町出身者」が54.1%、「転入者」が44.8%となっています。



(6) 居住地区

回答者の居住地区は、「阿田和地区」が32.5%と最も高く、次いで「下市木地区」(24.7%)、「志原地区」(23.6%)、「尾呂志地区」(8.0%)、「神木地区」(5.2%)、「上市木地区」(4.9%)となっています。



II. 調査結果

(御浜町のまちづくりに関するアンケート調査)

Ⅱ. 調査結果(御浜町のまちづくりに関するアンケート調査)

1. 愛着度・定住意向について

(1) 愛着度について

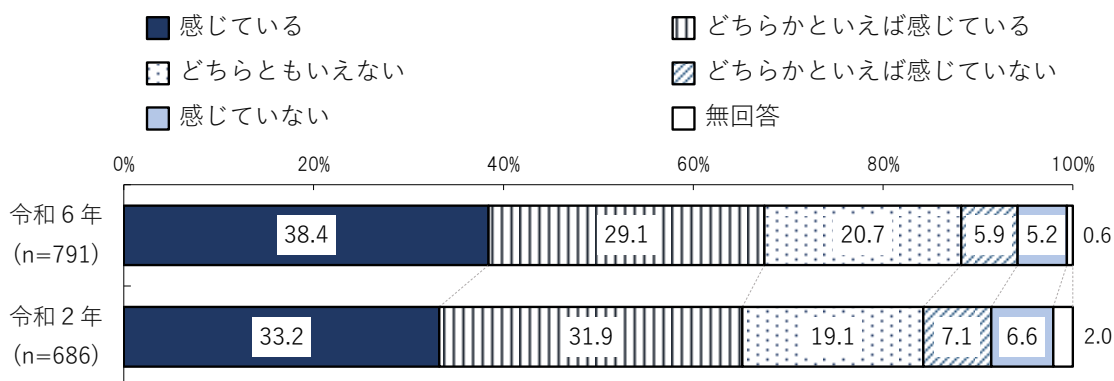
問2 あなたは、御浜町に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。

■『愛着を感じている』は67.5%。「どちらともいえない」は20.7%、『愛着を感じていない』は11.1%。

御浜町に対する愛着をたずねたところ、愛着を「感じている」が38.4%で最も多く、次いで「どちらかといえば感じている」が29.1%で続き、これらをあわせた愛着を『感じている』という人が67.5%となっています。これに対して、『愛着を感じていない』（「どちらかといえば感じていない」5.9%及び「感じていない」5.2%の合計）は11.1%にとどまります。なお、「どちらともいえない」は20.7%となっています。

また、愛着を『感じている』割合は令和2年調査の2.4ポイント微増しています。

愛着度について（全体）



(2) 今後の定住意向について

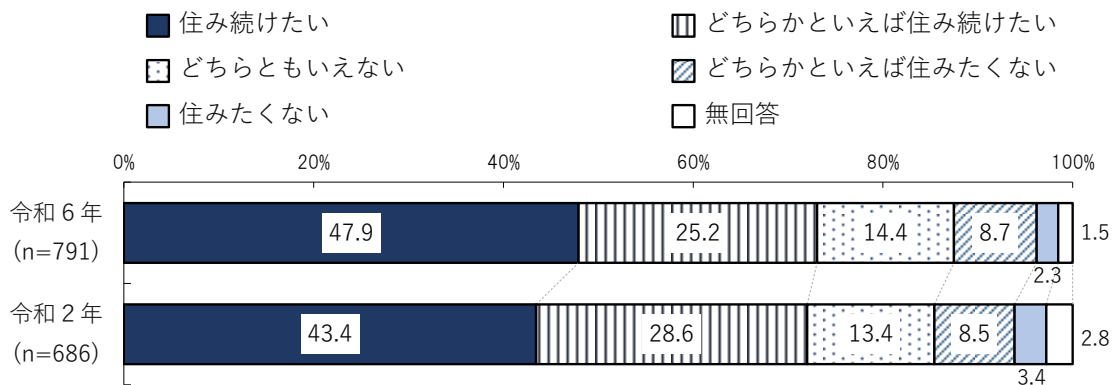
問3① あなたは、今後も御浜町に住み続けたいと思いますか。

■『住み続けたい』は73.1%。「どちらともいえない」は14.4%、『住みたくない』は11.0%。

今後も御浜町に住み続けたいかどうかをたずねたところ、「住み続けたい」が47.9%で最も多く、次いで「どちらかといえば住み続けたい」が25.2%で続き、これらをあわせた73.1%の人が『住み続けたい』という意向を示しています。これに対して、『住みたくない』（「どちらかといえば住みたくない」8.7%及び「住みたくない」2.3%の合計）は11.0%にとどまります。なお、「どちらともいえない」は14.4%となっています。

また、『住み続けたい』割合は令和2年調査の1.1ポイント微増しています。

今後の定住意向について（全体）



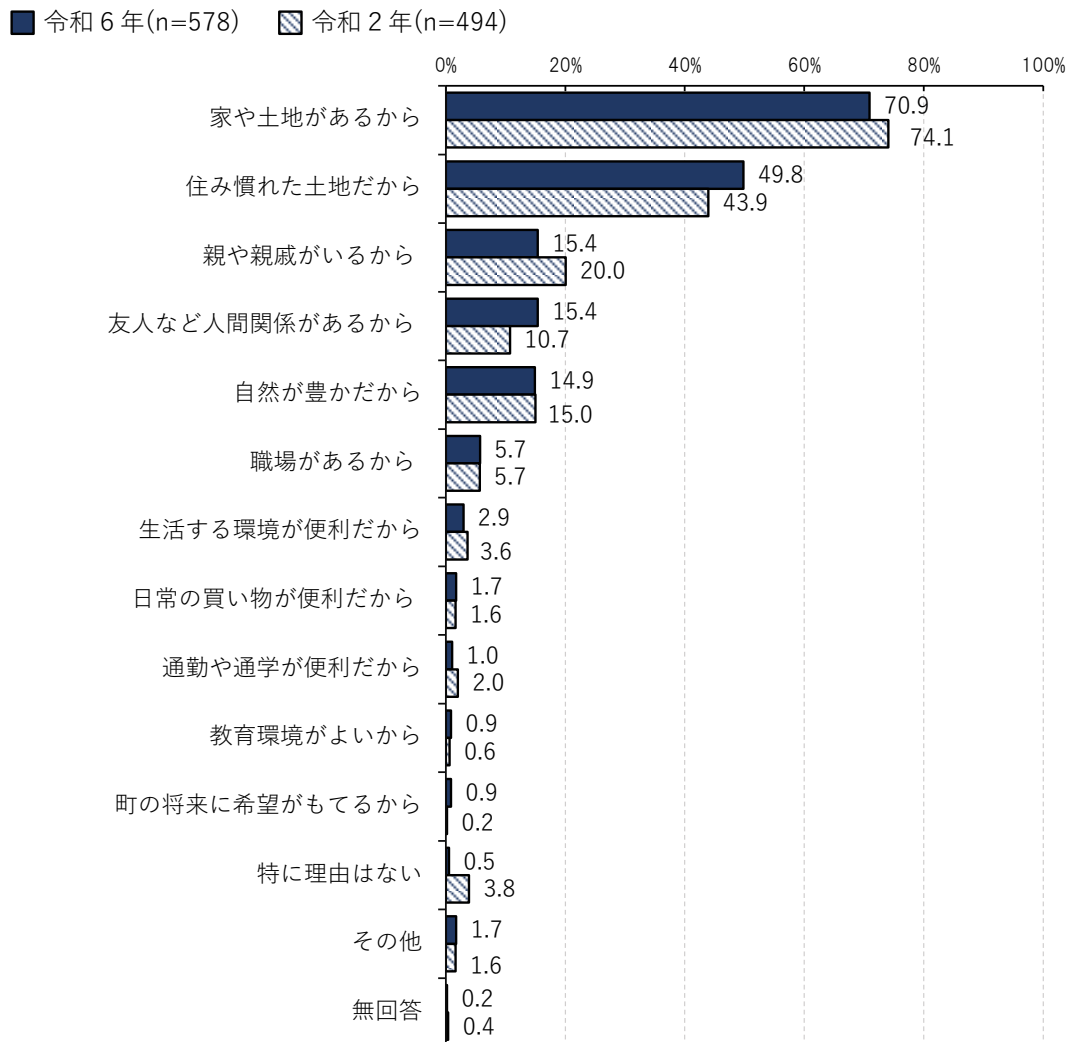
(3)住み続けたい理由

問3② 住み続けたい主な理由は何ですか。(問3①で『住み続けたい』と回答した人のみ)
【複数回答】

■「家や土地があるから」が第1位。次いで「住み慣れた土地だから」が続く。

問3①で『住み続けたい』と回答した人(73.1%、578人)に、その理由をたずねたところ、「家や土地があるから」が70.9%と第1位に挙げられ、次いで「住み慣れた土地だから」(49.8%)などの順となっています。

住み続けたい理由(全体/複数回答、『住み続けたい』と回答した人のみ)



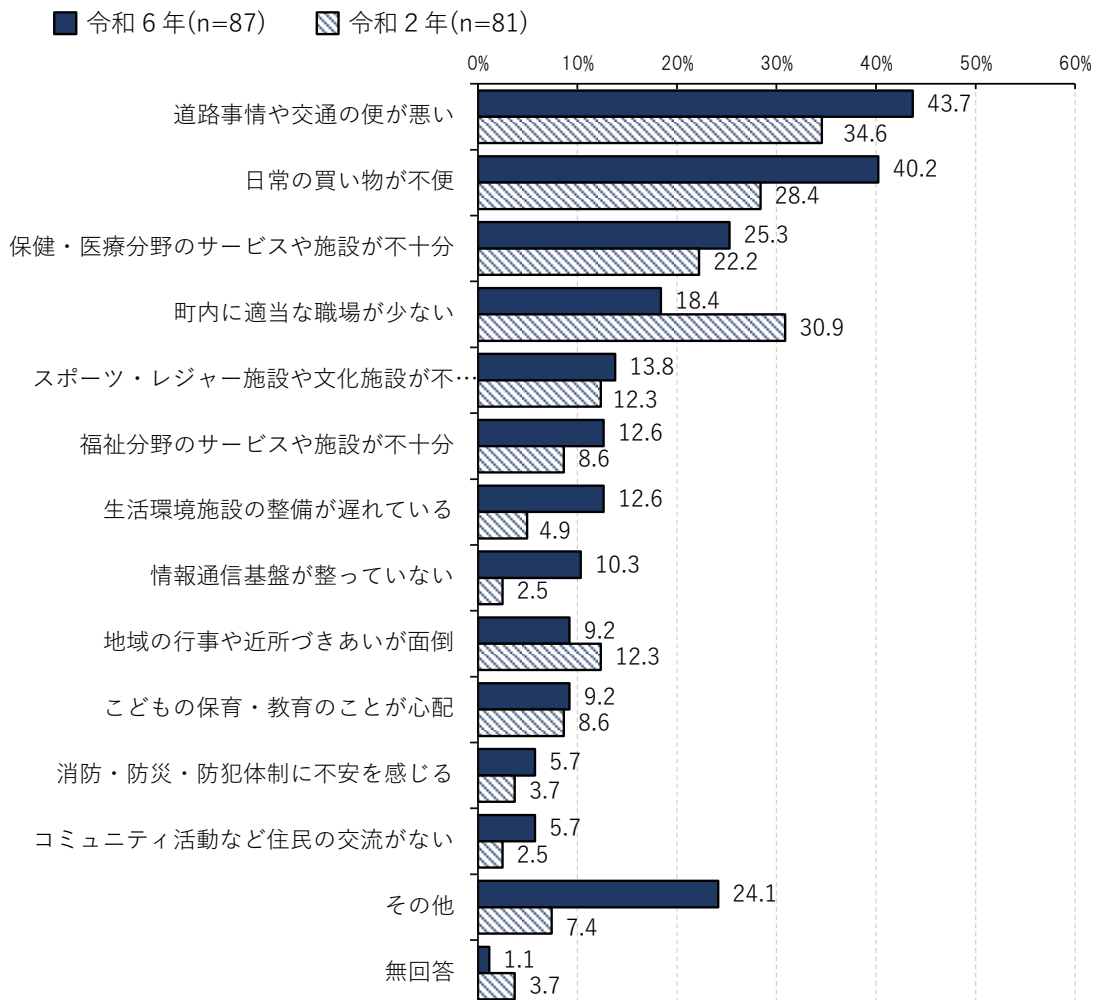
(4)住みたくない理由

問3③ 住みたくない主な理由は何ですか。(問3①で『住みたくない』と回答した人のみ)
【複数回答】

■「道路事情や交通の便が悪い」が第1位。次いで「日常の買い物が不便」、「保健・医療分野のサービスや施設が不十分」が続く。

問3①で『住みたくない』と回答した人(11.0%、87人に、その理由をたずねたところ、「道路事情や交通の便が悪い」が43.7%と第1位に挙げられ、次いで「日常の買い物が不便」(40.2%)、「保健・医療分野のサービスや施設が不十分」(25.3%)、「町内に適当な職場が少ない」(18.4%)等の順となっています。

住みたくない理由(全体/複数回答、『住みたくない』と回答した人のみ)



2. まちの現状と今後の取り組みについて

(1) まちの各環境に対する満足度

問4 あなたは、町の施策やサービス、生活環境について満足していますか。また、どの程度重要だと思いますか。

- 満足度が最も高い項目は「健康づくり」。次で「上下水道」、「消防・防災」、「ごみ・し尿処理」、「交通安全・防犯」の順。
- 満足度が最も低い項目は「商工業」。次いで「集客交流産業」、「雇用対策」、「土地利用」、「道路・交通網」の順。

町の施策やサービス、生活環境について6分野 33項目を設定し、「非常に満足」、「満足」、「どちらでもない」、「不満」、「非常に不満」の5段階で評価した回答結果を、満足度として点数化※しました。

その結果をみると、満足度が最も高い項目は「3-①健康づくり」(2.21点)となっており、次いで「5-②上下水道」(1.49点)、「5-④消防・防災」(1.20点)、「5-③ごみ・し尿処理」(1.07点)、「5-⑤交通安全・防犯」(0.79点)が続きます。

一方、満足度が最も低い項目は「1-③商工業」(-2.29点)となっており、次いで「1-④集客交流産業」(-2.18点)、「1-⑤雇用対策」(-2.06点)、「2-①土地利用」(-1.83点)、「2-④道路・交通網」(-1.69点)など、産業分野の項目への評価が厳しい結果となっています。

また、設定した33項目のうち、評価がプラス点の項目は10項目、マイナス点の項目は23項目となっています。

満足度（全体／評価点、上位・下位項目）

上位	項目	評価点	下位	項目	評価点
1	3-①健康づくり	2.21	1	1-③商工業	-2.29
2	5-②上下水道	1.49	2	1-④集客交流産業	-2.18
3	5-④消防・防災	1.20	3	1-⑤雇用対策	-2.06
4	5-③ごみ・し尿処理	1.07	4	2-①土地利用	-1.83
5	5-⑤交通安全・防犯	0.79	5	2-④道路・交通網	-1.69

※評価点の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{(\text{「非常に満足」の回答者数} \times 10 \text{点}) + (\text{「満足」の回答者数} \times 5 \text{点}) + (\text{「どちらでもない」の回答者数} \times 0 \text{点}) + (\text{「不満」の回答者数} \times -5 \text{点}) + (\text{「非常に不満」の回答者数} \times -10 \text{点})}{(\text{「非常に満足」、「満足」、「どちらでもない」、「不満」、「非常に不満」の回答者数})}$$

また、令和2年調査と比較すると、ほとんどの項目で満足度が上がって（不満度が下がる）おり、特に「3-①健康づくり」と「3-②医療体制」が向上しています。一方、「2-①土地利用」と「2-②景観」は変化がありません。

さらに、満足度の上位項目を年齢別で見ると、30代は「5-④消防・防災」ですが、その他の年代では「3-①健康づくり」が第1位に挙げられています。

居住地区別で見ると、全ての地区で「3-①健康づくり」が第1位となっています。

一方、満足度の下位項目を年齢別で見ると、10-20代・60代では「1-⑤雇用対策」、30代では「3-②医療体制」、40代では「1-④集客交流産業」、50代では「2-④道路・交通網」、70代では「1-③商工業」、80歳以上では「2-①土地利用」が最下位となっています。

居住地区別で見ると、尾呂志地区・上市木地区では「1-⑤雇用対策」、阿田和地区・下市木地区・神木地区では「2-③居住環境」、志原地区では「2-①土地利用」が最下位となっています。

満足度上位・下位項目（年齢別／評価点、上位・下位項目）

10-20代

上位	項目	評価点
1	3-①健康づくり	2.38
1	5-②上下水道	2.38
3	5-③ごみ・し尿処理	1.75
4	5-①自然環境の保全	1.63
4	5-④消防・防災	1.63
下位	項目	評価点
1	1-⑤雇用対策	-1.88
2	2-④道路・交通網	-1.63
3	1-③商工業	-1.38
4	1-④集客交流産業	-1.13
5	2-③居住環境	-0.75

30代

上位	項目	評価点
1	5-④消防・防災	1.49
2	3-①健康づくり	1.14
3	5-⑤交通安全・防犯	0.96
4	6-①町民参画	0.70
5	6-③人権・男女共同参画	0.61
下位	項目	評価点
1	3-②医療体制	-2.89
2	2-③居住環境	-2.63
3	1-③商工業	-2.46
4	2-④道路・交通網	-2.37
4	2-①土地利用	-2.37

40代

上位	項目	評価点
1	3-①健康づくり	1.56
2	5-②上下水道	1.04
3	5-⑤交通安全・防犯	0.83
4	5-⑥消費者対策	0.45
5	5-④消防・防災	0.38
下位	項目	評価点
1	1-④集客交流産業	-3.02
2	1-③商工業	-2.69
3	3-②医療体制	-2.17
4	1-⑤雇用対策	-1.76
5	2-③居住環境	-1.72

50代

上位	項目	評価点
1	3-①健康づくり	1.60
2	5-③ごみ・し尿処理	1.09
3	5-④消防・防災	0.82
4	5-②上下水道	0.73
5	5-⑤交通安全・防犯	0.62
下位	項目	評価点
1	2-④道路・交通網	-2.63
2	1-⑤雇用対策	-2.58
3	1-③商工業	-2.53
4	3-②医療体制	-2.37
5	1-④集客交流産業	-2.24

60代

上位	項目	評価点
1	3-①健康づくり	2.24
2	5-②上下水道	1.20
3	5-④消防・防災	1.08
4	5-③ごみ・し尿処理	0.85
5	5-⑤交通安全・防犯	0.68
下位	項目	評価点
1	1-⑤雇用対策	-2.54
2	1-④集客交流産業	-2.41
3	1-③商工業	-2.35
4	3-②医療体制	-1.96
5	2-①土地利用	-1.92

70代

上位	項目	評価点
1	3-①健康づくり	2.34
2	5-②上下水道	1.98
3	5-③ごみ・し尿処理	1.31
4	5-④消防・防災	1.29
5	5-⑤交通安全・防犯	0.65
下位	項目	評価点
1	1-③商工業	-2.43
2	2-①土地利用	-2.16
3	1-④集客交流産業	-2.13
4	2-④道路・交通網	-1.85
5	1-⑤雇用対策	-1.72

80歳以上

上位	項目	評価点
1	3-①健康づくり	3.72
2	5-③ごみ・し尿処理	2.79
3	5-②上下水道	2.66
4	5-④消防・防災	2.02
5	3-③地域福祉	1.63
下位	項目	評価点
1	2-①土地利用	-2.01
2	1-③商工業	-1.59
3	1-⑤雇用対策	-1.47
4	1-④集客交流産業	-1.39
5	1-①農業	-0.98

尾呂志地区

上位	項目	評価点
1	3-①健康づくり	2.09
2	5-④消防・防災	1.27
3	5-⑤交通安全・防犯	1.18
4	4-①学校教育	1.11
5	5-③ごみ・し尿処理	0.70
下位	項目	評価点
1	2-①土地利用	-2.64
2	2-④道路・交通網	-2.41
3	1-①農業	-2.24
4	1-②林業・水産業	-2.18
5	1-⑤雇用対策	-1.89

阿田和地区

上位	項目	評価点
1	3-①健康づくり	2.18
2	5-②上下水道	1.89
3	5-④消防・防災	1.03
4	5-⑤交通安全・防犯	0.88
5	5-③ごみ・し尿処理	0.85
下位	項目	評価点
1	2-①土地利用	-2.37
2	1-③商工業	-2.26
3	1-⑤雇用対策	-2.23
4	1-④集客交流産業	-2.16
5	2-③居住環境	-1.85

上市木地区

上位	項目	評価点
1	3-①健康づくり	3.47
2	5-②上下水道	2.57
3	5-④消防・防災	2.50
4	5-③ごみ・し尿処理	2.11
5	5-⑤交通安全・防犯	2.08
下位	項目	評価点
1	1-③商工業	-2.36
2	1-④集客交流産業	-2.08
3	2-③居住環境	-1.86
4	2-④道路・交通網	-1.49
5	1-⑤雇用対策/2-①土地利用	-1.39

下市木地区

上位	項目	評価点
1	3-①健康づくり	2.10
2	5-④消防・防災	1.08
3	5-③ごみ・し尿処理	0.97
4	5-⑤交通安全・防犯	0.96
5	5-②上下水道	0.83
下位	項目	評価点
1	1-③商工業	-2.51
2	1-④集客交流産業	-2.36
3	1-⑤雇用対策	-2.11
4	2-①土地利用	-1.51
5	2-③居住環境	-1.29

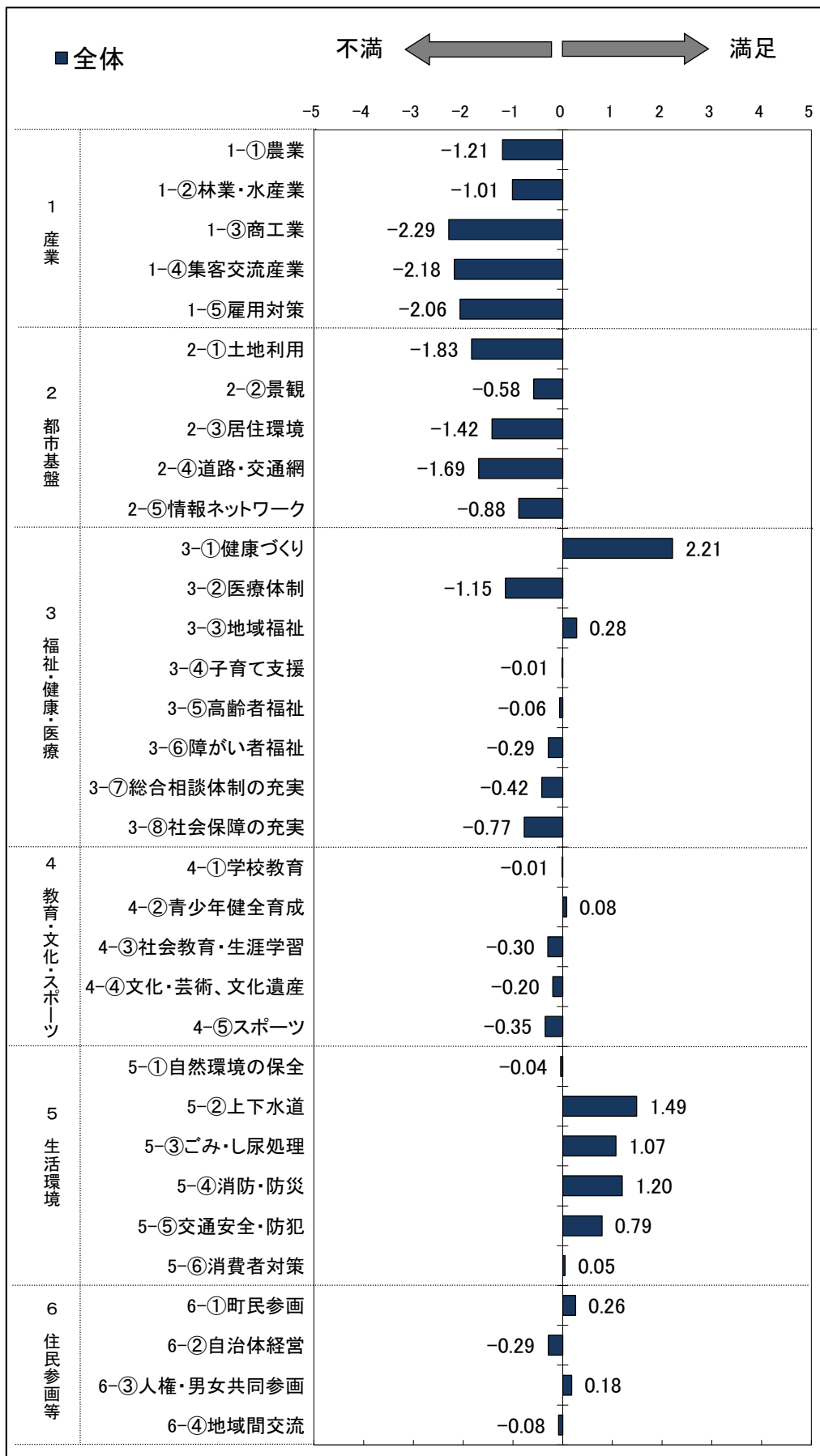
志原地区

上位	項目	評価点
1	3-①健康づくり	2.12
2	5-②上下水道	1.49
3	5-③ごみ・し尿処理	1.31
4	5-④消防・防災	1.10
5	3-③地域福祉	0.28
下位	項目	評価点
1	1-④集客交流産業	-2.27
2	1-⑤雇用対策	-2.08
3	2-④道路・交通網	-2.06
4	1-③商工業	-2.03
5	2-①土地利用	-1.23

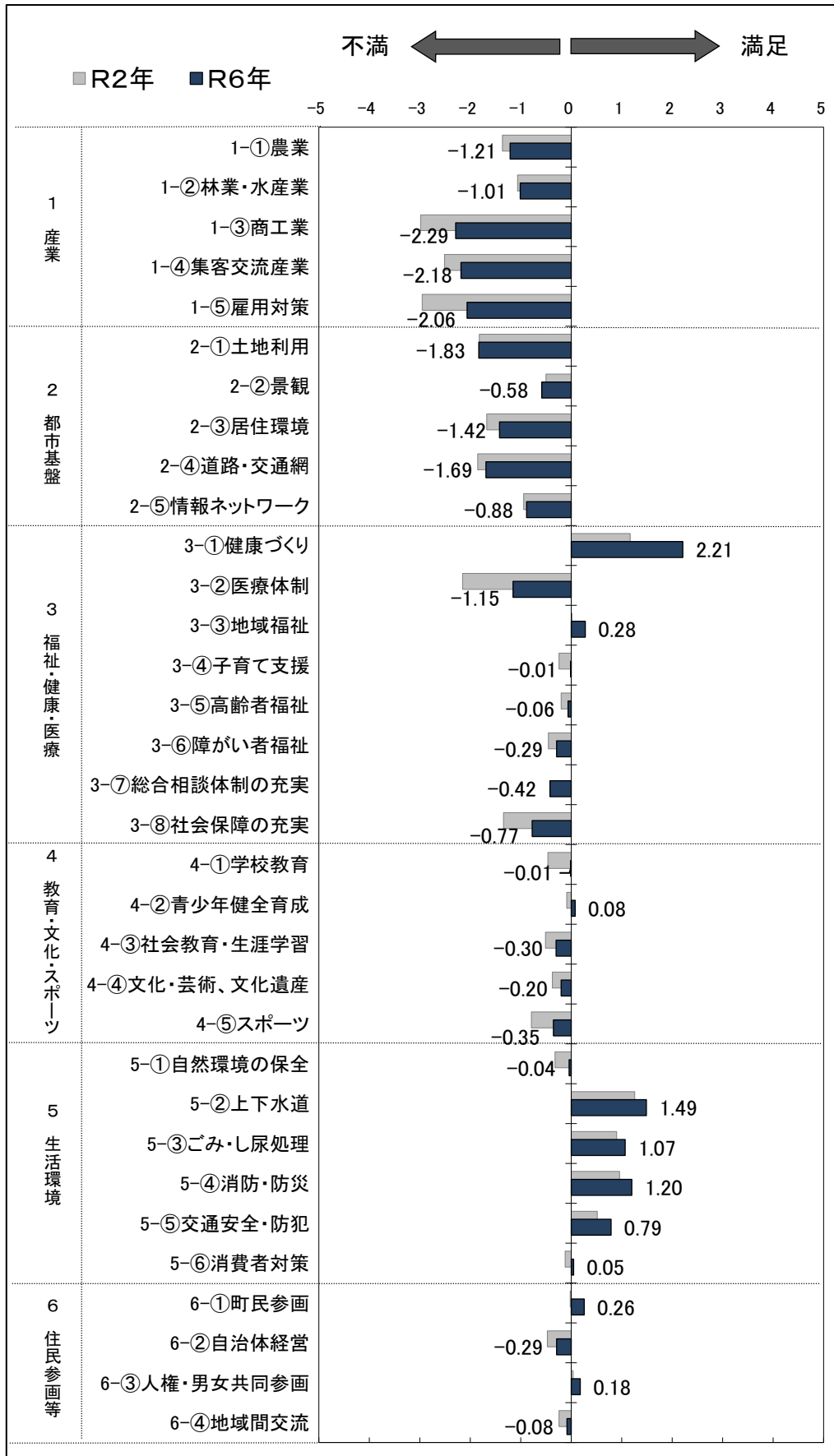
神木地区

上位	項目	評価点
1	3-①健康づくり	2.30
2	5-②上下水道	2.08
3	5-④消防・防災	1.39
4	5-③ごみ・し尿処理	1.25
5	5-⑤交通安全・防犯	0.56
下位	項目	評価点
1	1-③商工業	-3.97
2	1-④集客交流産業	-2.58
3	1-①農業	-2.22
4	2-①土地利用	-2.21
5	2-③居住環境	-2.06

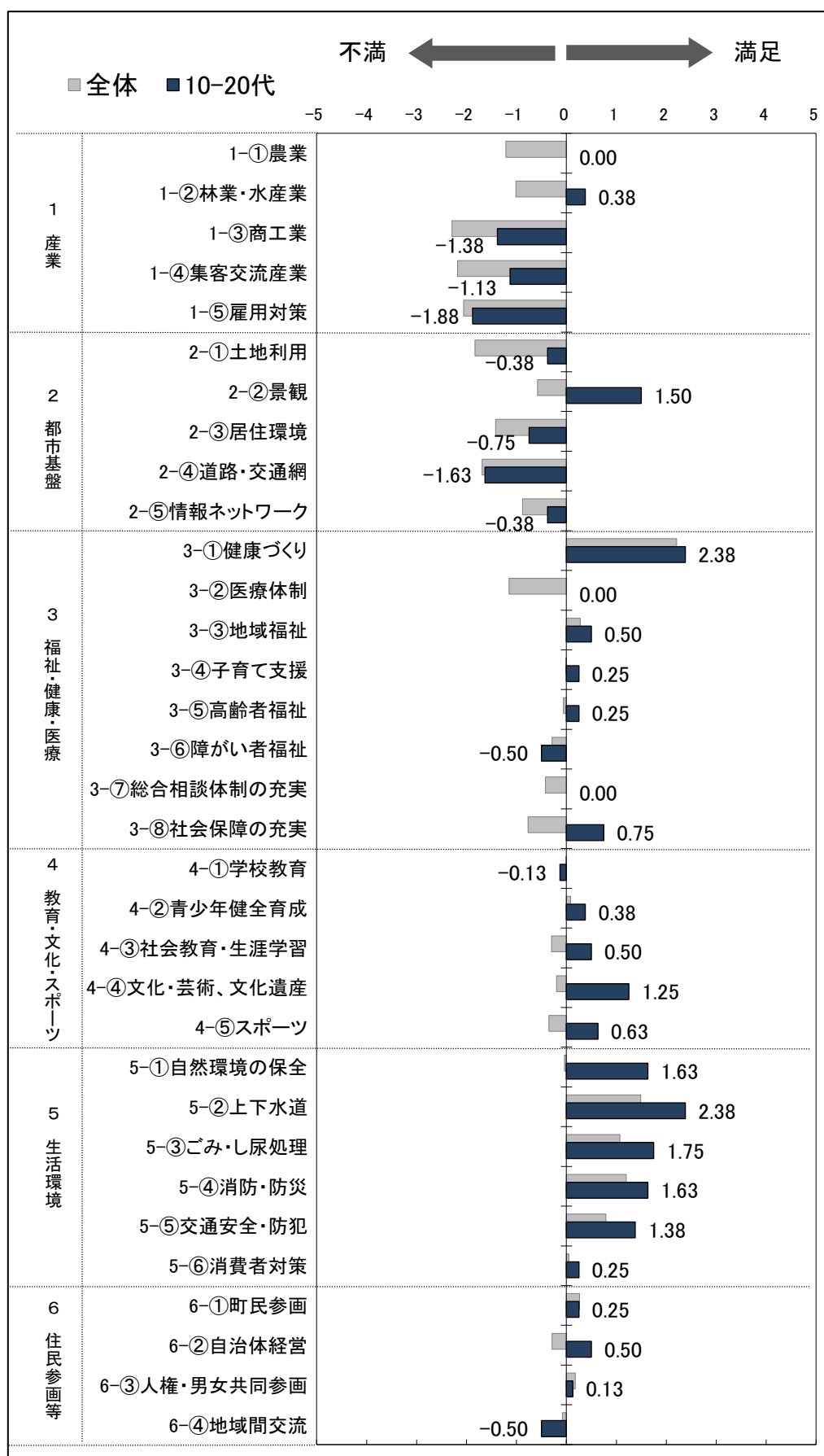
満足度上位・下位項目（居住地区別／評価点、上位・下位項目）
満足度（全体／評価点）



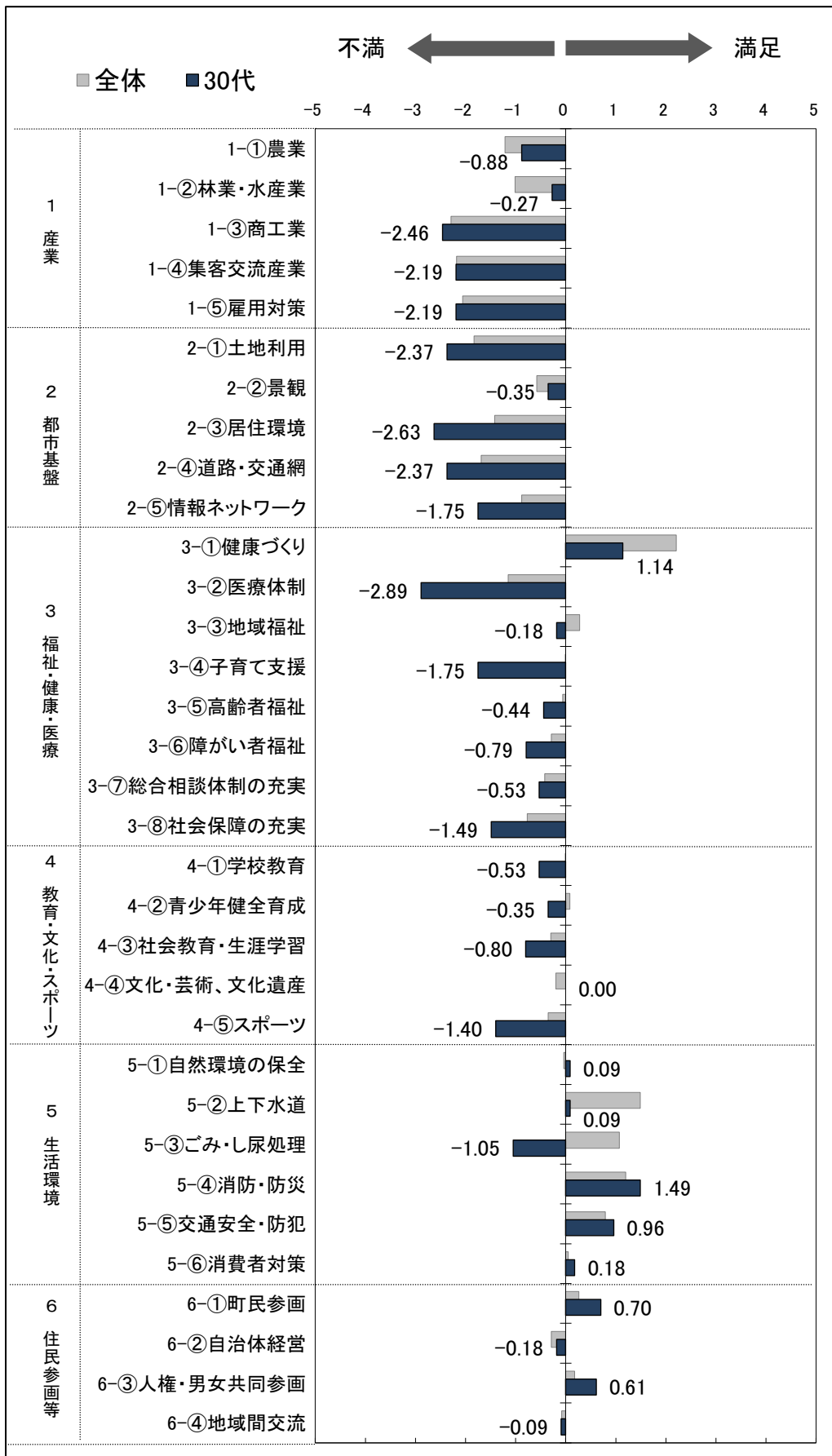
満足度（R6全体、R2全体／評価点）



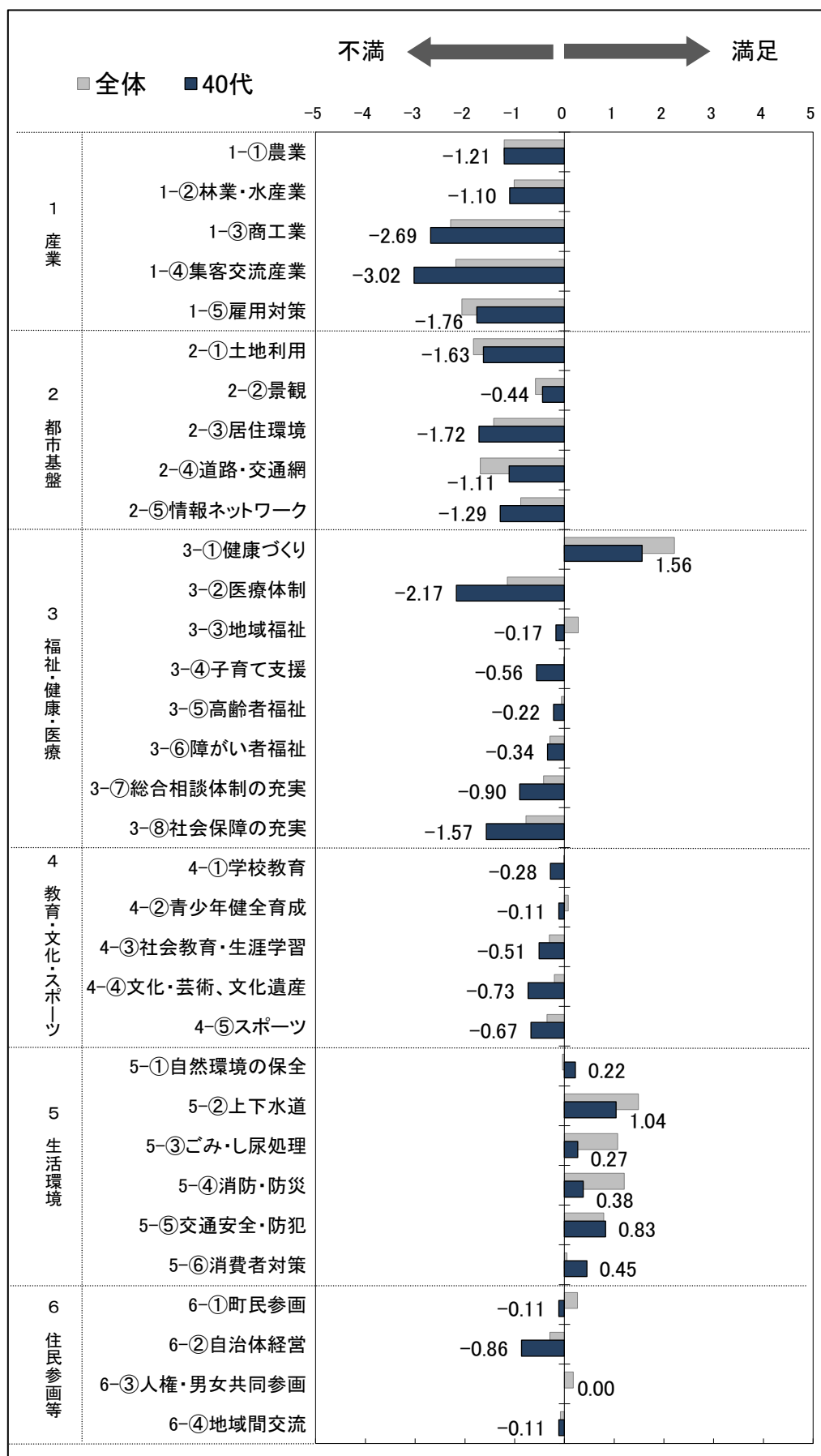
満足度（全体、10-20代／評価点）



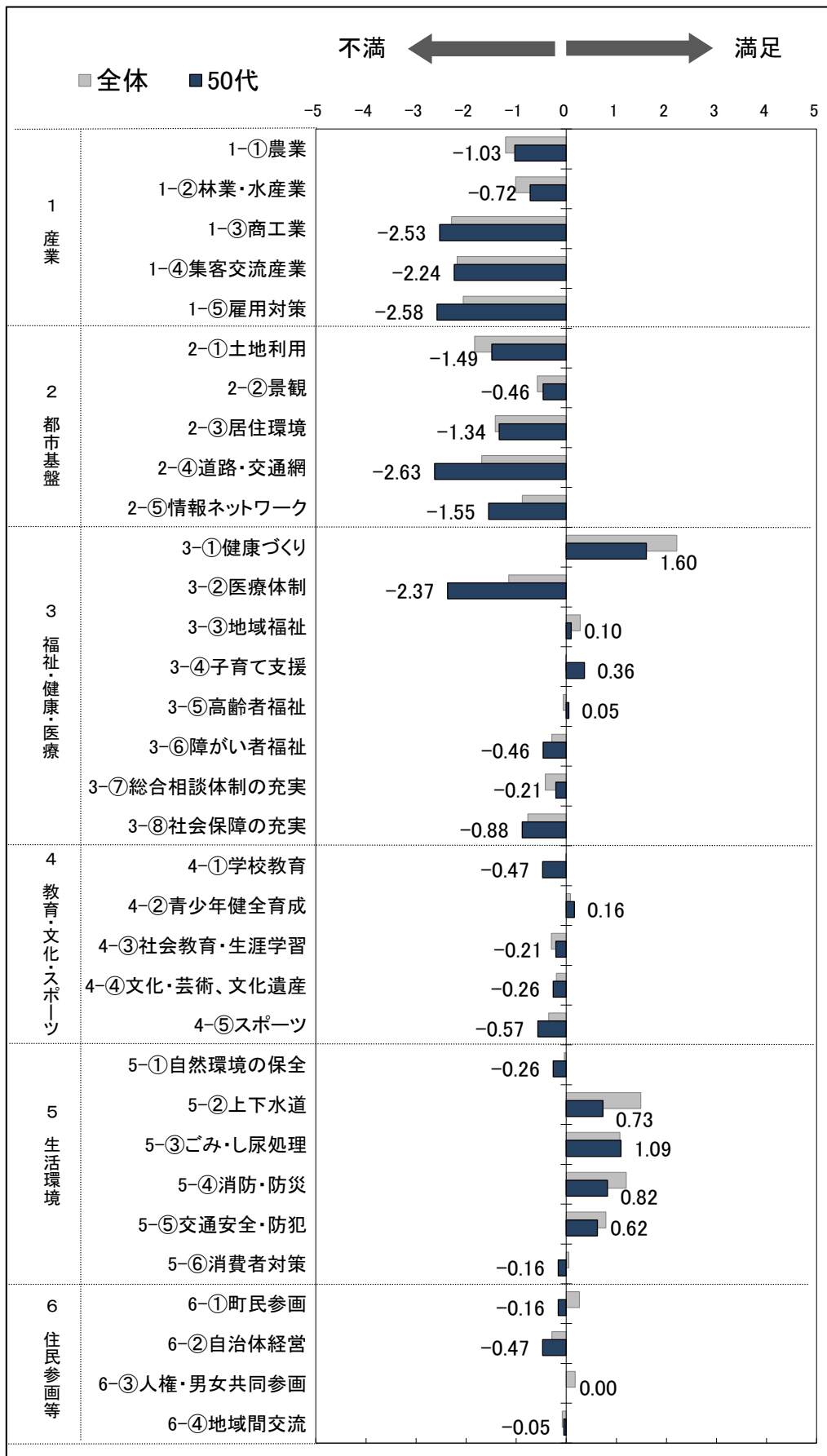
満足度（全体、30代／評価点）



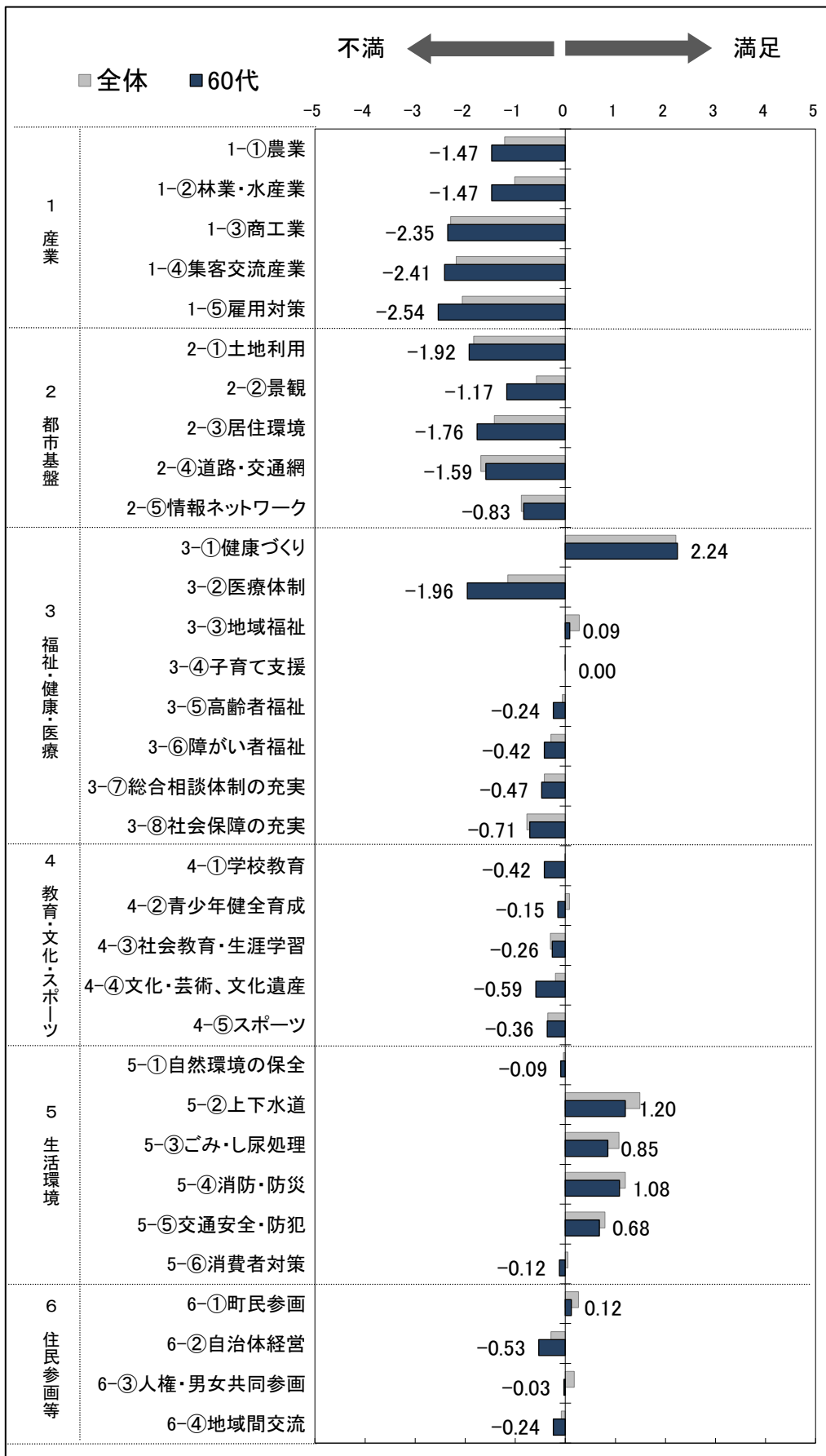
満足度（全体、40代／評価点）



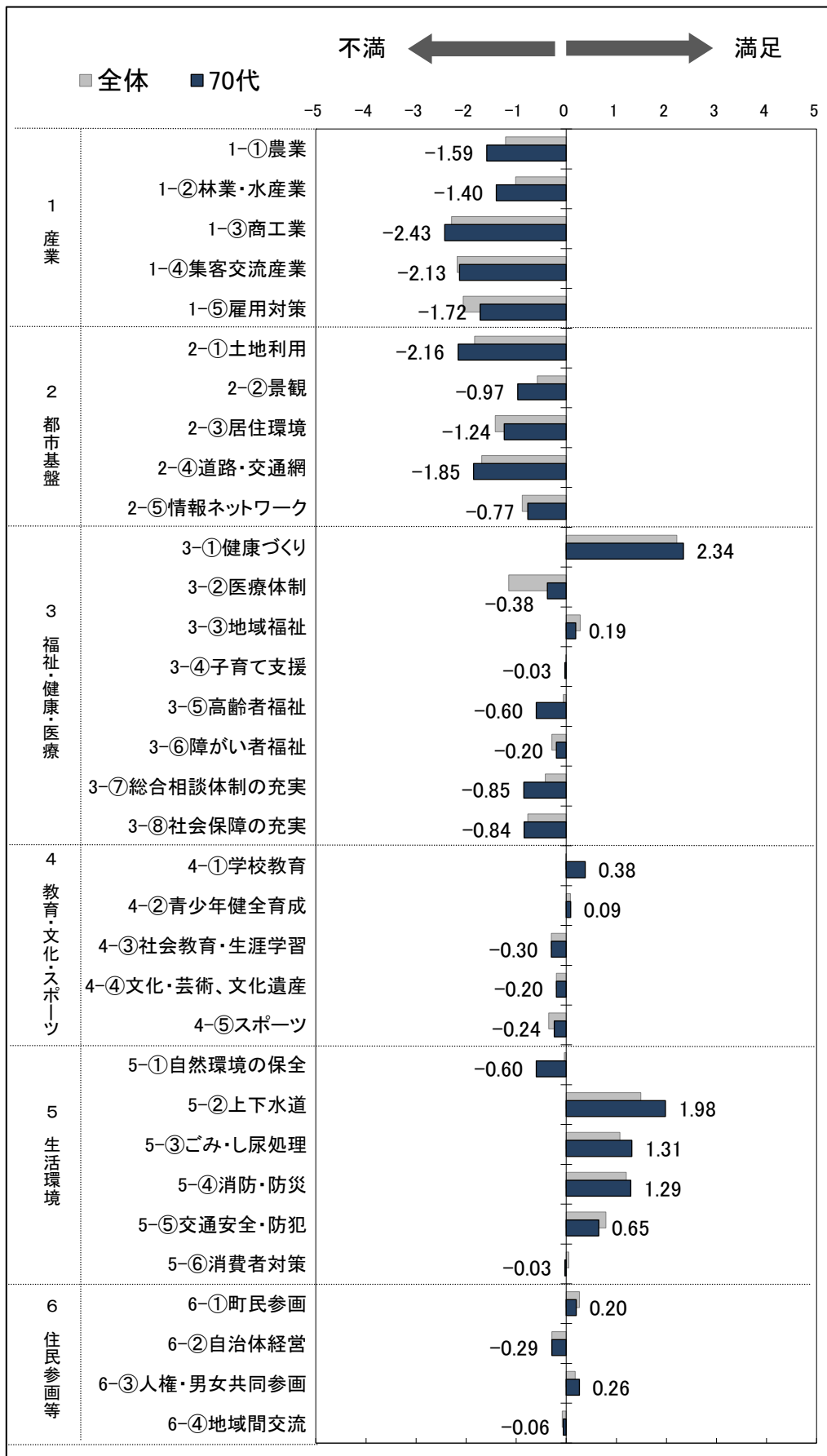
満足度（全体、50代／評価点）



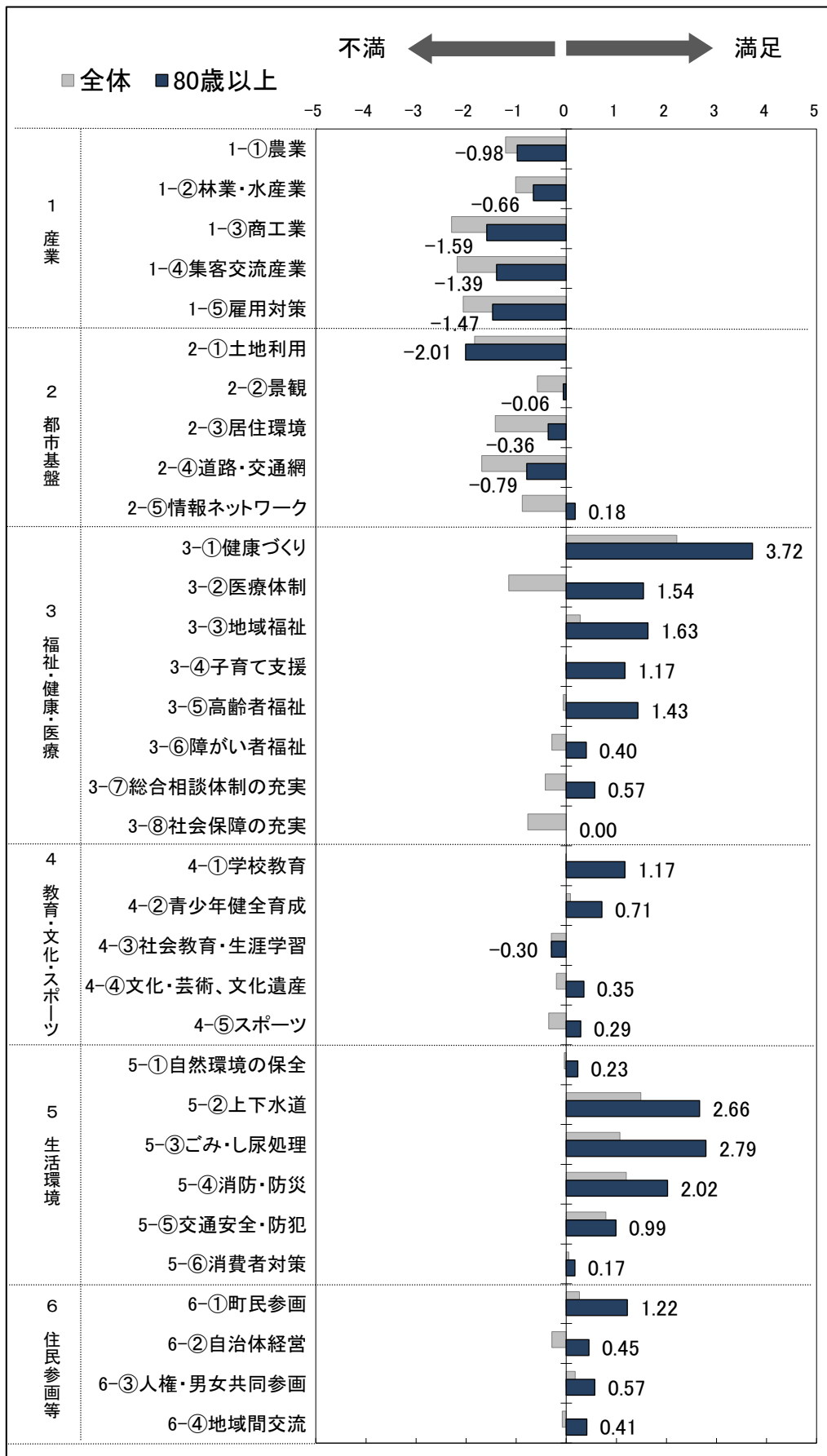
満足度（全体、60代／評価点）



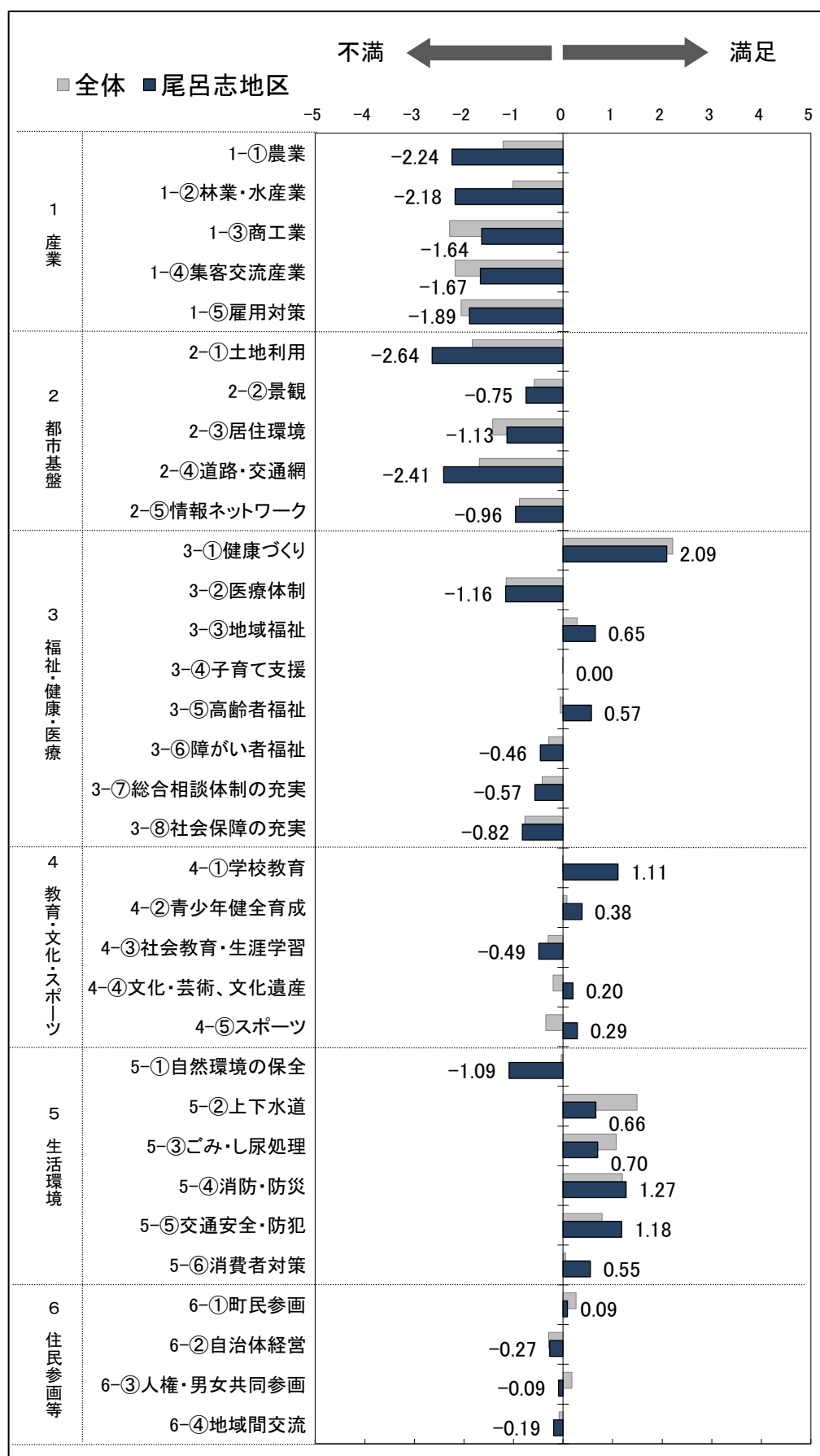
満足度（全体、70代／評価点）



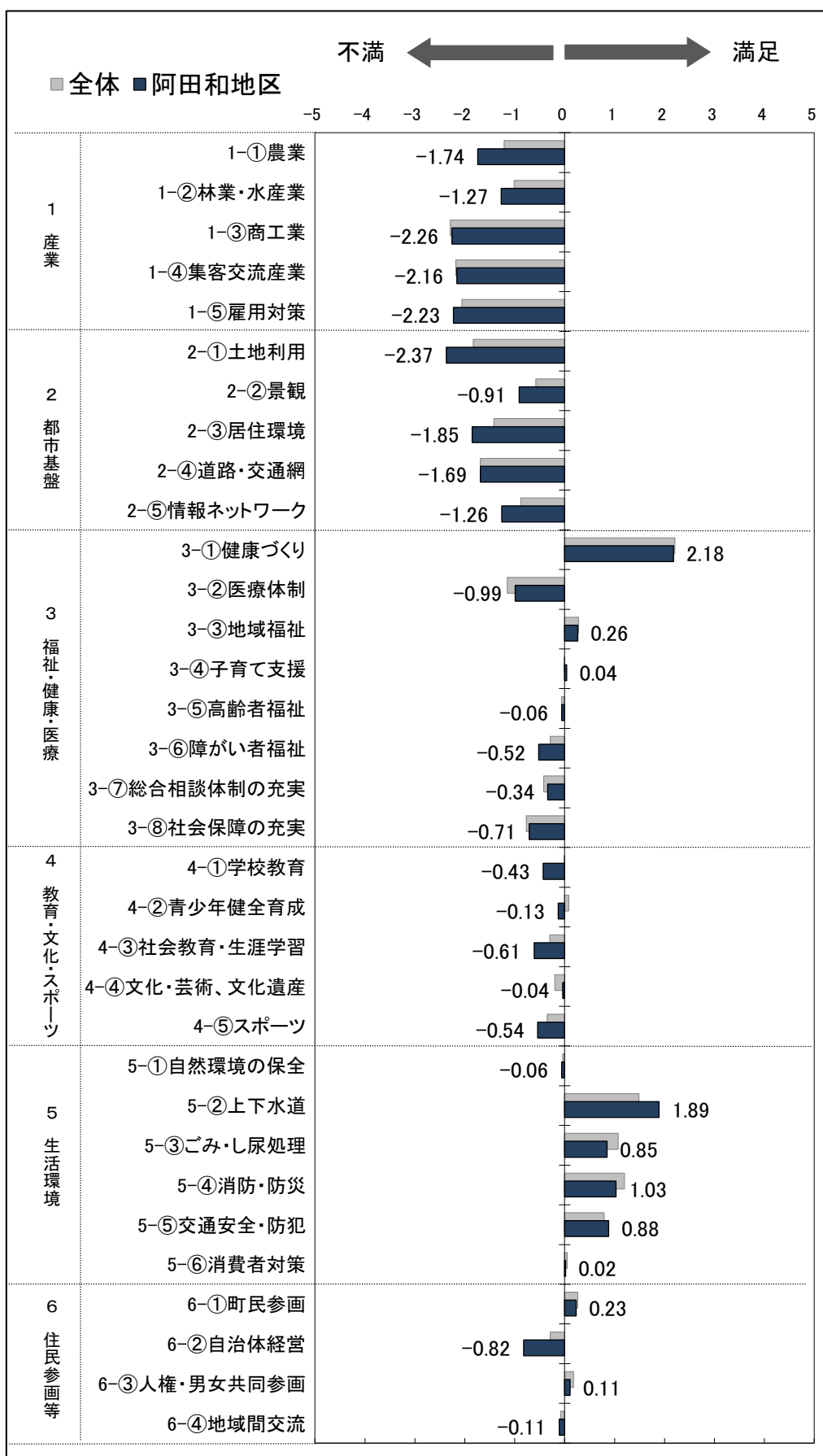
満足度（全体、80歳以上／評価点）



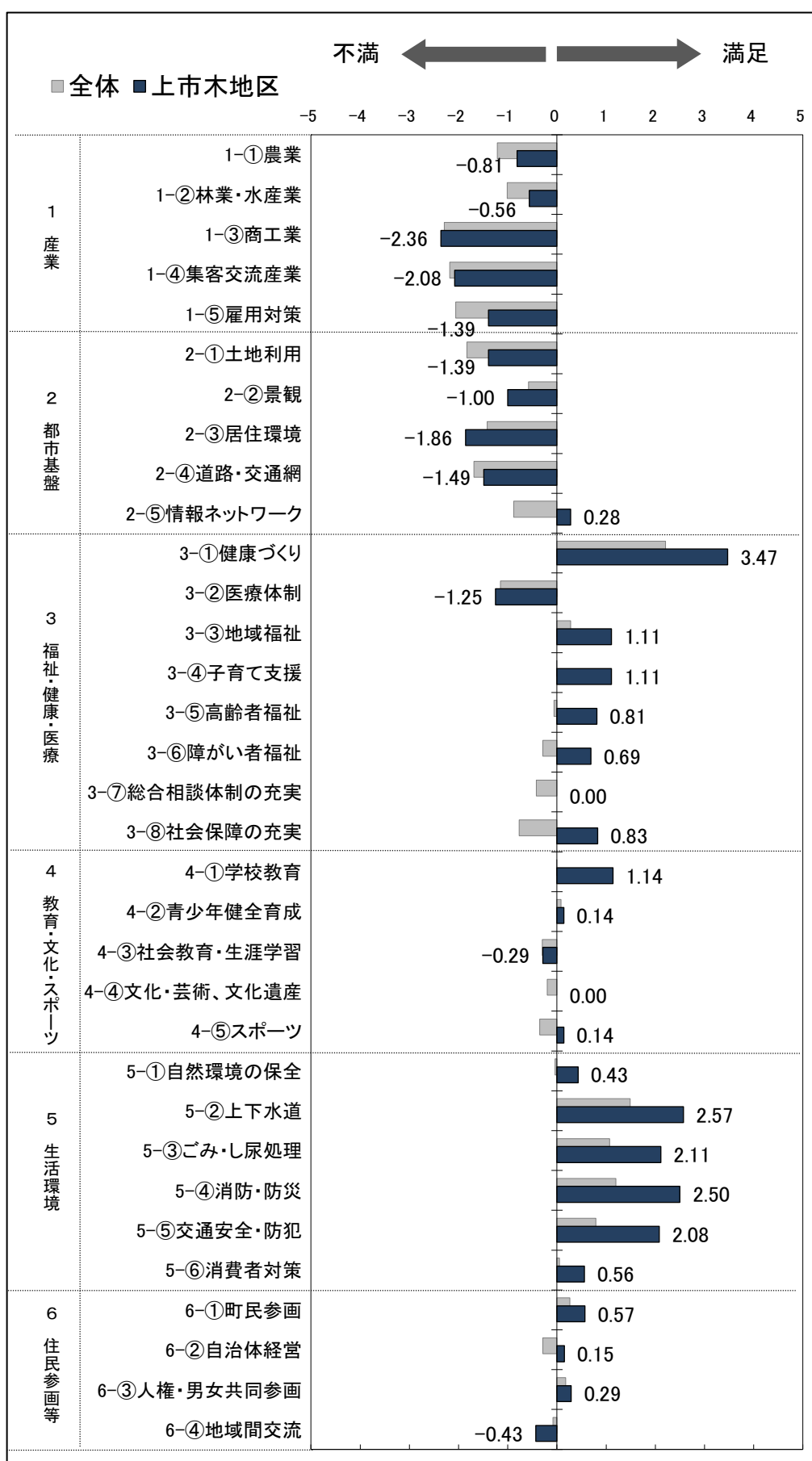
満足度（全体、尾呂志地区／評価点）



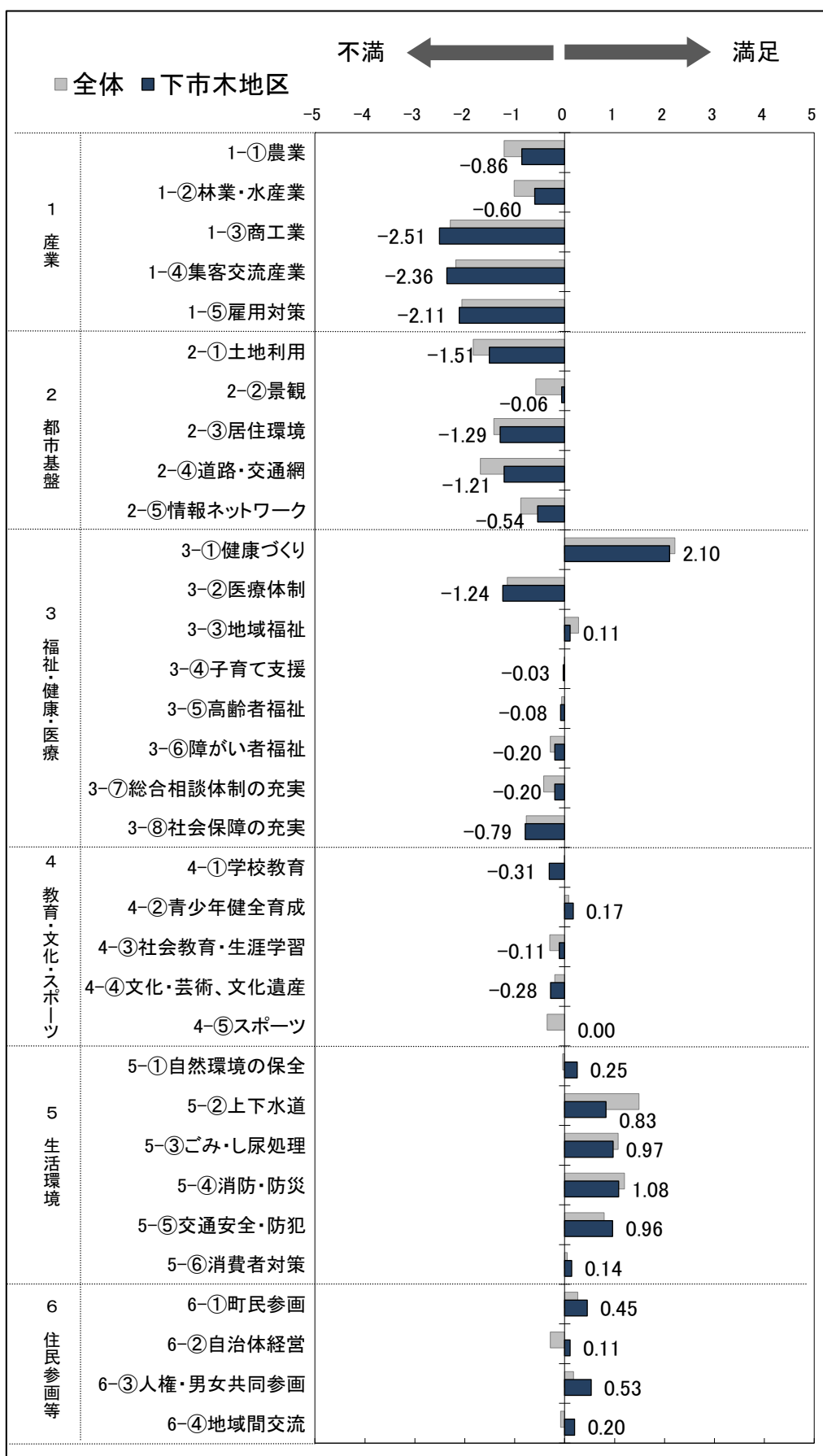
満足度（全体、阿田和地区／評価点）



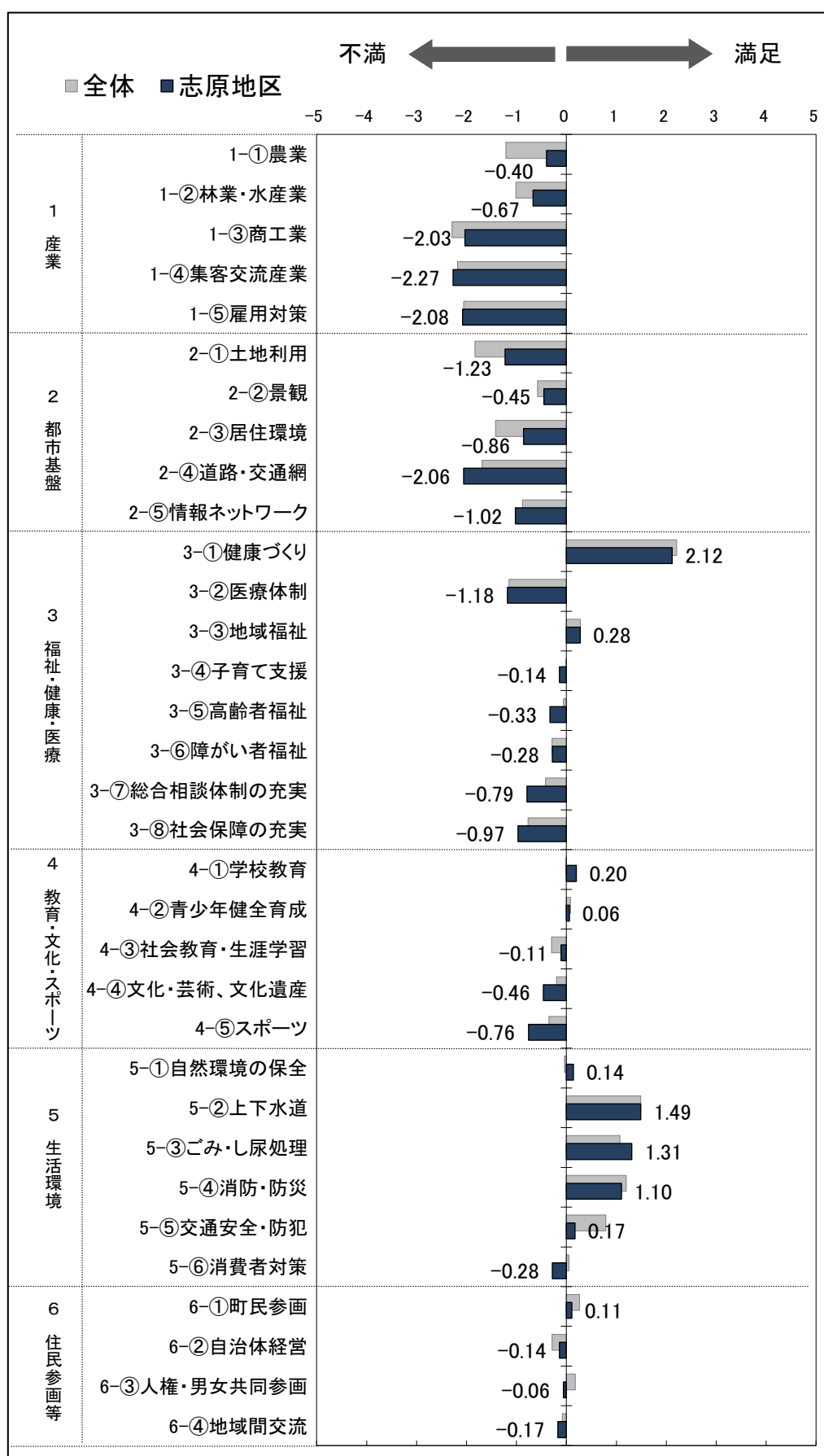
満足度（全体、上市木地区／評価点）



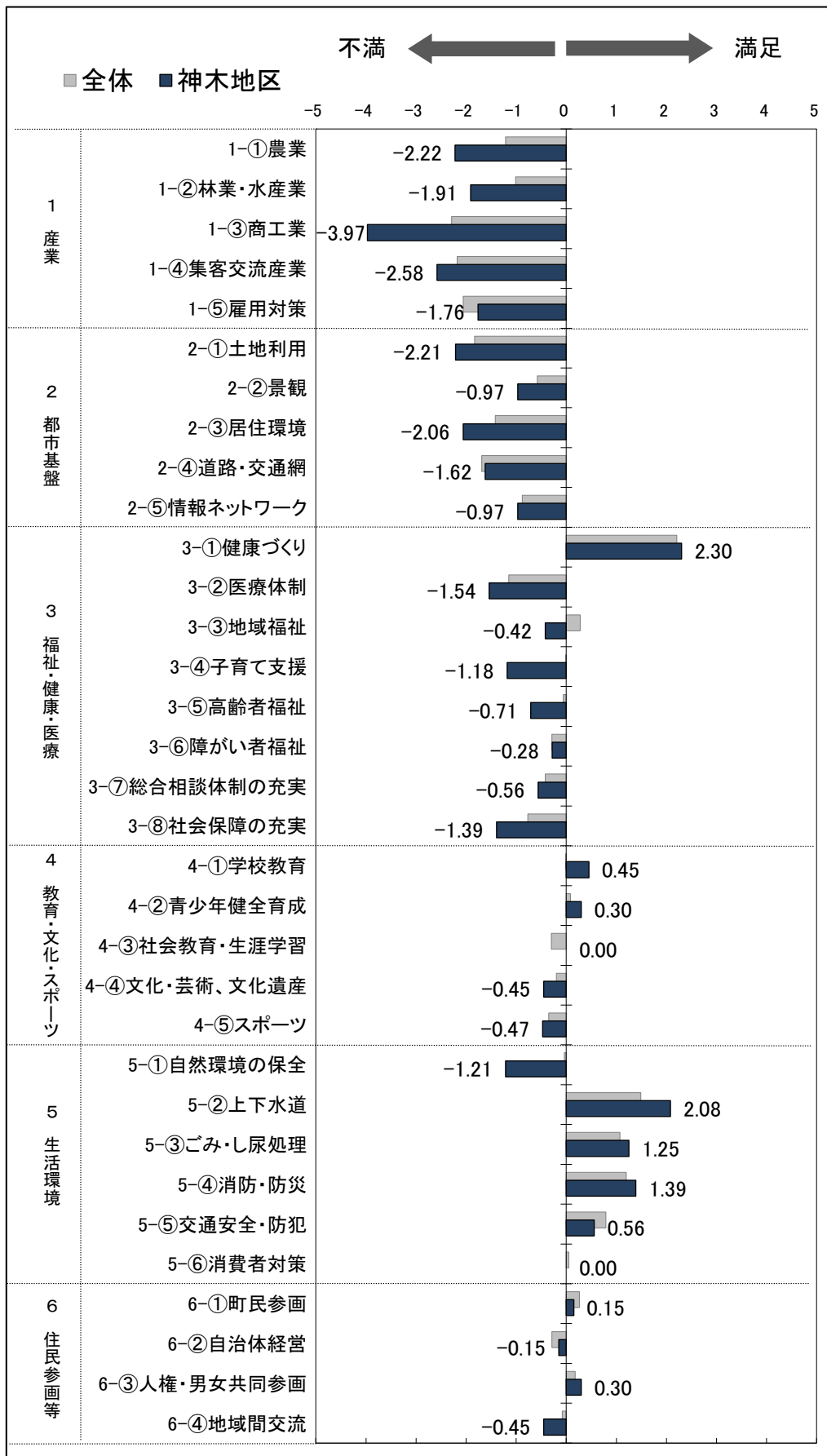
満足度（全体、下市木地区／評価点）



満足度（全体、志原地区／評価点）



満足度（全体、神木地区／評価点）



(2)まちの各環境に対する重要度

■重要度が最も高い項目は「医療体制」。次いで「上下水道」、「ごみ・し尿処理」、「道路・交通網」、「学校教育」の順。

満足度と同様の6分野33項目について、「非常に重要」、「重要」、「どちらでもない」、「あまり重要でない」、「重要でない」の5段階で評価した回答結果を、重要度として点数化※しました。

その結果をみると、「3-②医療体制」(6.35点)が最も高く、次いで「5-②上下水道」(5.59点)、「5-③ごみ・し尿処理」(5.27点)、「2-④道路・交通網」(5.04点)、「4-①学校教育」(5.03点)などが上位に挙げられています。

また、令和2年調査と比較し重要度が上がっている項目は「1-②林業・水産業」、「4-②青少年健全育成」、「5-②上下水道」、「5-③ごみ・し尿処理」、「5-⑥消費者対策」、「6-③人権・男女共同参画」となっています。

年齢別でみると、10-20代から60代までで「3-②医療体制」が第1位に挙げられており、医療体制の充実への要望が強い結果となっています。また、70代と80歳以上で「5-②上下水道」が第1位に挙げられています。また、40代以下の若年層では「3-④子育て支援」や「4-①学校教育」が上位となっており、教育環境を重視していることがうかがえます。

居住地区別でみると、尾呂志地区は「5-②上下水道」ですが、その他の地区で「3-②医療体制」が第1位に挙げられています。また、第2位に挙げられている項目は、尾呂志地区では「3-②医療体制」、阿田和地区、上市木地区、志原地区では「5-②上下水道」、下市木地区では「1-①農業」と「2-④道路・交通網」、神木地区では「1-⑤雇用対策」となっています。

重要度（全体／評価点、上位項目）

上位	項目	評価点	上位	項目	評価点
1	3-②医療体制	6.35	6	5-④消防・防災	4.99
2	5-②上下水道	5.59	7	1-①農業	4.94
3	5-③ごみ・し尿処理	5.27	8	3-④子育て支援	4.73
4	2-④道路・交通網	5.04	9	3-⑤高齢者福祉	4.68
5	4-①学校教育	5.03	10	3-⑧社会保障の充実	4.60

※評価点の算出方法
5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\left(\begin{array}{l} \text{「非常に重要」の回答者数} \times 10 \text{点} + \text{「重要」の回答者数} \\ \times 5 \text{点} + \text{「どちらでもない」の回答者数} \times 0 \text{点} + \text{「あまり} \\ \text{重要でない」の回答者数} \times -5 \text{点} + \text{「重要でない」の回答} \\ \text{者数} \times -10 \text{点} \end{array} \right)}{\left(\begin{array}{l} \text{「非常に重要」、「重要」、「あ} \\ \text{まり重要でない」、「重要でない」} \\ \text{の回答者数} \end{array} \right)}$$

重要度（年齢別／評価点、上位項目）

10-20代

上位	項目	評価点
1	3-②医療体制	7.16
2	4-①学校教育	6.94
3	5-②上下水道	6.62
4	5-③ごみ・し尿処理	6.22
5	1-①農業/3-④子育て支援	6.08

30代

上位	項目	評価点
1	3-②医療体制	7.14
2	3-④子育て支援	6.88
3	4-①学校教育	6.16
4	2-④道路・交通網	5.89
5	5-③ごみ・し尿処理	5.80

40代

上位	項目	評価点
1	3-②医療体制	6.78
2	3-④子育て支援	5.87
3	1-①農業	5.75
4	4-①学校教育	5.63
5	1-③商工業	5.06

50代

上位	項目	評価点
1	3-②医療体制	7.07
2	5-②上下水道	6.20
3	1-①農業	5.98
4	2-④道路・交通網	5.71
5	1-⑤雇用対策	5.66

60代

上位	項目	評価点
1	3-②医療体制	6.57
2	5-④消防・防災	5.15
3	3-⑤高齢者福祉	5.12
3	5-②上下水道	5.12
5	2-④道路・交通網	5.09

70代

上位	項目	評価点
1	5-②上下水道	5.69
2	3-②医療体制	5.44
3	5-③ごみ・し尿処理	5.06
4	5-④消防・防災	4.79
5	2-④道路・交通網	4.43

80歳以上

上位	項目	評価点
1	5-②上下水道	6.57
2	5-④消防・防災	6.10
3	5-③ごみ・し尿処理	6.02
4	3-②医療体制	5.71
5	3-⑤高齢者福祉	5.44

重要度（居住地区別／評価点、上位項目）

尾呂志地区

上位	項目	評価点
1	5-②上下水道	6.06
2	3-②医療体制	5.73
3	5-①自然環境の保全	5.67
4	4-①学校教育	5.49
5	1-①農業	5.45

阿田和地区

上位	項目	評価点
1	3-②医療体制	6.12
2	5-②上下水道	5.81
3	5-③ごみ・し尿処理	5.58
4	5-④消防・防災	5.11
5	4-①学校教育	5.00

上市木地区

上位	項目	評価点
1	3-②医療体制	7.35
2	5-②上下水道	6.32
3	2-④道路・交通網	5.74
4	1-①農業	5.43
5	1-③商工業/5-③ごみ・し尿処理	5.29

下市木地区

上位	項目	評価点
1	3-②医療体制	6.25
2	1-①農業	5.23
2	2-④道路・交通網	5.23
4	5-②上下水道	5.20
5	1-③商工業	5.14

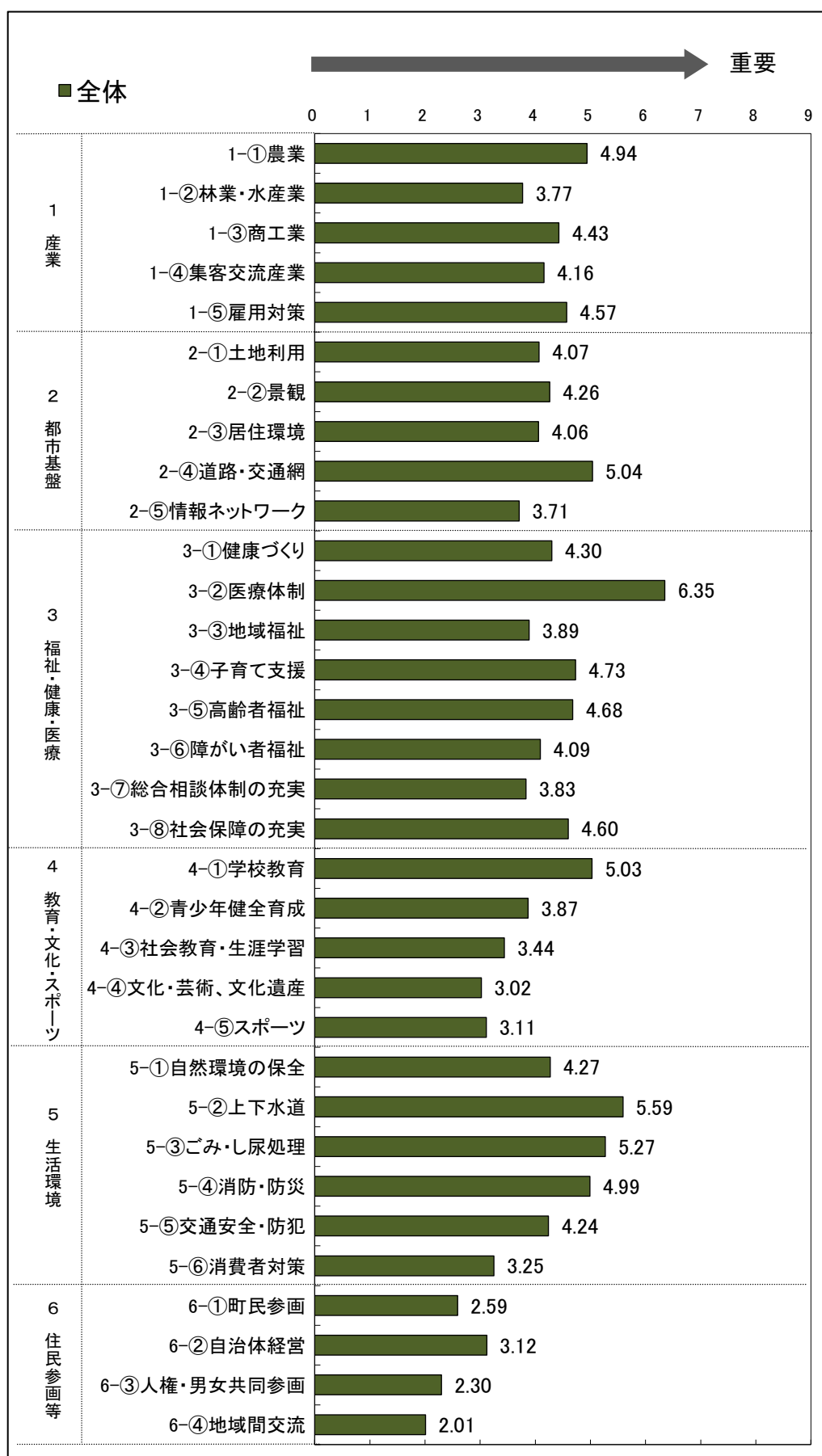
志原地区

上位	項目	評価点
1	3-②医療体制	6.86
2	5-②上下水道	5.59
3	2-④道路・交通網	5.56
4	5-③ごみ・し尿処理	5.30
5	3-④子育て支援	5.24

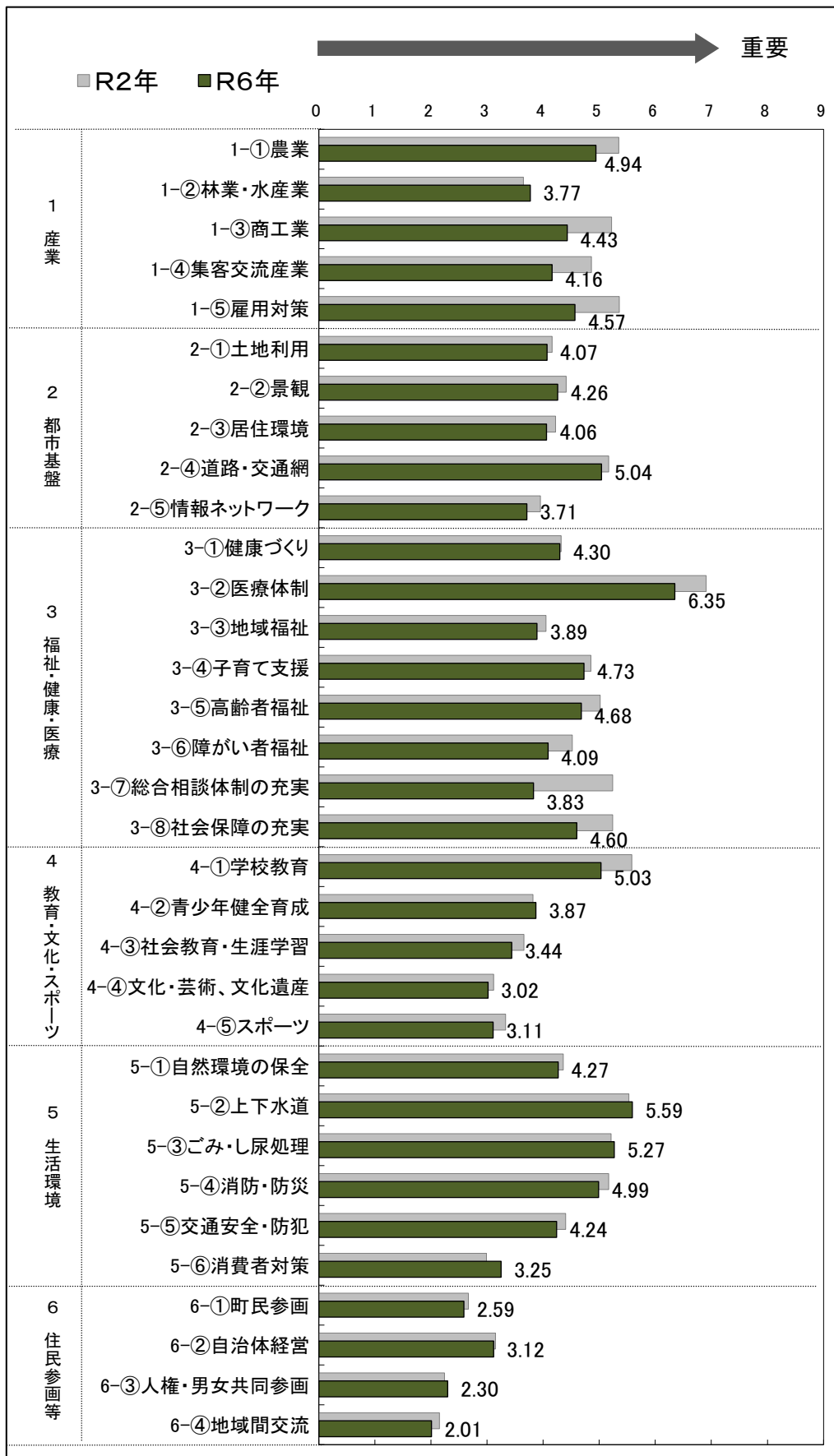
神木地区

上位	項目	評価点
1	3-②医療体制	5.91
2	1-⑤雇用対策	4.85
3	1-①農業	4.71
3	3-⑤高齢者福祉	4.71
5	1-③商工業	4.70

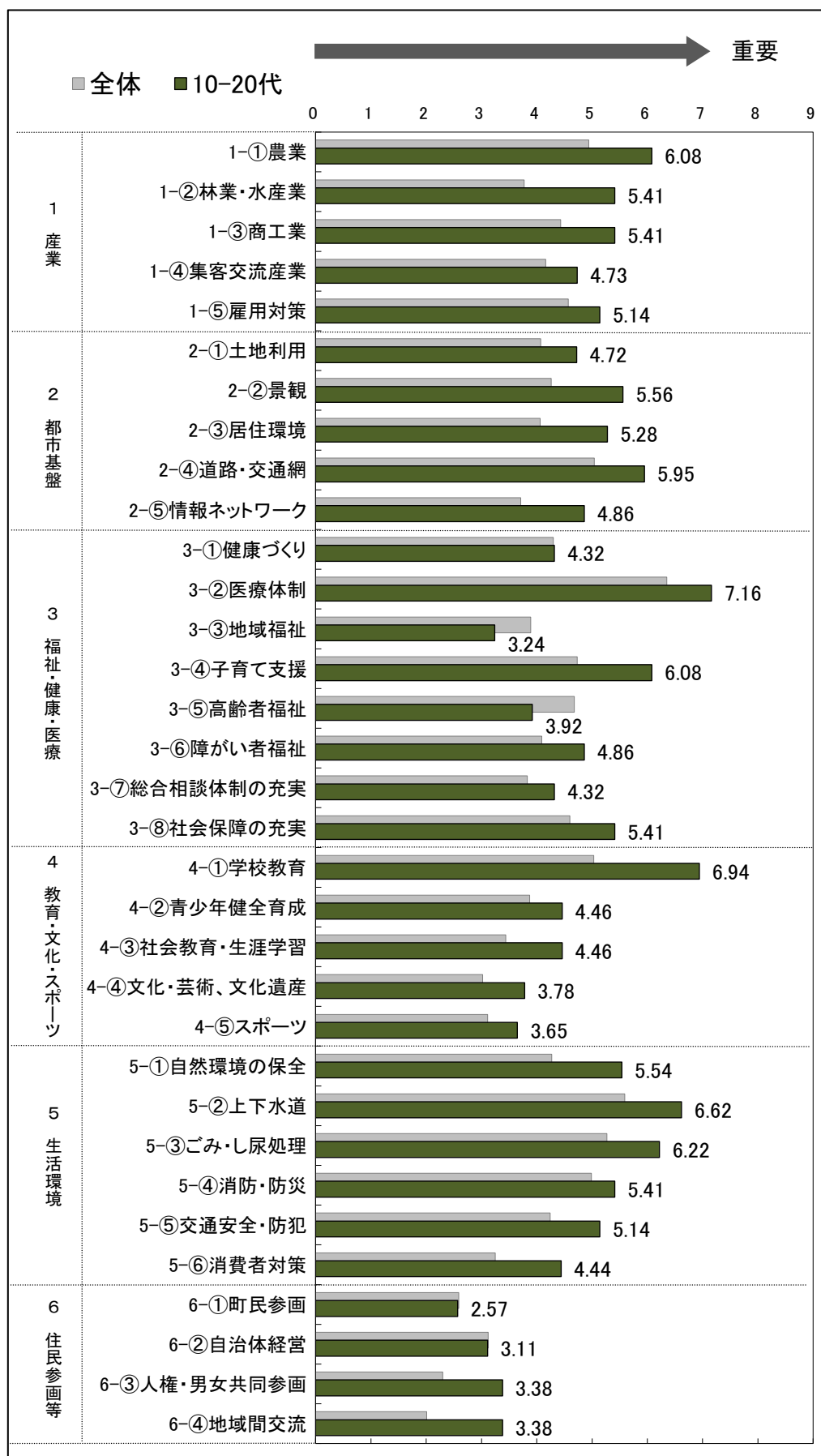
重要度（全体／評価点）



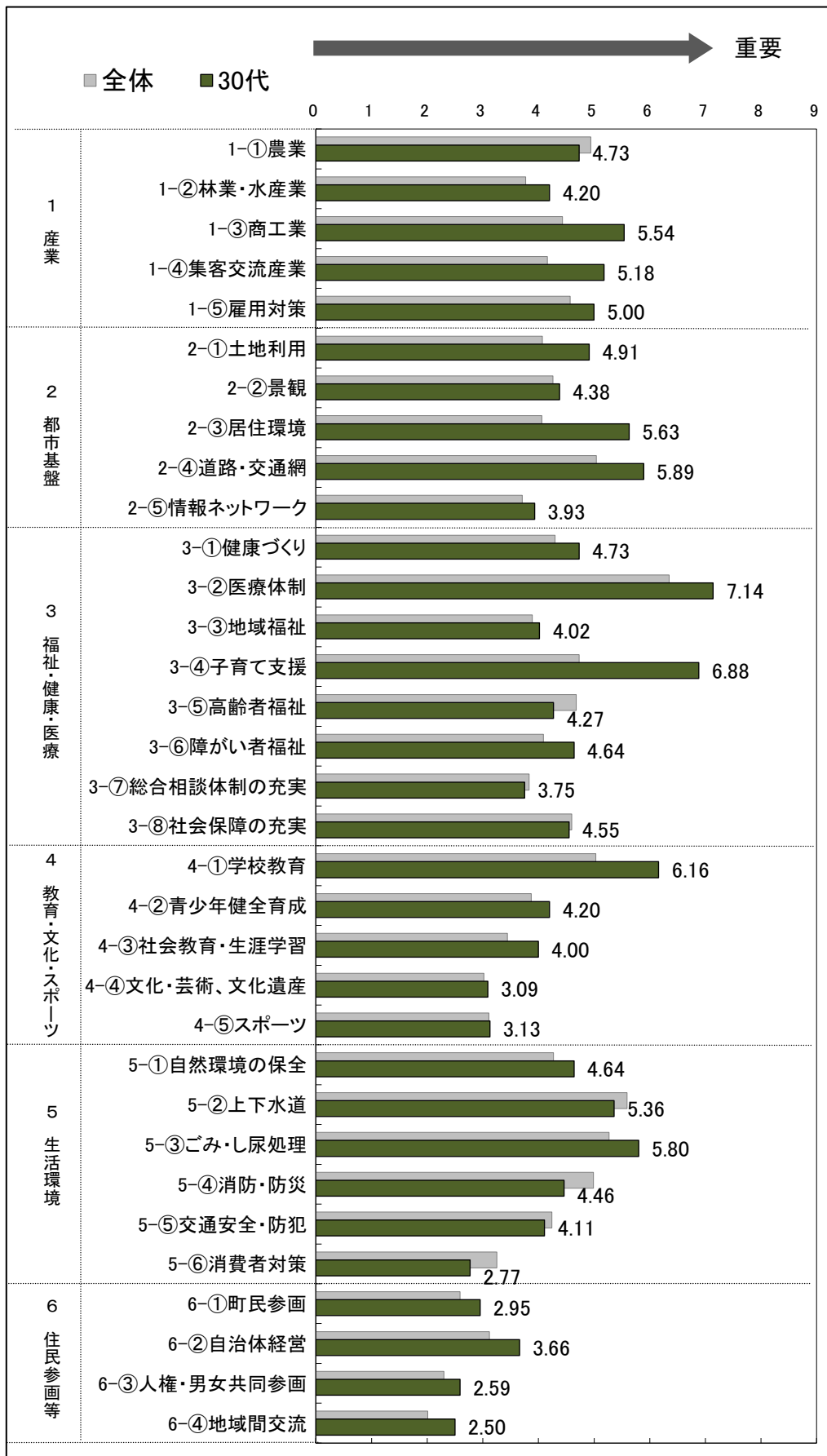
重要度（R6全体、R2全体／評価点）



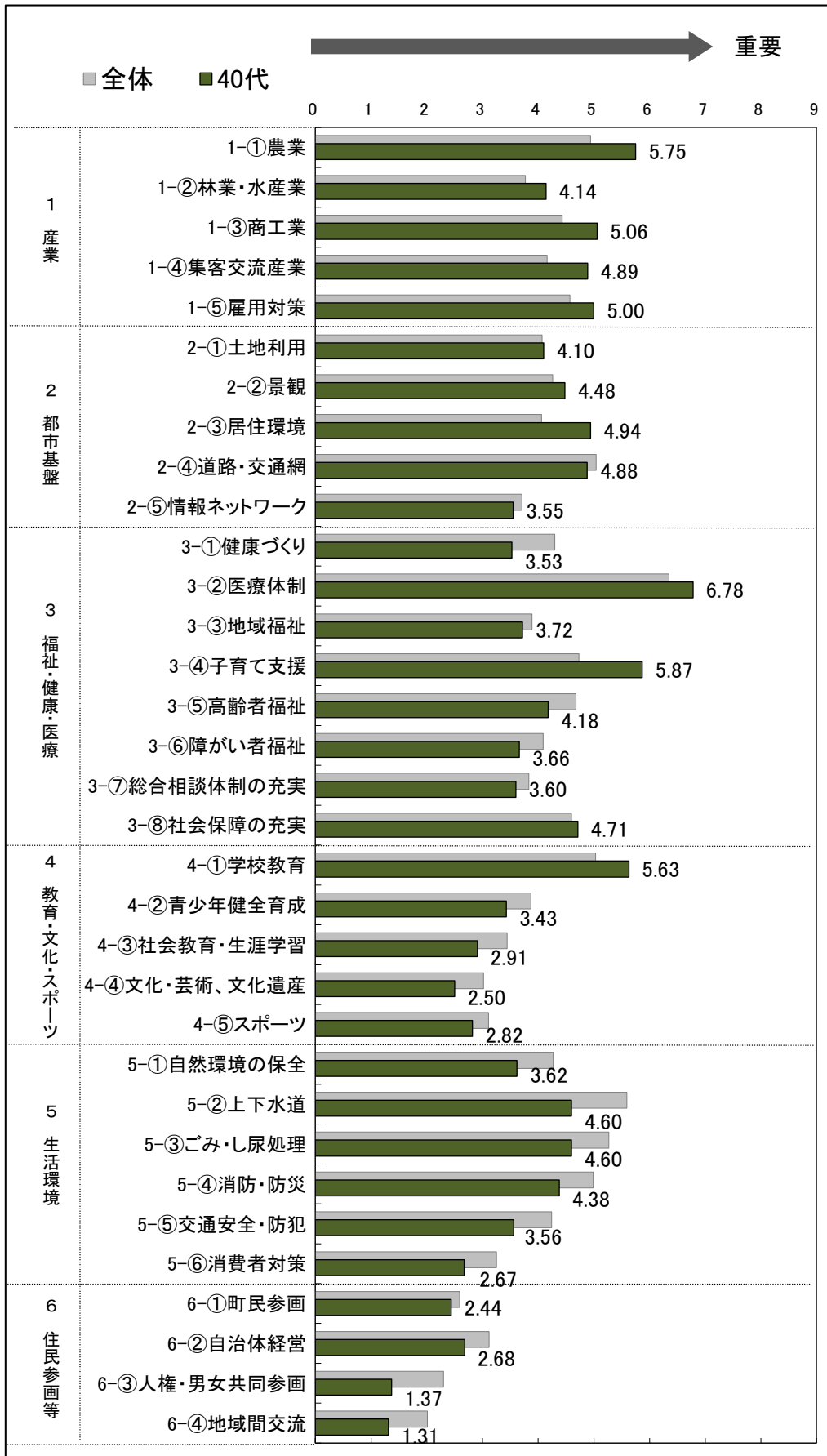
重要度（全体、10-20代／評価点）



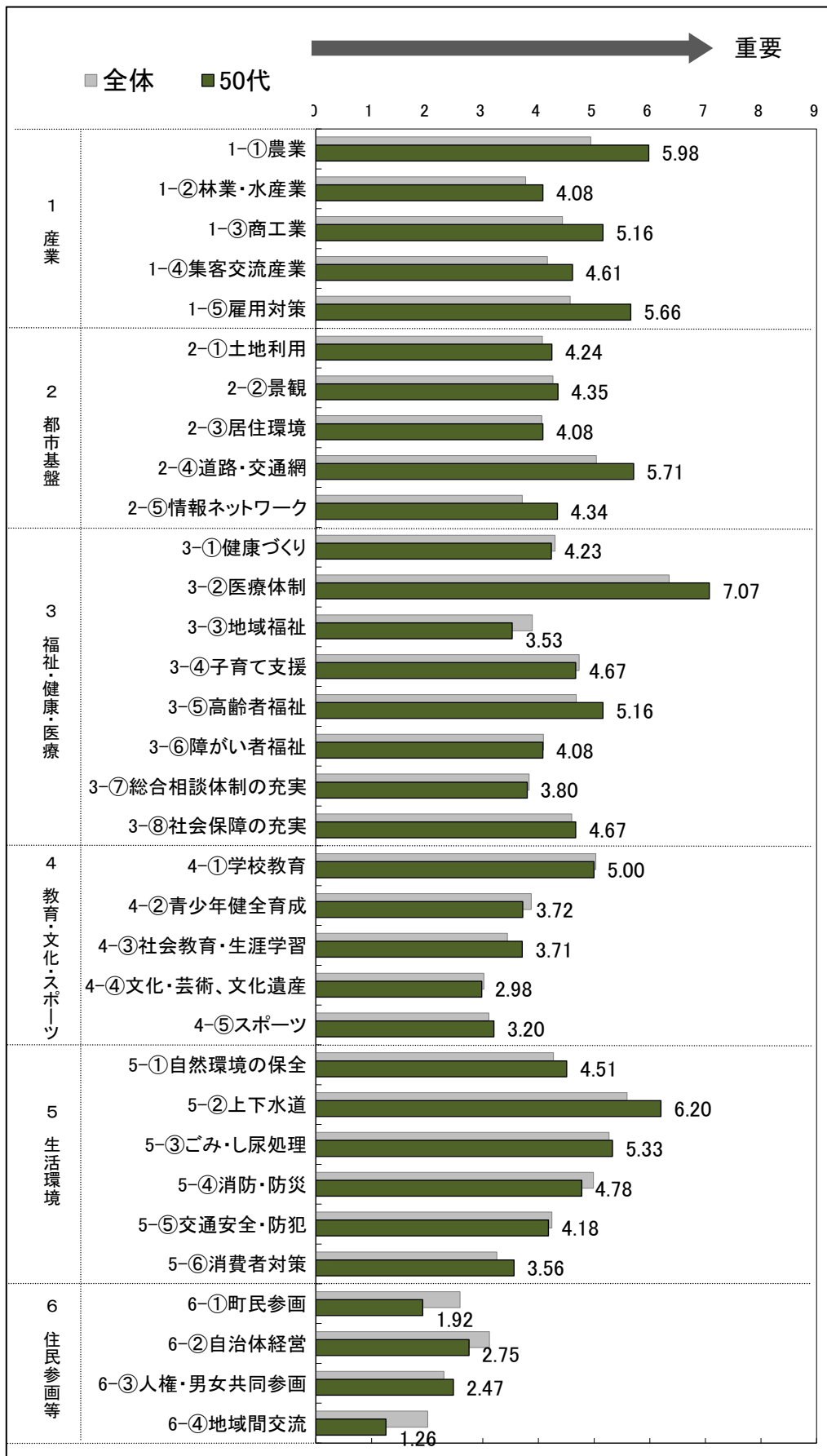
重要度（全体、30代／評価点）



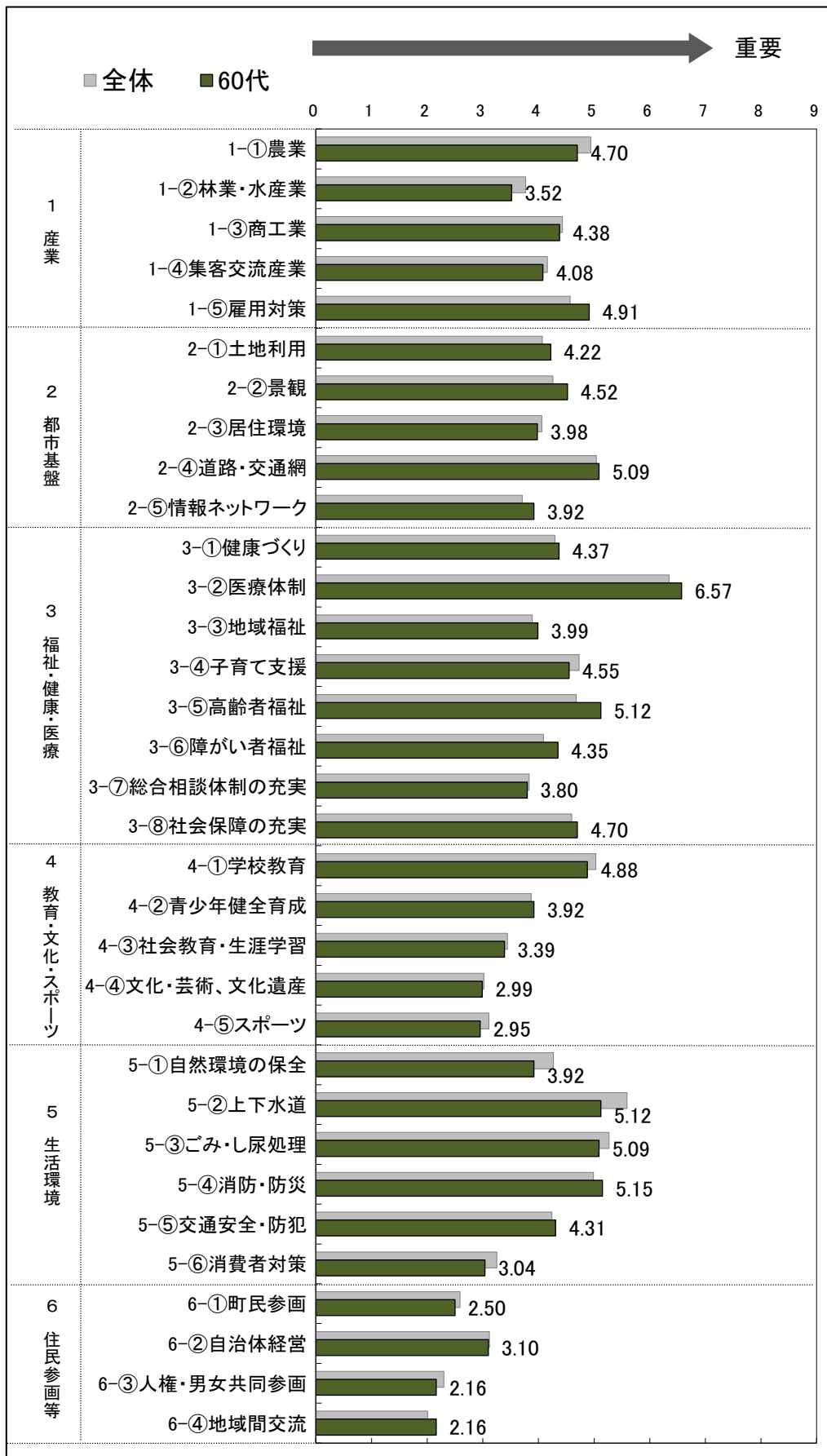
重要度（全体、40代／評価点）



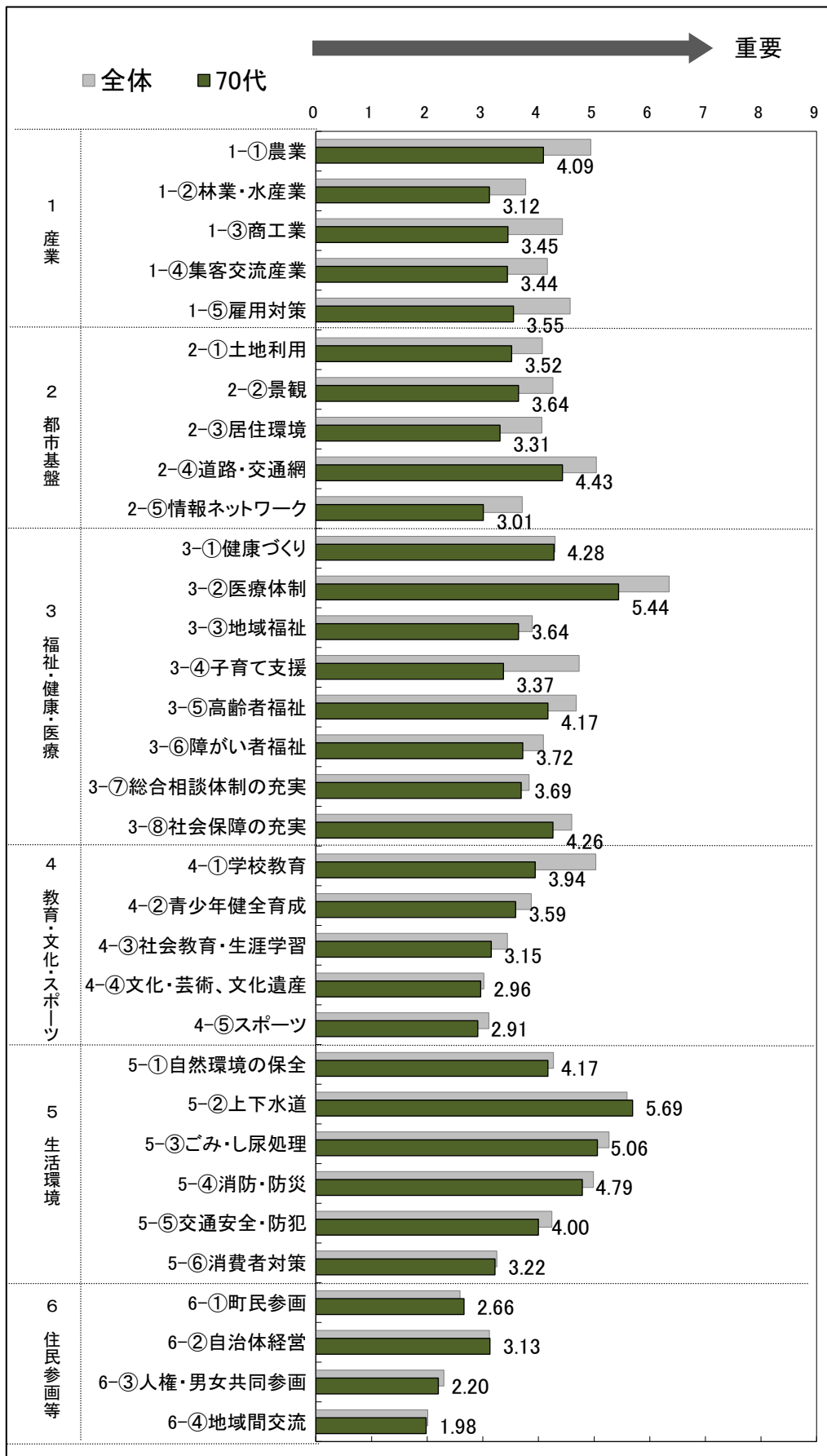
重要度（全体、50代／評価点）



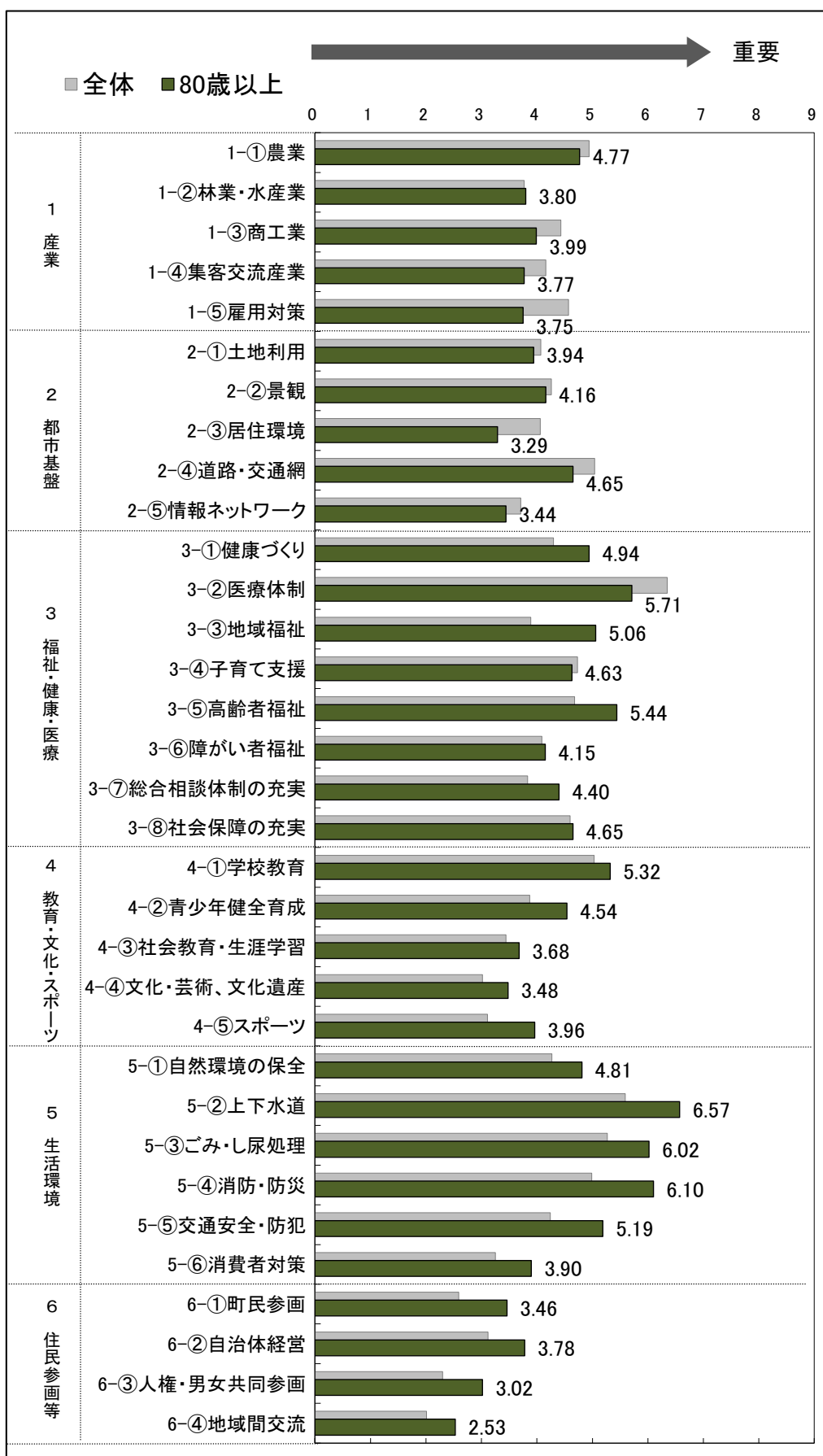
重要度（全体、60代／評価点）



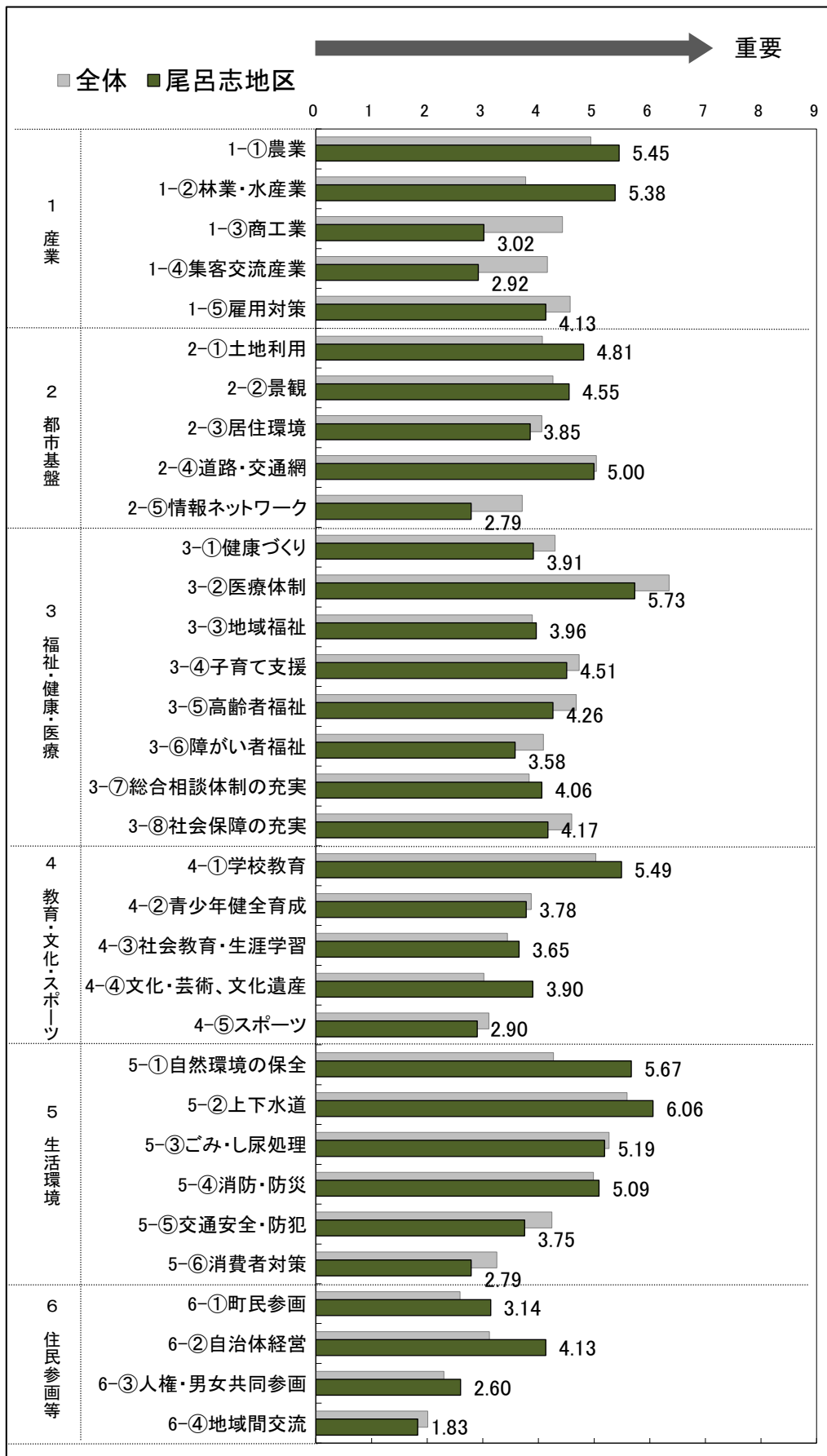
重要度（全体、70代／評価点）



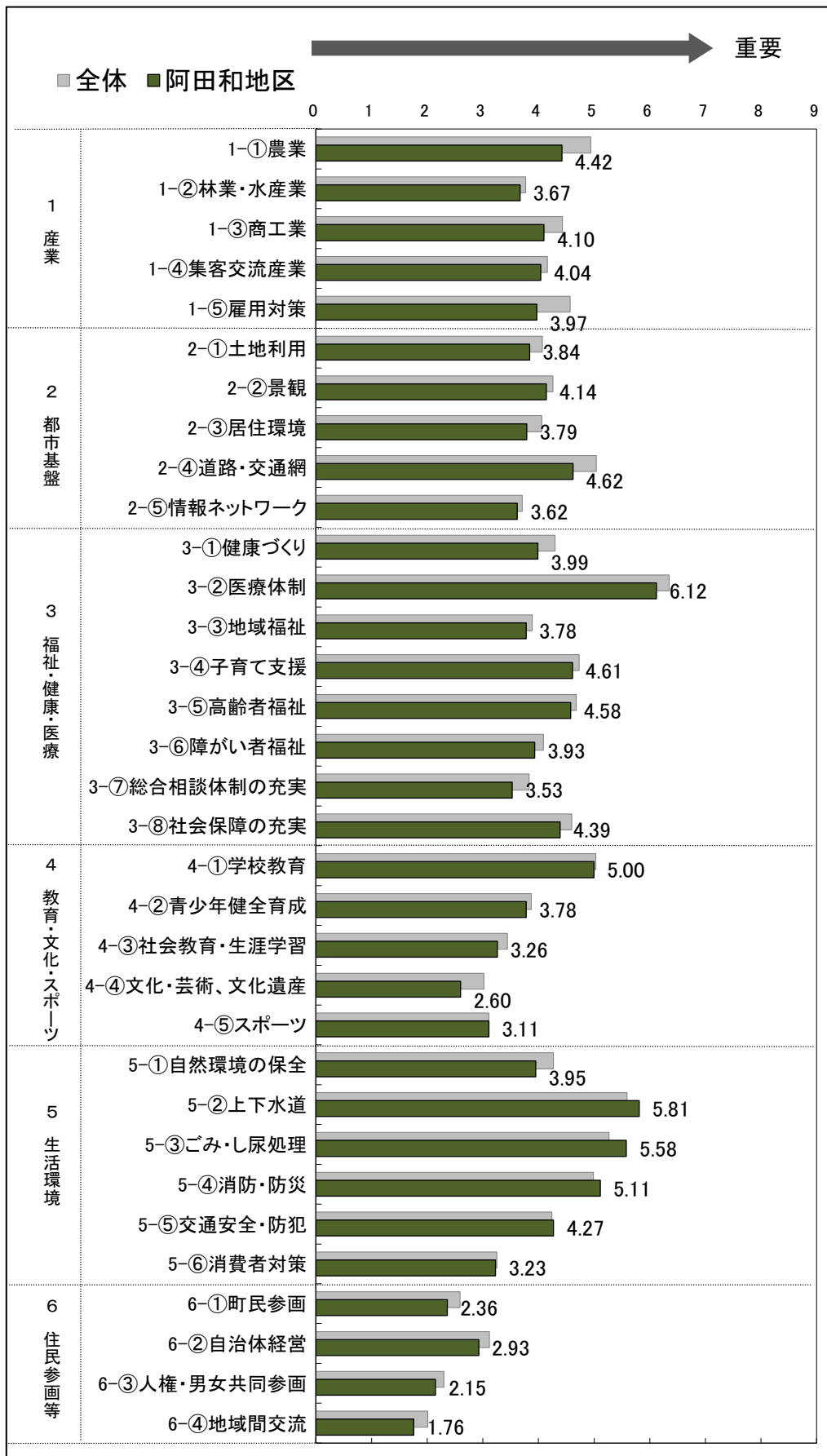
重要度（全体、80歳以上／評価点）



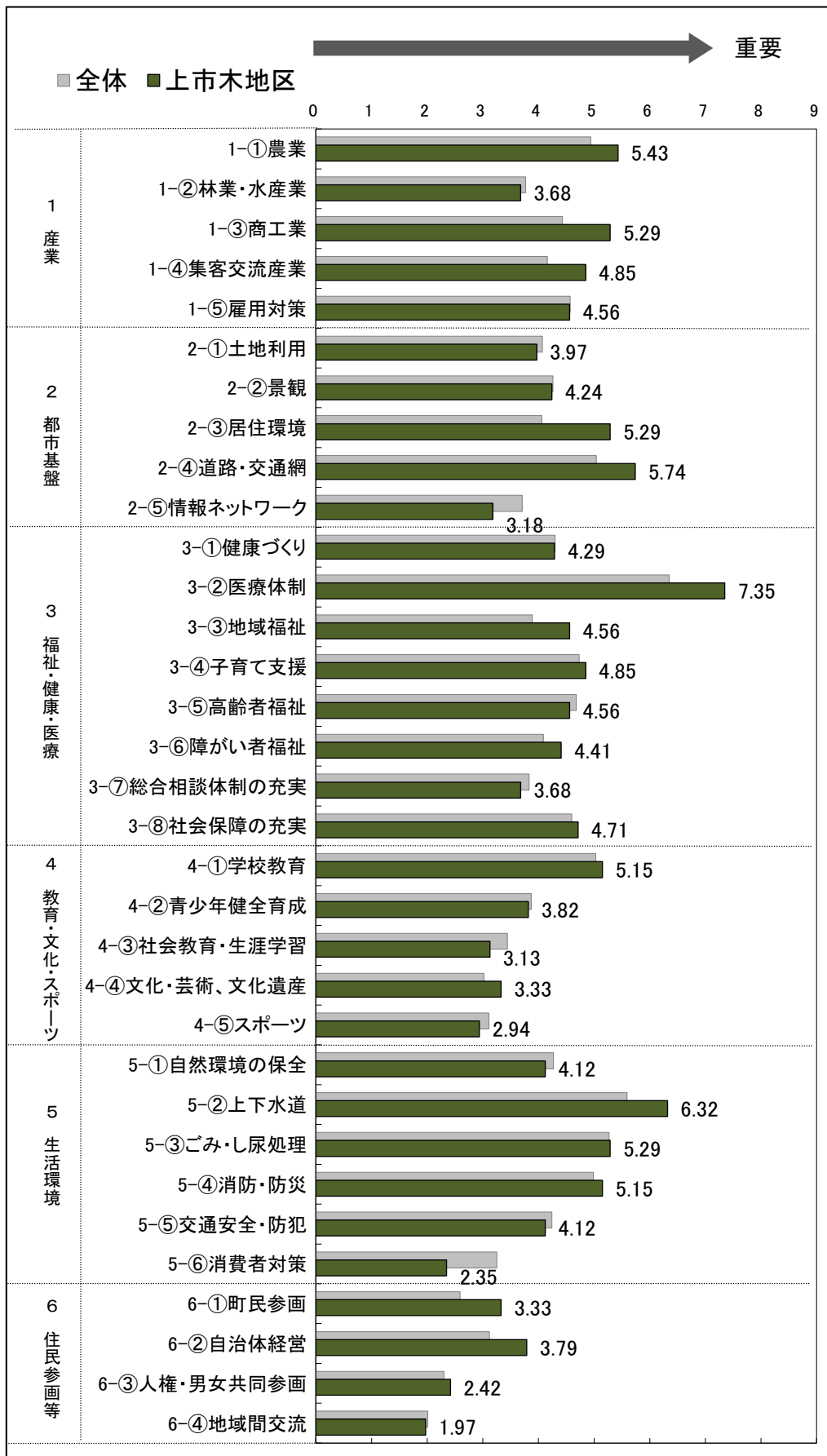
重要度（全体、尾呂志地区／評価点）



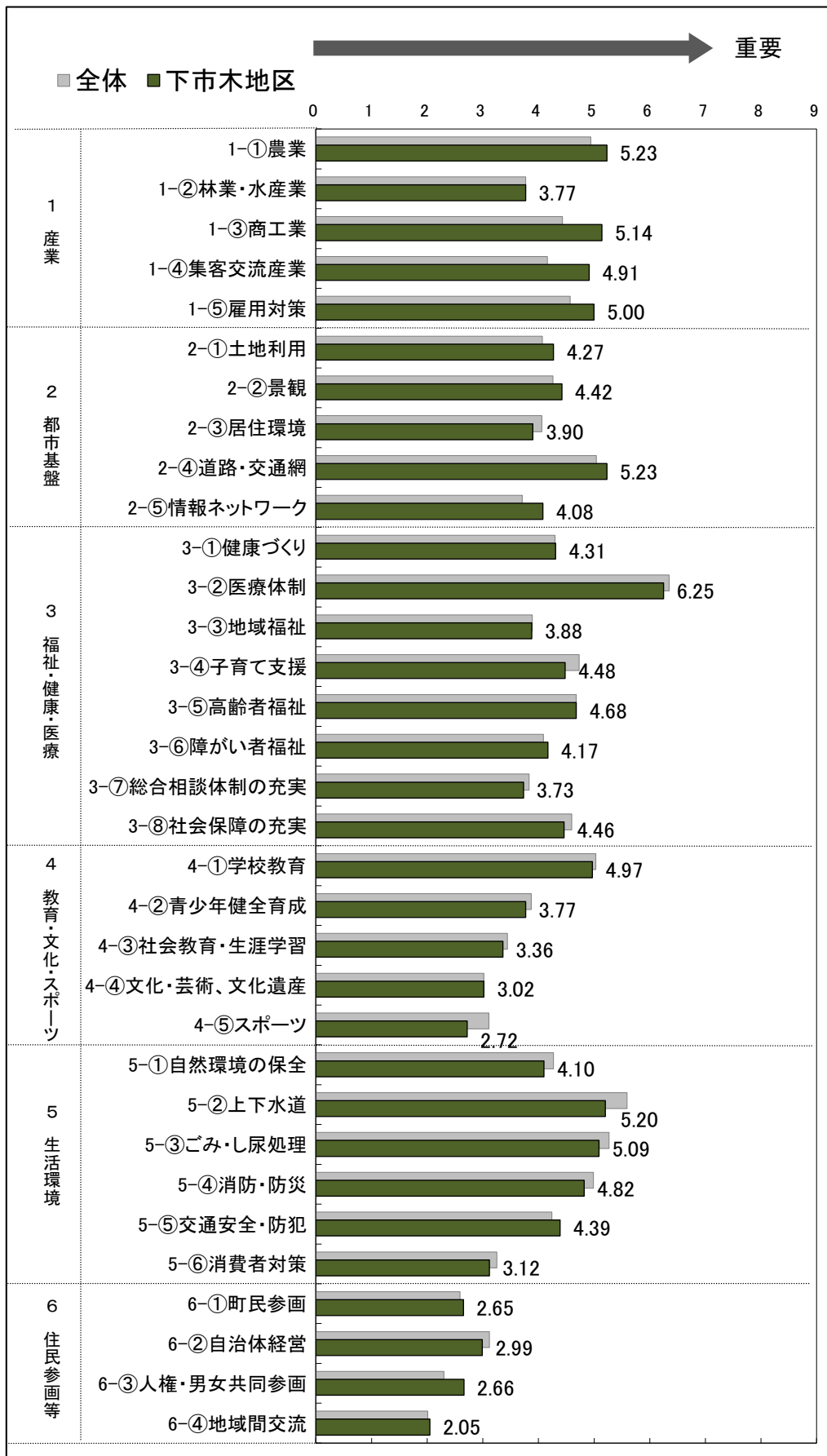
重要度（全体、阿田和地区／評価点）



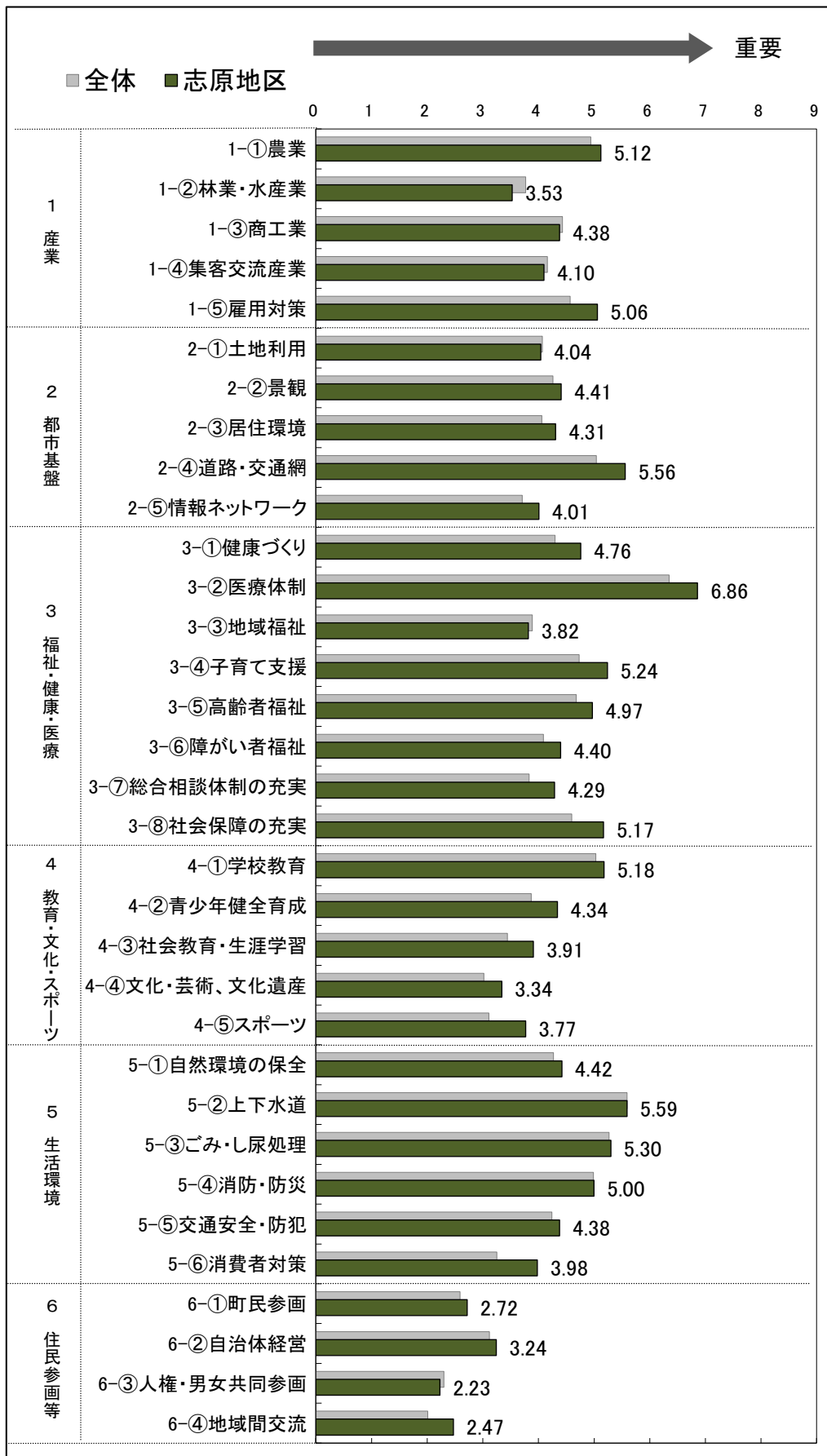
重要度（全体、上市木地区／評価点）



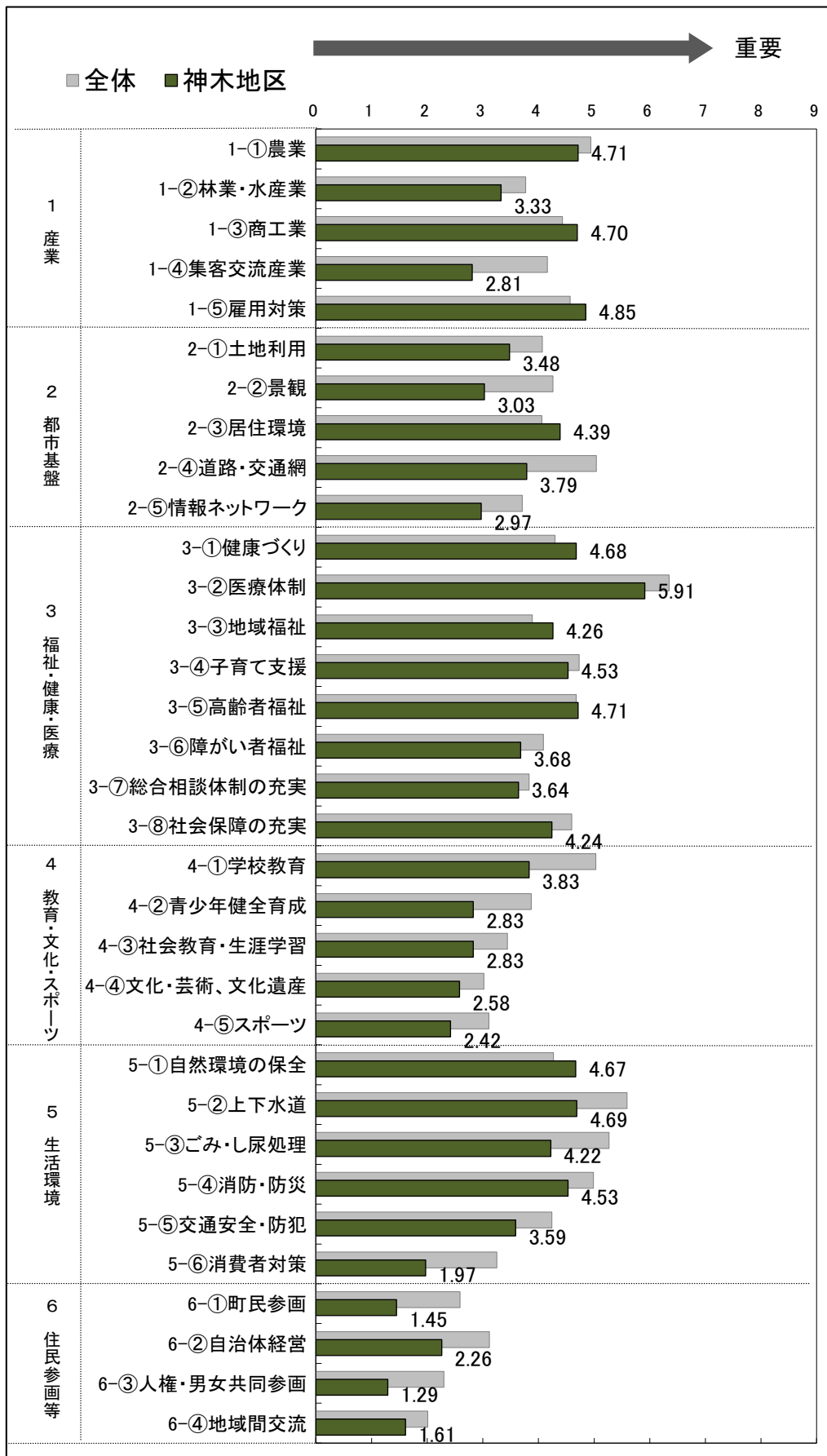
重要度（全体、下市木地区／評価点）



重要度（全体、志原地区／評価点）



重要度（全体、神木地区／評価点）



(3)今後のまちづくりの特色について

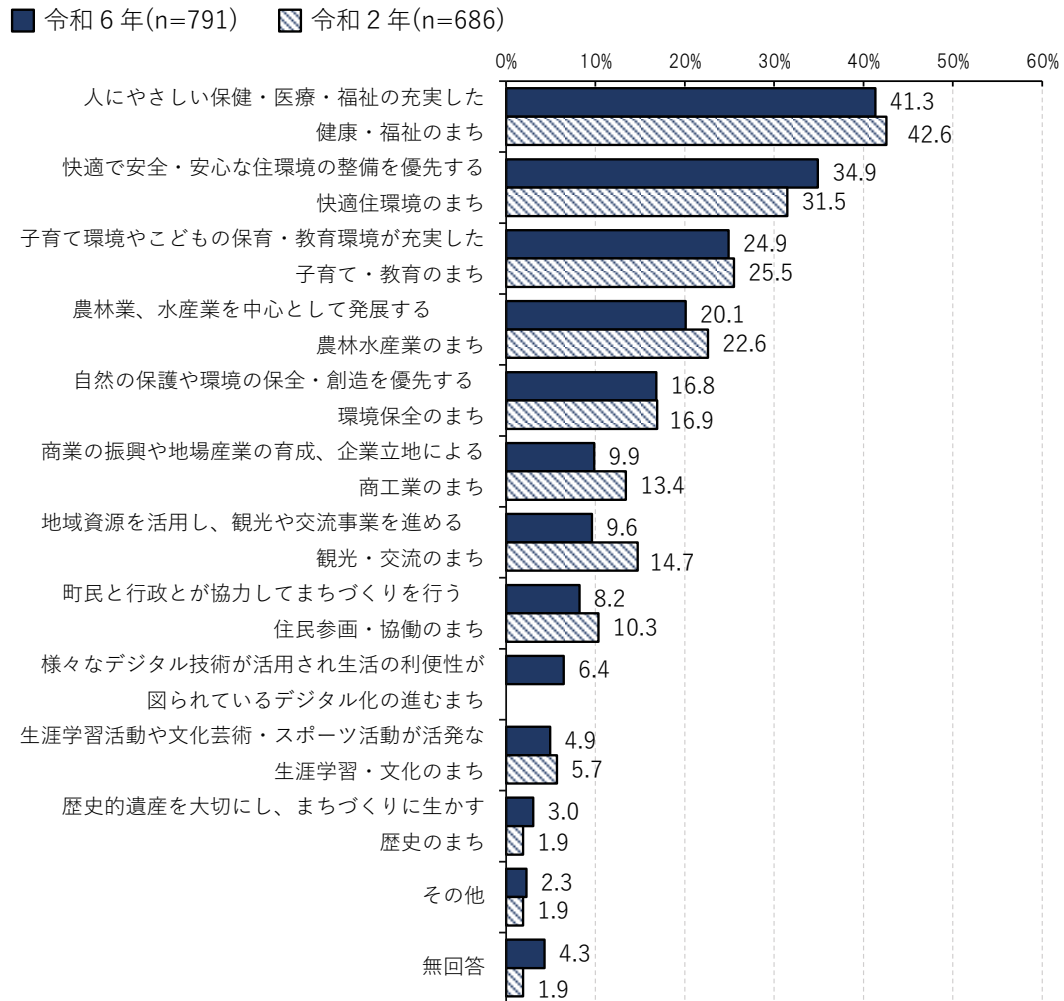
問5 あなたは、御浜町のまちづくりにおいて、今後どのような特色のあるまちにすべきだと考えますか。【複数回答】

- 「健康・福祉のまち」が第1位。次いで「快適住環境のまち」、「子育て・教育のまち」、「農林業のまち」が続く。

今後どのような特色のあるまちにすべきかをたずねたところ、「人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉のまち」が41.3%と第1位に挙げられ、次いで「快適で安全・安心な住環境の整備を優先する快適住環境のまち」(34.9%)、「子育て環境やこどもの保育・教育環境が充実した子育て・教育のまち」(24.9%)、「農林業、水産業を中心として発展する農林水産業のまち」(20.1%)、「自然の保護や環境の保全・創造を優先する環境保全のまち」(16.8%)などの順となっています。

令和2年調査と比べると「快適で安全・安心な住環境の整備を優先する快適住環境のまち」が3.4ポイント増加しています。

今後のまちづくりの特色について（全体／複数回答）



※「様々なデジタル技術が活用され生活の利便性が図られているデジタル化の進むまち」は、令和6年から追加選択肢となっています。

3. 若者の定住対策について

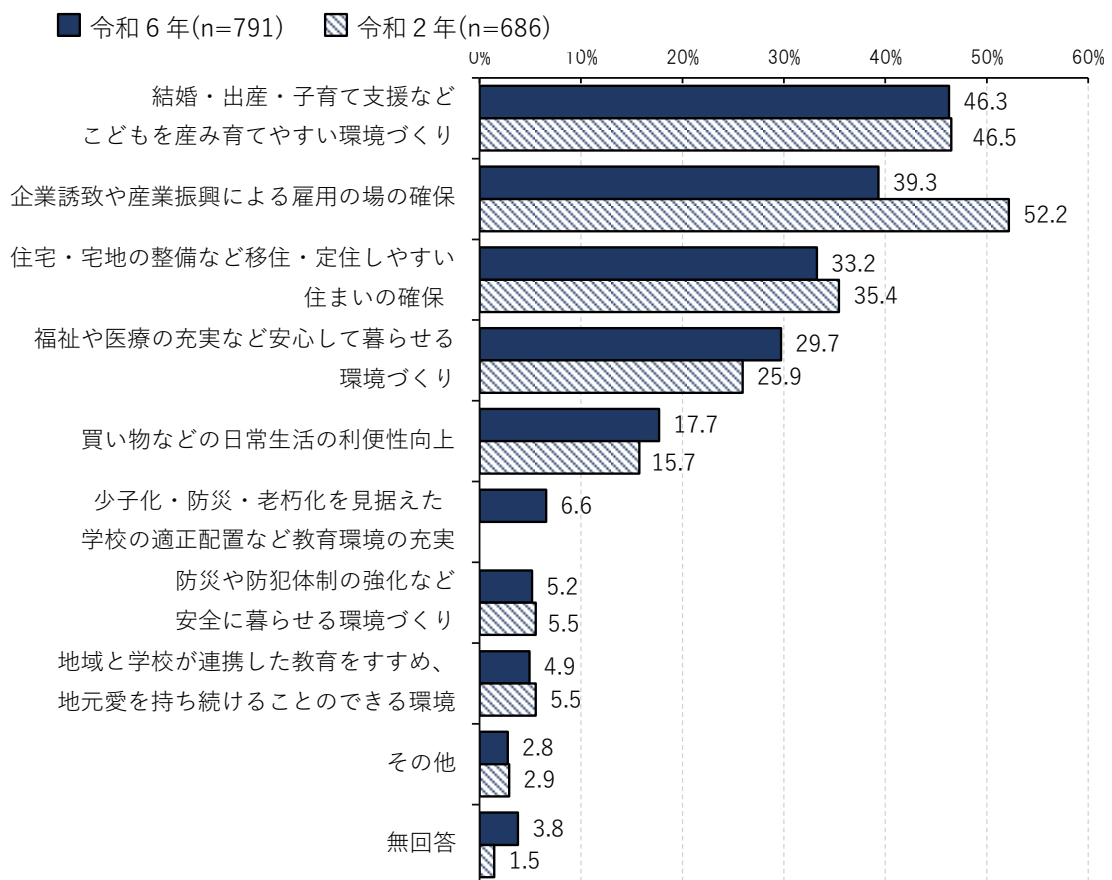
問6 あなたは、若者の定住対策として、今後どのような取り組みが重要だと思いますか。
【複数回答】

■「結婚・出産・子育て支援など子どもを産み育てやすい環境づくり」が第1位。
前回の第1位の「企業誘致や産業振興による雇用の場の確保」は減少。

若者の定住対策で重要な取り組みをたずねたところ、「結婚・出産・子育て支援など子どもを産み育てやすい環境づくり」が46.3%と第1位に挙げられ、次いで「企業誘致や産業振興による雇用の場の確保」(39.3%)、「住宅・宅地の整備など移住・定住しやすい住まいの確保」(33.2%)、「福祉や医療の充実など安心して暮らせる環境づくり」(29.7%)、「買い物などの日常生活の利便性向上」(17.7%)などの順となっています。

令和2年調査と比べると、「福祉や医療の充実など安心して暮らせる環境づくり」が3.8ポイント増加し、「企業誘致や産業振興による雇用の場の確保」が12.9ポイント減少しています。

若者の定住対策について（全体／複数回答）



4. 防災対策について

(1) 防災対策で必要なこと

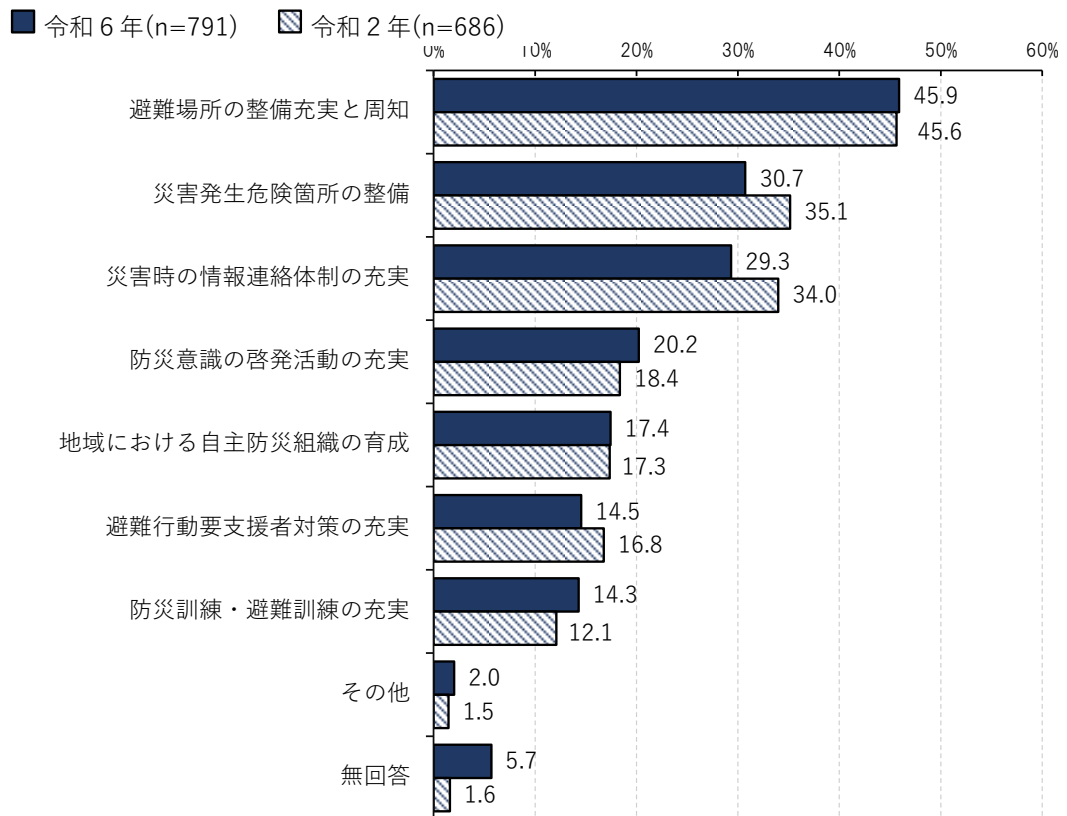
問7 あなたは、町の防災対策について、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

■ 「避難場所の整備充実と周知」が第1位。前回と上位5位は変動なし。

防災対策で必要なことについては、「避難場所の整備充実と周知」が45.9%と最も高く、次いで「災害発生危険箇所の整備」(30.7%)、「災害時の情報連絡体制の充実」(29.3%)、「防災意識の啓発活動の充実」(20.2%)などの順となっています。

令和2年調査と比べると、「防災意識の啓発活動の充実」や「防災訓練・避難訓練の充実」が微増となっています。

防災対策で必要なこと（全体／複数回答）



(2)災害への備え対策について

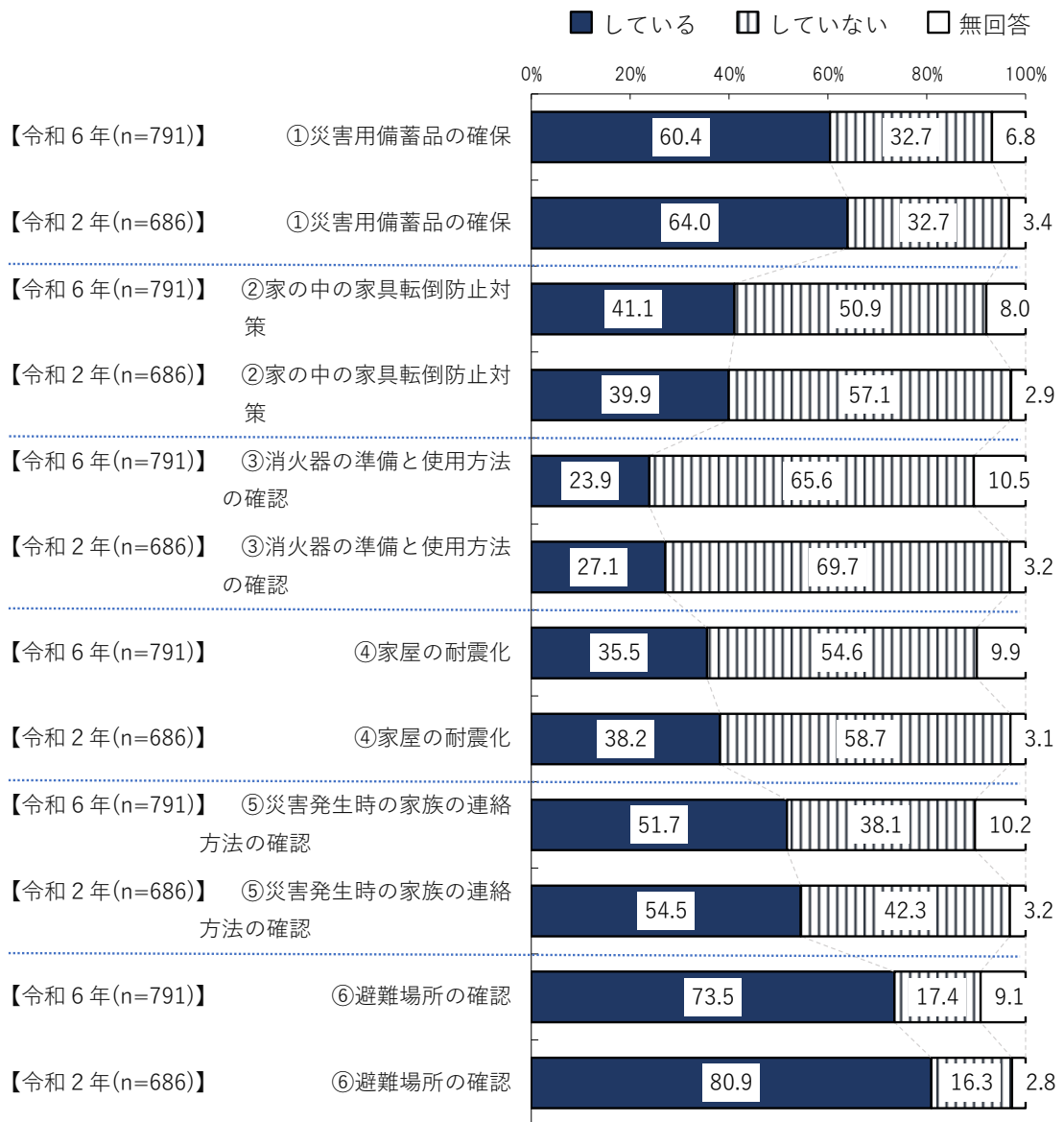
問8 あなたの家では、災害に備えて次のような対策をしていますか。

■『⑥避難場所の確認』を約7割が実践している一方、『③消火器の準備と使用方法の確認』は3割以下にとどまる。

家庭での災害への備えについて6つの項目でその取り組み状況をたずねたところ、「している」の割合が最も多い項目は、『⑥避難場所の確認』で73.5%と約7割が実践している結果となっています。次いで『①災害用備蓄品の確保（水・食料など）』（60.4%）、『⑤災害発生時の家族の連絡方法の確認』（51.7%）が続きます。一方、『②家の中の家具転倒防止対策』（41.1%）、『④家屋の耐震化』（35.5%）は約4割、『③消火器の準備と使用方法の確認』（23.9%）は3割以下にとどまります。

令和2年調査と比べると、『⑥避難場所の確認』が7.4ポイント減少しているものの、その他の項目は大きな違いはありません。

災害への備えについて（全体）



5. 高齢者福祉について

問9 あなたは、高齢社会に対応するためどのような取り組みが重要だと思いますか。
【複数回答】

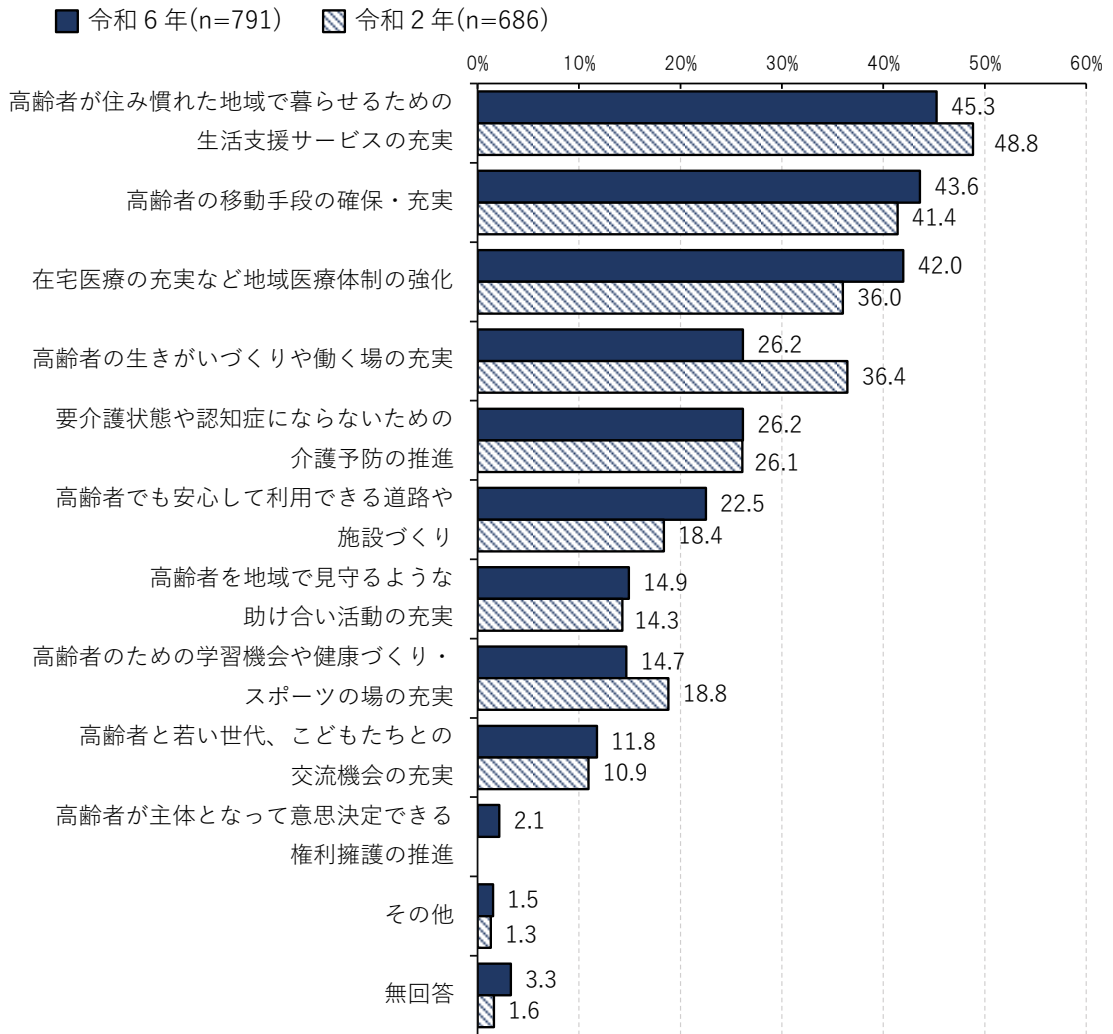
■ 「高齢者が住み慣れた地域で暮らせるための生活支援サービスの充実」が第1位。次いで「高齢者の移動手段の確保・充実」が続く。

高齢社会への対応について重要な取り組みをたずねたところ、「高齢者が住み慣れた地域で暮らせるための生活支援サービスの充実」が45.3%と第1位に挙げられ、次いで

「高齢者の移動手段の確保・充実」(43.6%)、「在宅医療の充実など地域医療体制の強化」(42.0%)、「高齢者の生きがいづくりや働く場の充実」「要介護状態や認知症にならないための介護予防の推進」(同率26.2%)などの順となっています。

令和2年調査と比べると、「在宅医療の充実など地域医療体制の強化」が6ポイント、「高齢者が安心して利用できる道路や施設づくり」が4.1ポイント増加する一方、「高齢者の生きがいづくりや働く場の充実」は10.2ポイント減少しています。

高齢者福祉について（全体／複数回答）



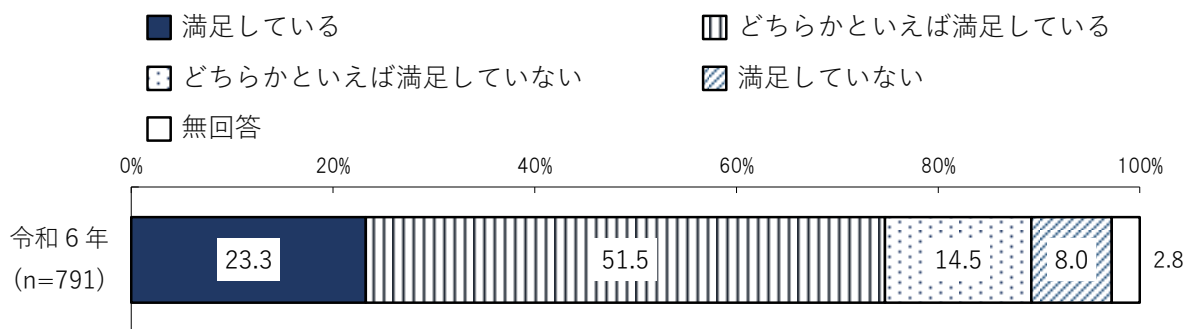
6. 行政サービスについて

問10 あなたは、役場等における職員の対応等（接遇）についてどう思いますか。

■ 『満足している』が74.8%。『満足していない』は22.5%。

役場等における職員の対応等（接遇）についてたずねたところ、「どちらかといえば満足している」が51.5%と最も高く、次いで「満足している」(23.3%)で続き、これらをあわせた『満足している』という人が74.8%となっています。これに対して、『満足していない』（「どちらかといえば満足していない」(14.5%)及び「満足していない」(8.0%)の合計）は22.5%にとどまります。

行政サービスについて（全体）



7. コミュニティ活動、参画・協働について

(1) コミュニティ活動(地域活動)等への参加状況と参加意向

問11 あなたの現在のコミュニティ活動（地域活動）・ボランティア活動への参加状況と、今後の参加意向についておたずねします。

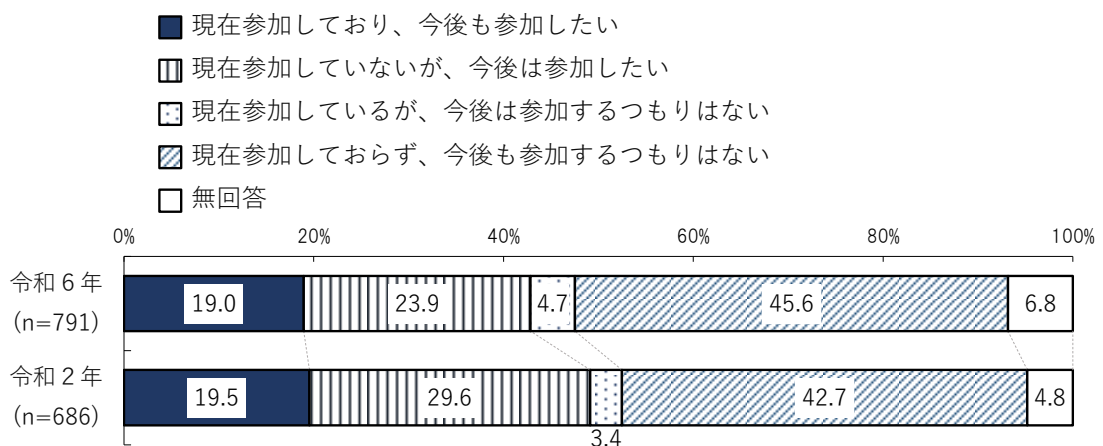
■現在、『参加している』は23.7%。今後、『参加したい』は42.9%。

コミュニティ活動（地域活動）・ボランティア活動への参加状況、今後の意向をたずねたところ、現在、『参加している』（「現在参加しており、今後も参加したい」（19.0%）及び「現在参加しているが、今後は参加するつもりはない」（4.7%）の合計）は23.7%となっています。

これに対し、今後、『参加したい』（「現在参加しており、今後も参加したい」（19.0%）及び「現在参加していないが、今後は参加したい」（23.9%）の合計）は42.9%と、現在、『参加している』の2倍弱となっています。

令和2年調査と比べてみると、「現在参加していないが、今後は参加したい」が減少し、「現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない」が増加し参加意向が減少しています。

コミュニティ活動（地域活動）等への参加状況と参加意向（全体）



(2)参加したいコミュニティ活動(地域活動)等

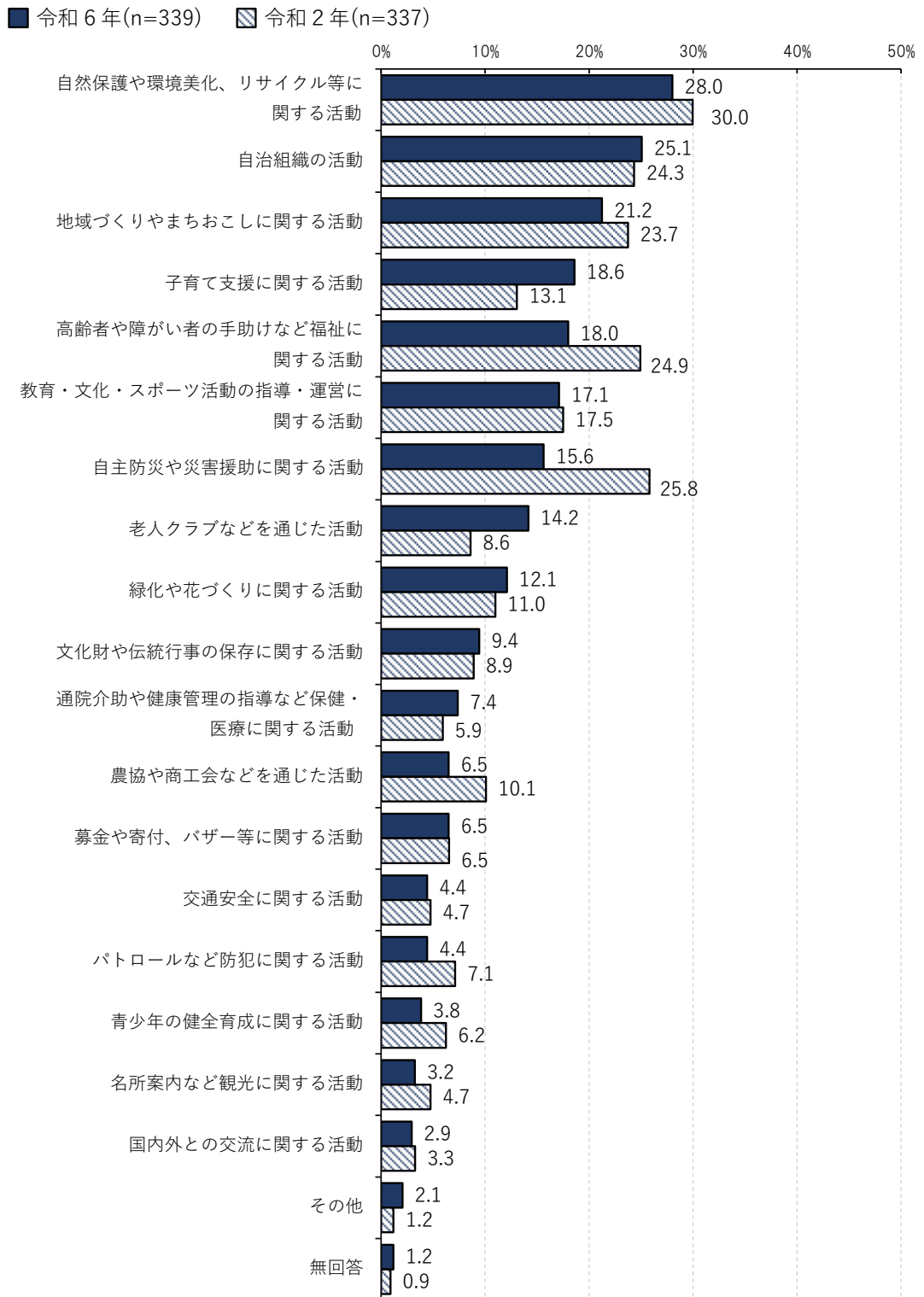
問12 あなたは、今後(今後とも)どのようなコミュニティ活動(地域活動)・ボランティア活動に参加したいと思いますか。(問11で『参加したい』と回答した人のみ)
【複数回答】

■「自然保護やリサイクル等に関する活動」が第1位。次いで「自主組織の活動」、「地域づくりやまちおこしに関する活動」などの順。

問11で『参加したい』と回答した人(全体の42.9%、339人)に、参加したい活動をたずねたところ、「自然保護や環境美化、リサイクル等に関する活動」が28.0%と第1位に挙げられ、次いで「自治組織の活動」(25.1%)、「地域づくりやまちおこしに関する活動」(21.2%)、「子育て支援に関する活動」(18.6%)、「高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動」(18.0%)などの順となっています。

令和2年調査と比べると、「子育て支援に関する活動」が5.5ポイント、「老人クラブなどを通じた活動」が5.6ポイント増加し、「高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動」が6.9ポイント、「自主防災や災害援助に関する活動」が10.2ポイント減少しています。

参加したい地域活動（全体／複数回答、『参加したい』と回答した人のみ）



(3)コミュニティ活動(地域活動)等に参加しない理由

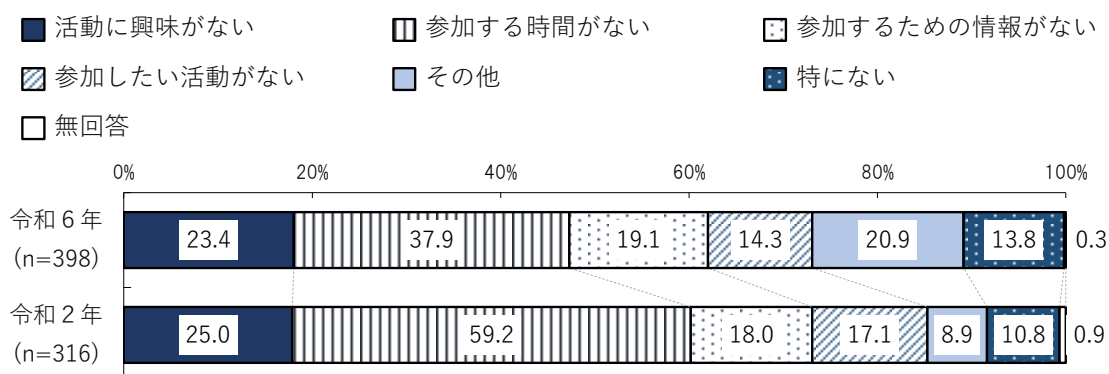
問13 コミュニティ活動(地域活動)・ボランティア活動に参加しない理由はどのようなことですか。(問11で『参加しない』と回答した人のみ)【複数回答】

■「参加する時間がない」が第1位。時間がない理由は前回調査より減少。

問11で『参加しない』と回答した人(全体の50.3%、398人)に、参加しない理由をたずねたところ、「参加する時間がない」が37.9%と第1位に挙げられ、次いで「活動に興味がない」(23.4%)、「参加するための情報がない」(19.1%)、「参加したい活動がない」(14.3%)などの順となっています。

令和2年調査と比べると、「参加する時間がない」は21.3ポイント減少しています。

コミュニティ活動(地域活動)等に参加しない理由
(全体/複数回答、『参加しない』と回答した人のみ)



(4)町民参画・協働のために必要なこと

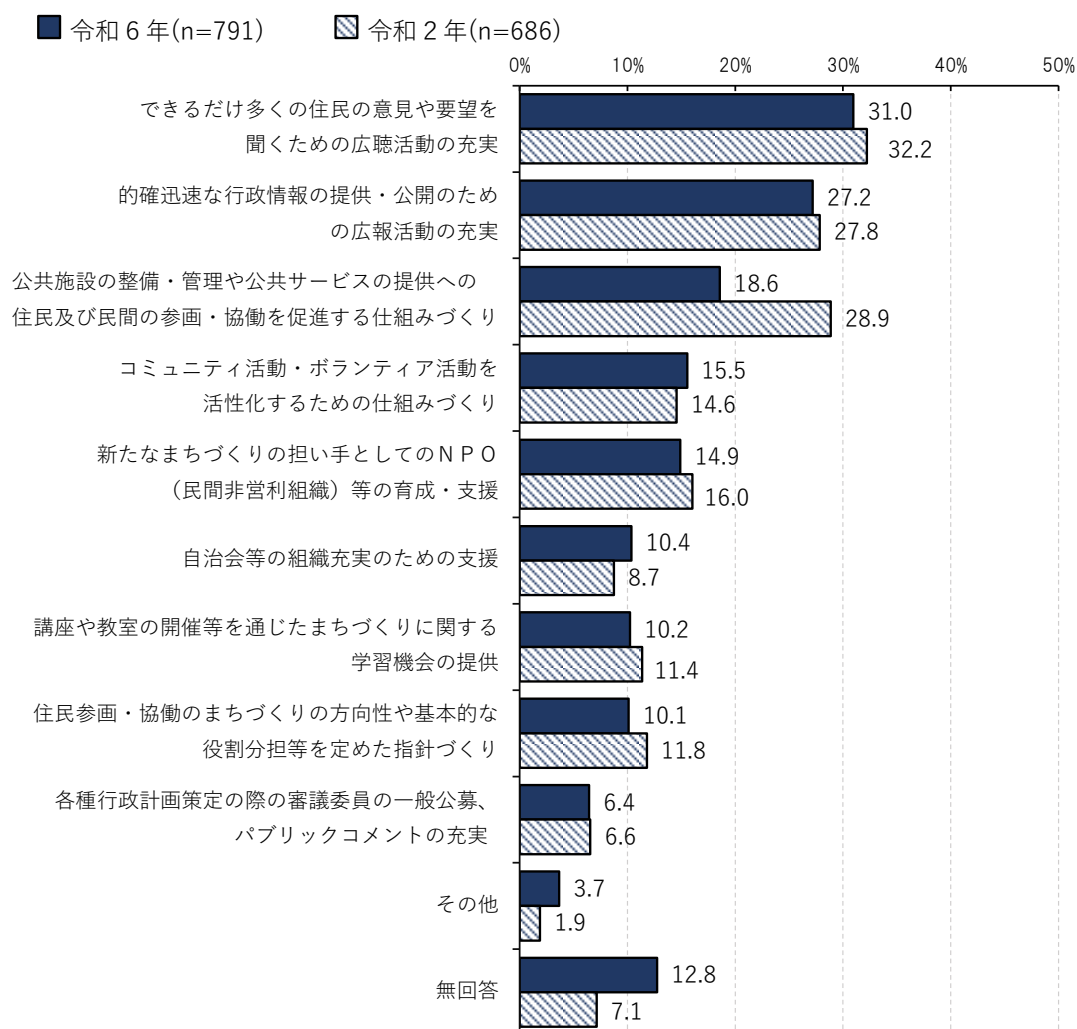
問14 これからのまちづくりにおいては、より多くの町民の皆さまが町政に参画し、行政と協力して課題解決や地域づくりを行う「町民参画・協働のまちづくり」が重要なテーマとなります。あなたは、この「町民参画・協働のまちづくり」を進めるために今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

■「広聴活動の充実」が第1位。次いで「広報活動の充実」、「住民参画・協働を促進する仕組みづくり」などの順。

住民参画・協働のために必要なことについては、「できるだけ多くの住民の意見や要望を聞くための広聴活動の充実」が31.0%と第1位に挙げられ、次いで「的確迅速な行政情報の提供・公開のための広報活動の充実」(27.2%)、「公共施設の整備・管理や公共サービスの提供への住民及び民間の参画・協働を促進する仕組みづくり」(18.6%)などの順となっています。

令和2年調査と比べると、「公共施設の整備・管理や公共サービスの提供への住民及び民間の参画・協働を促進する仕組みづくり」が10.3ポイント減少しています。

町民参画・協働のために必要なこと（全体／複数回答）



8. 日頃の行動について

(1)生涯学習活動について

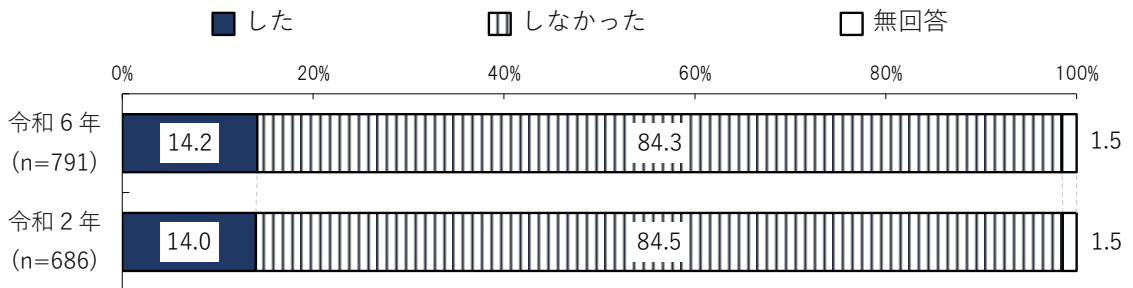
問15① あなたは、この1年間に、町の講座や教室等を利用した生涯学習活動をしましたか。

■町の講座や教室等を利用した生涯学習活動を「した」が14.2%。

町の講座や教室等を利用した生涯学習活動への参加については、「した」が14.2%となっています。

令和2年調査と大きな違いはありません。

生涯学習活動について（全体）



(2)スポーツ活動について

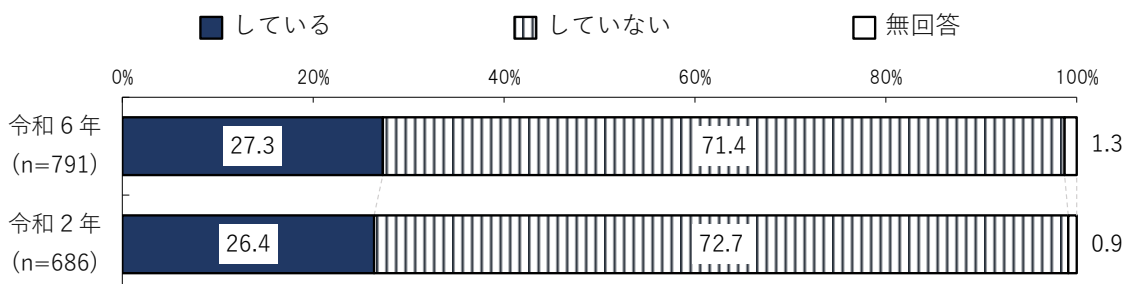
問15② あなたは、週1回以上、スポーツ活動をしていますか。

■週1回以上、スポーツ活動を「している」が27.3%。

週1回以上のスポーツ活動をしているかについては、「している」が27.3%となっています。

令和2年調査と大きな違いはありません。

スポーツ活動について（全体）

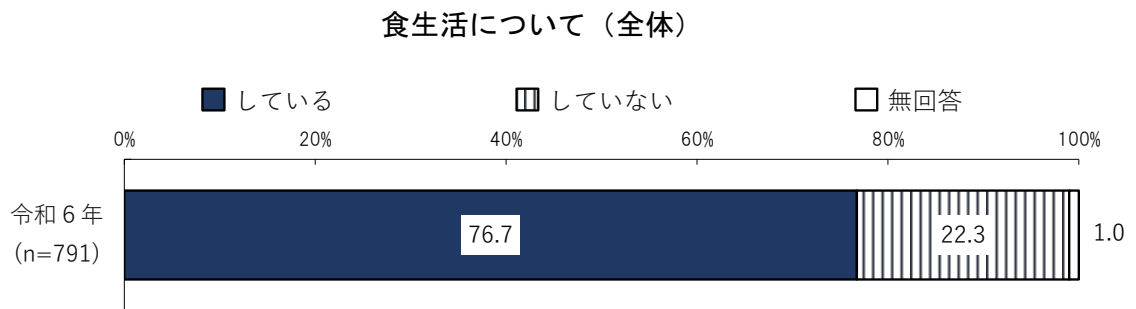


(3)健康増進について

問15③ あなたは、日常、健康増進のために食生活に気をつけていますか。

■食生活に気をつけているが「している」が76.7%。

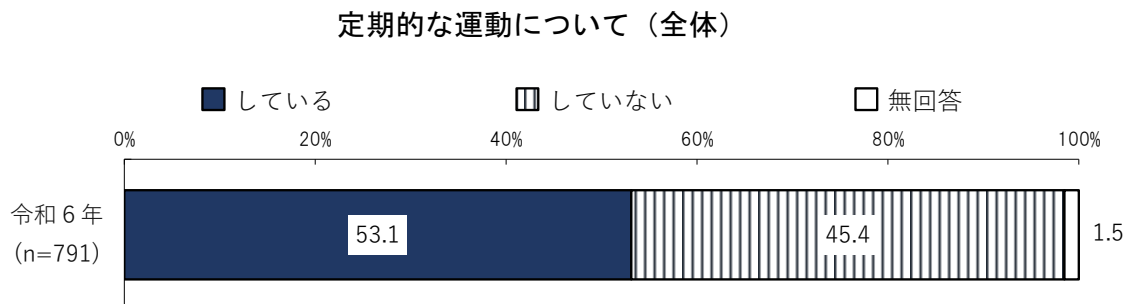
健康増進のために食生活に気をつけているかについて、「している」が76.7%となっています。



問15④ あなたは、日常、健康増進のために定期的な運動をしていますか。

■定期的な運動をしているを「している」が53.1%。

健康増進のために定期的な運動をしているかについて、「している」が53.1%となっています。

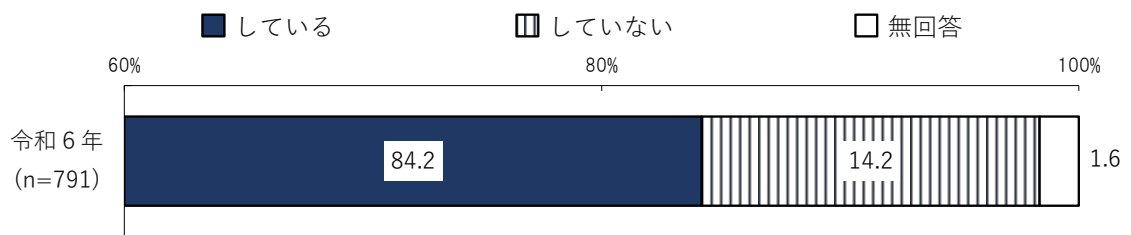


問15⑤ あなたは、日常、健康増進のために休養・睡眠をとるようにしていますか。

■健康増進のための休養・睡眠をとる取り組みを「している」が84.2%。

健康増進のために休養・睡眠をとるようにしているかについて、「している」が84.2%となっています。

休養・睡眠について（全体）

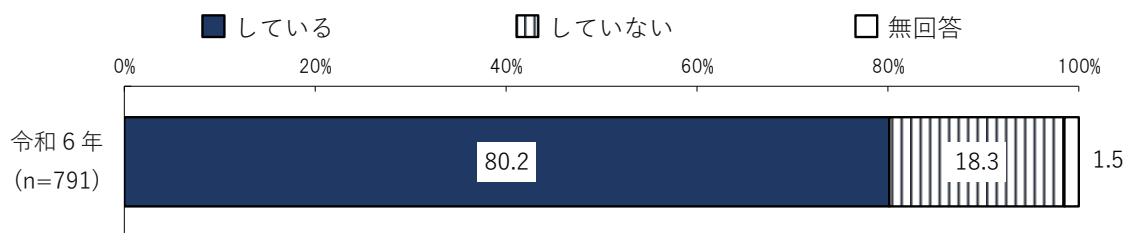


問15⑥ あなたは、日常、健康増進のために健康診査を受診していますか。

■健康診査の受診を「している」が80.2%。

健康増進のために健康診査を受診しているかについて、「している」が80.2%となっています。

健康診査を受診について（全体）



(4) かかりつけ医について

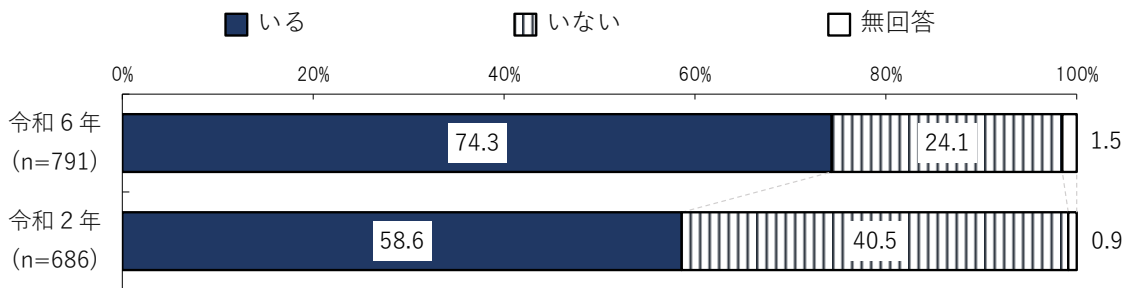
問15⑦ あなたには、日常の健康管理や病気のことなど、気軽に相談できるかかりつけ医がいますか。

■気軽に相談できるかかりつけ医が「いる」が74.3%。

気軽に相談できるかかりつけ医の有無については、「いる」が74.3%と7割強となっています。

令和2年調査と比べると、15.7ポイント増加しています。

かかりつけ医について（全体）



(5) 地域福祉活動について

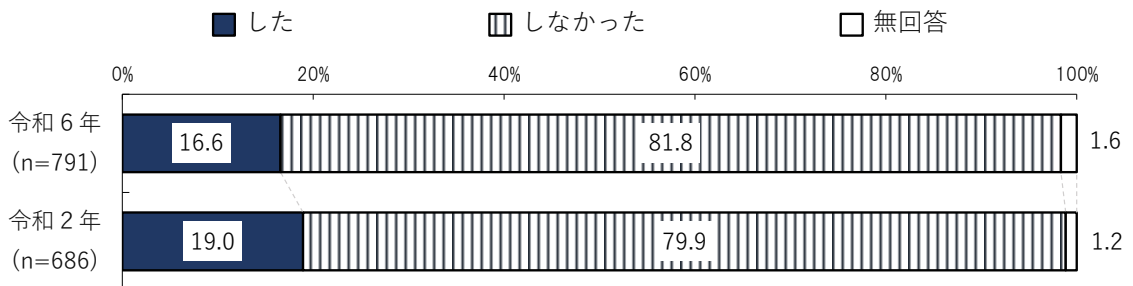
問15⑧ あなたは、この1年間に、身近な地域での見守り、支え合いなど、地域福祉活動に参加しましたか。

■地域福祉活動に参加「した」が16.6%。

身近な地域での見守りなど地域福祉活動への参加については、「した」が16.6%と約2割弱となっています。

令和2年調査と比べるとやや減少しています。

地域福祉活動について（全体）



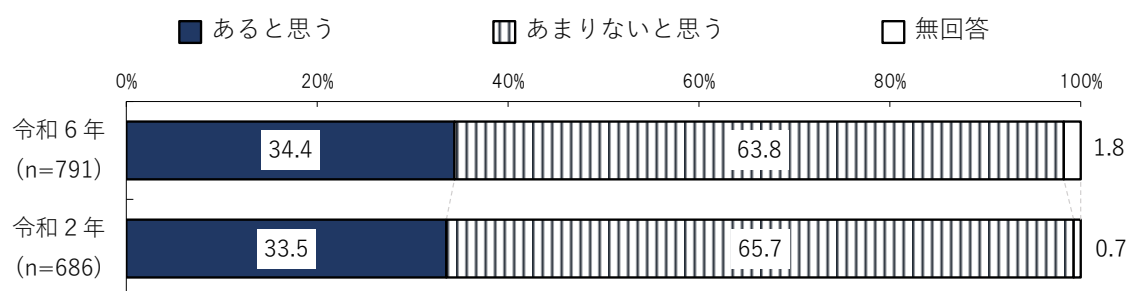
(6)地域とのつながりについて

問15⑨ あなた自身は、地域とのつながりがある方だと思いますか。

■地域とのつながりが「あると思う」が34.4%。

地域とのつながりについて、「あると思う」が34.4%となっています。
令和2年調査と大きな違いはありません。

地域とのつながりについて（全体）



Ⅲ. 調査結果

(御浜町の暮らしやすさの幸福度に関するアンケート調査)

Ⅲ. 調査結果(御浜町の暮らしやすさの幸福度に関するアンケート調査)

1.暮らしやすさの幸福度について

(1)生活環境について

問16 生活環境に関する次の項目について、あなたのお考えに当てはまるものを選んでください。

- 「非常に当てはまる」の割合が最も多い項目は、『⑤自宅には、心地のいい居場所がある』。「全くあてはまらない」の割合が最も多い項目は、『⑧公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる』
-

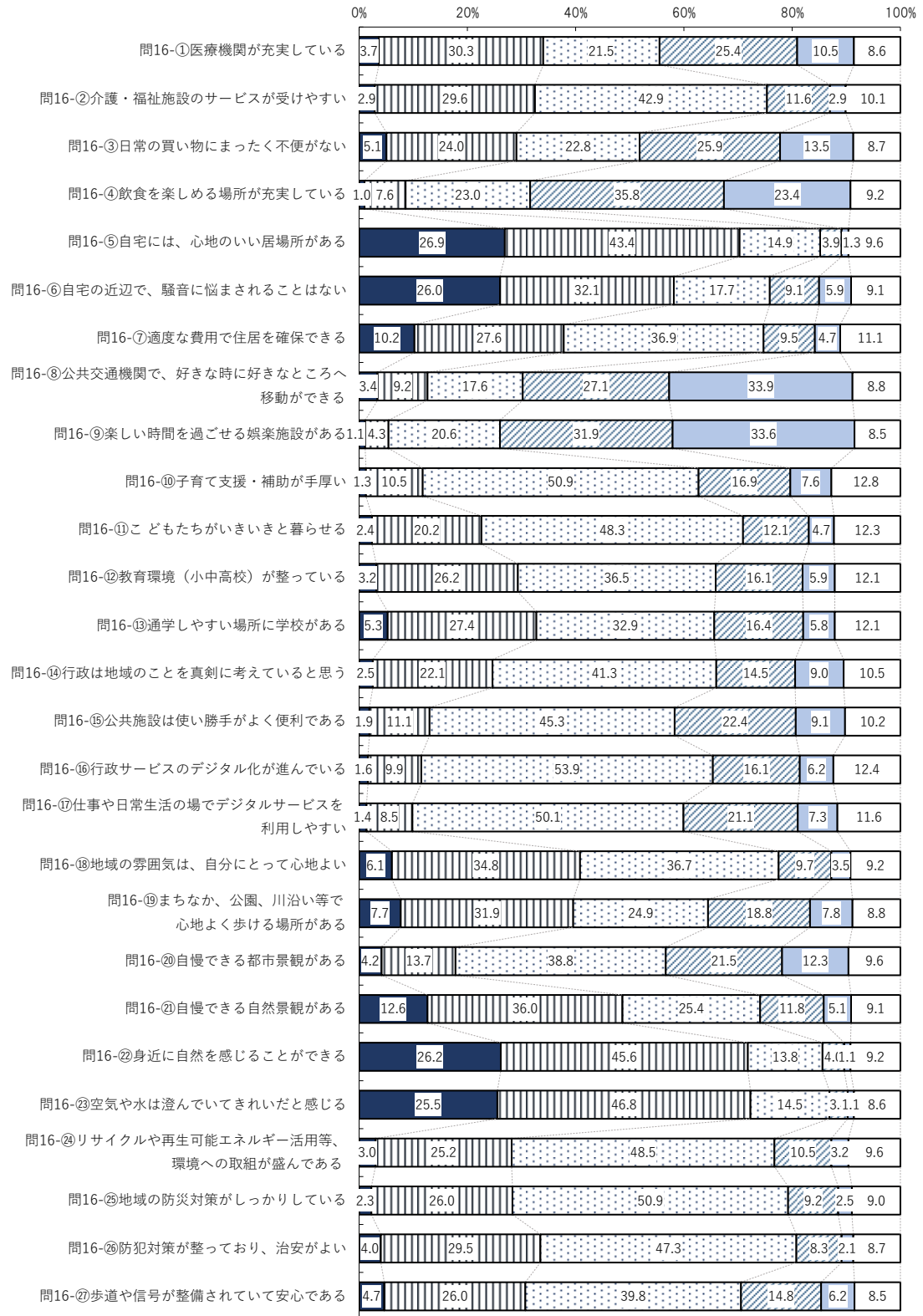
生活環境に関する27の項目について状況をたずねたところ、「非常に当てはまる」の割合が最も多い項目は、『⑤自宅には、心地のいい居場所がある』で26.9%、次いで『⑫身近に自然を感じることができる』(26.2%)、『⑥自宅の近辺で、騒音に悩まされることはない』(26.0%)、『⑬空気や水は澄んでいてきれいだと感じる』(25.5%)が続きます。

一方、「全くあてはまらない」の割合が最も多い項目は、『⑧公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる』(33.9%)、『⑨楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある』(33.6%)は3割強になっており、次いで『④飲食を楽しめる場所が充実している』(23.4%)の順となっています。

生活環境について（全体）

令和6年(n=791)

非常に当てはまる
 ある程度当てはまる
 どちらともいえない
 あまり当てはまらない
 全く当てはまらない
 無回答



(2)地域の人間関係について

問17 地域の人間関係に関する次の項目について、あなたのお考えに当てはまるものを選んでください。

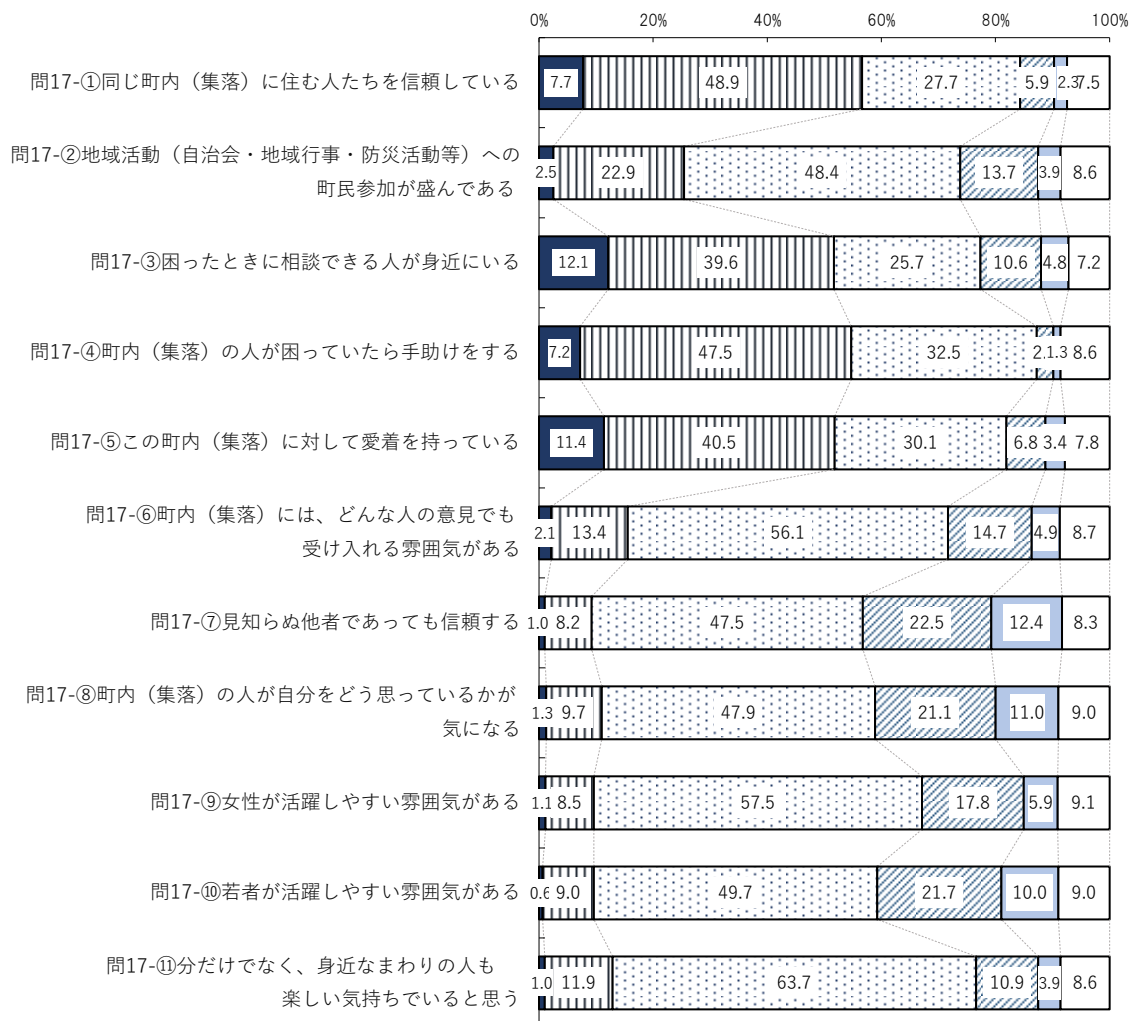
- 「非常に当てはまる」の割合が最も多い項目は、『③困ったときに相談できる人が身近にいる』。「全くあてはまらない」の割合が最も多い項目は、『⑦見知らぬ他者であっても信頼する』

地域の人間関係に関する11の項目について状況をたずねたところ、「非常に当てはまる」の割合が最も多い項目は、『③困ったときに相談できる人が身近にいる』で12.1%、次いで『⑤この町内（集落）に対して愛着を持っている』（11.4%）といなっています。一方、「全くあてはまらない」の割合が最も多い項目は、『⑦見知らぬ他者であっても信頼する』（12.4%）、『⑧町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる』（11.0%）は1割強になっています。

地域の人間関係について（全体）

令和6年(n=791)

■ 非常に当てはまる □ ある程度当てはまる □ どちらともいえない
 ▨ あまり当てはまらない □ 全くあてはまらない □ 無回答



(3)自分らしい生き方について

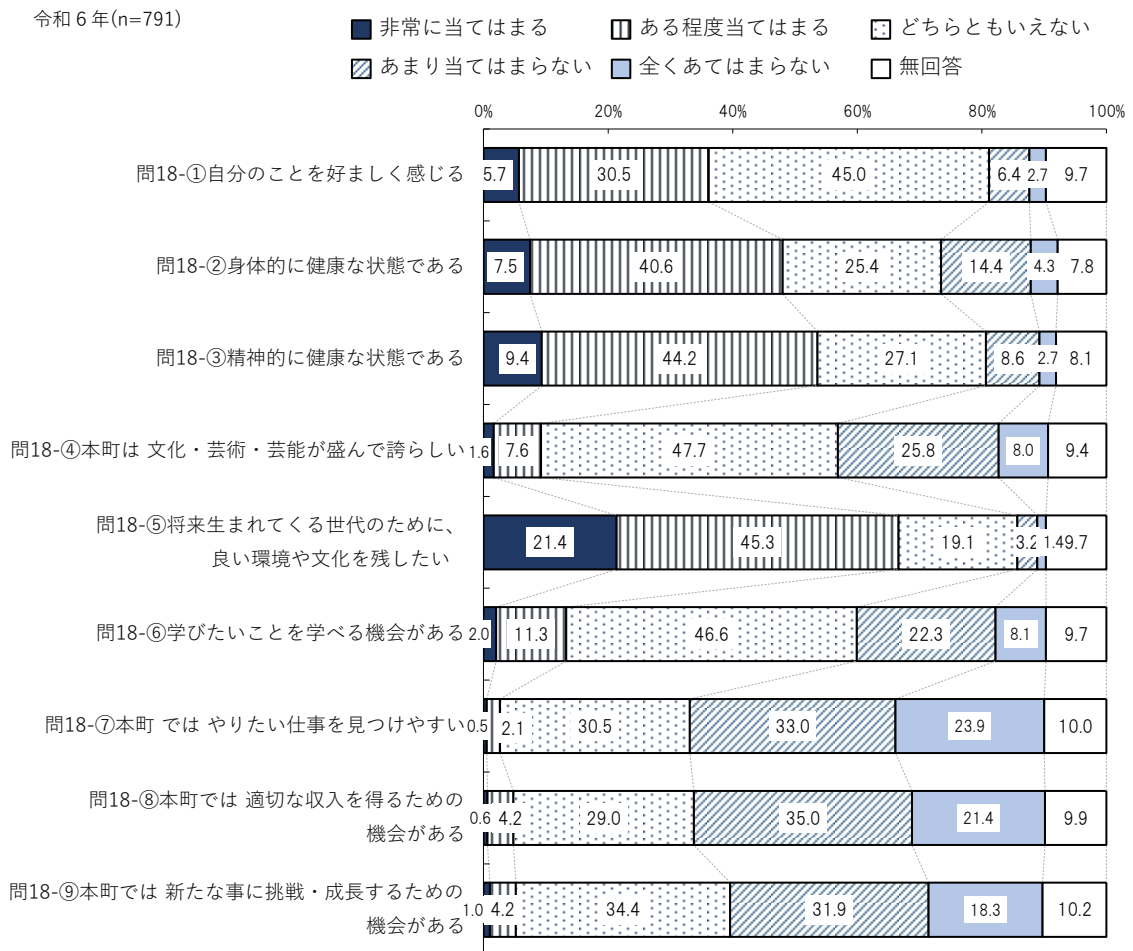
問18 自分らしい生き方に関する次の項目について、あなたのお考えに当てはまるものを選んでください。

■「非常に当てはまる」の割合が最も多い項目は、『⑤将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい』。「全く当てはまらない」の割合が最も多い項目は、『⑦本町ではやりたい仕事を見つけやすい』

自分らしい生き方に関する 11 の項目について状況をたずねたところ、「非常に当てはまる」の割合が最も多い項目は、『⑤将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい』で 21.4%となっています。次いで『③精神的に健康な状態である』(9.4%)といなっています。

一方、「全く当てはまらない」の割合が最も多い項目は、『⑦本町ではやりたい仕事を見つけやすい』(23.9%)、『⑧本町では適切な収入を得るための機会がある』(21.4%)、『⑨本町では新たな事に挑戦・成長するための機会がある』(18.3%)となっています。

自分らしい生き方について（全体）



(4)幸福度について

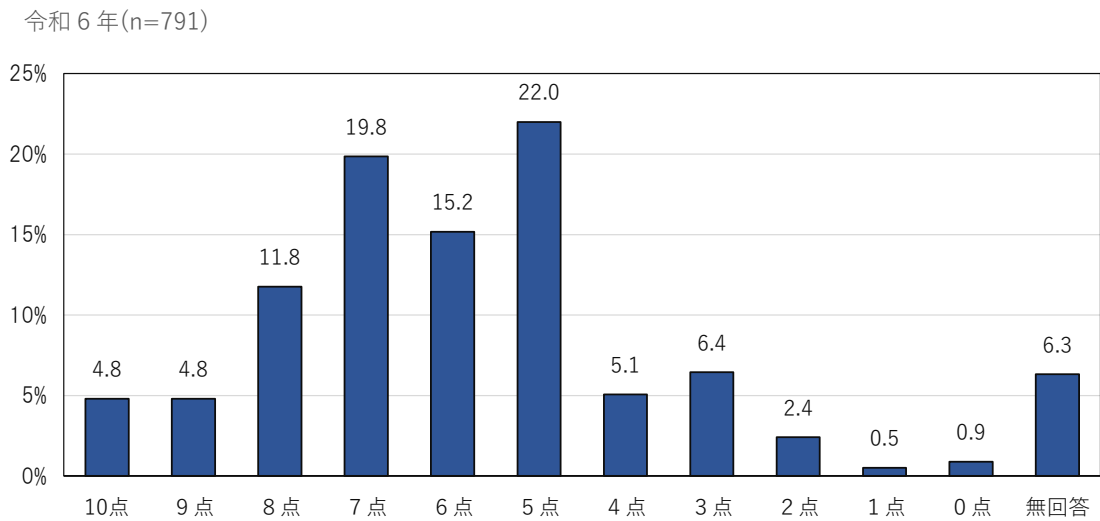
問19 あなたは、御浜町での暮らしをどの程度「幸せ」だと感じていますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点になると思いますか。

■ 「5点」が最も多く22.0%。次いで「7点」(19.8%)の順。

御浜町での暮らしの幸福度については、「5点」が最も多く22.0%、次いで「7点」(19.8%)、「6点」(15.2%)の順となっています。

0～4点を低得点群、5～7点を中得点群、8～10点を高得点群とすると、中得点群(57.0%)が最も多く、次いで高得点群(21.4%)となっています。

御浜町での暮らしの幸福度について (全体)



問20 あなたは、現在住んでいる地域での暮らしにどの程度「満足」していますか。「とても満足」を10点、「とても不満足」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。

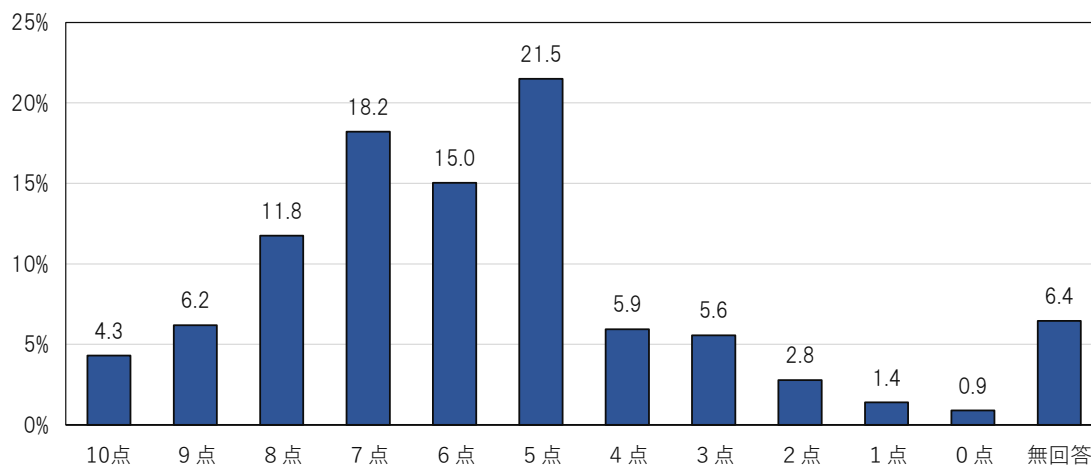
■ 「5点」が最も多く21.5%。次いで「7点」(18.2%)の順。

現在住んでいる地域での暮らしの幸福度については、「5点」が21.5%と最も多く、次いで「7点」(18.2%)、「6点」(15.0%)の順となっています。

0～4点を低得点群、5～7点を中得点群、8～10点を高得点群とすると、中得点群(54.7%)が最も多く、次いで高得点群(22.3%)となっています。

現在住んでいる地域での暮らしの幸福度について（全体）

令和6年(n=791)



問21 あなたの町内（集落）の人々は、大体において、どれぐらい「幸せ」だと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。（ご自分の同居家族は対象外とします。）

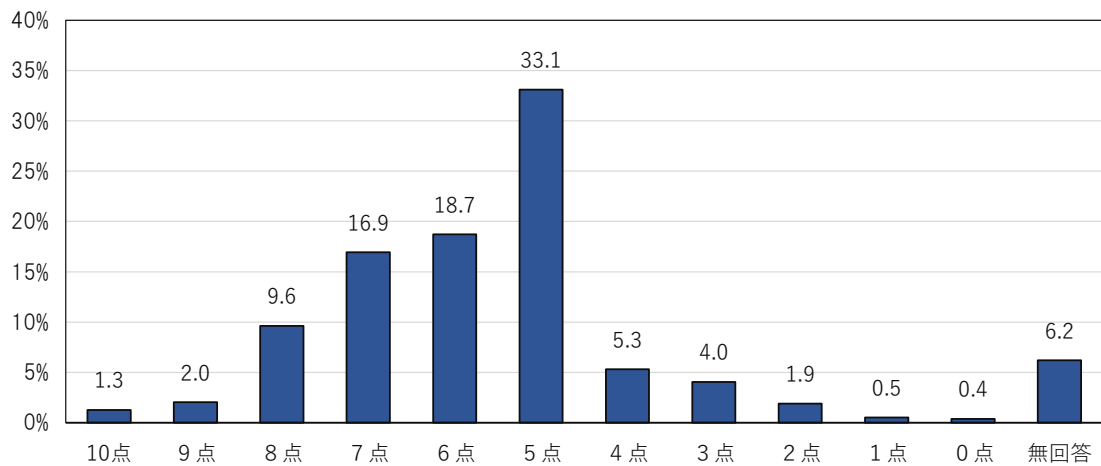
■ 「5点」が最も多く33.1%。次いで「6点」（18.7%）の順。

町内（集落）の人々の幸福度については、「5点」が33.1%と最も多く、次いで「6点」（18.7%）、「7点」（16.9%）の順となっています。

0～4点を低得点群、5～7点を中得点群、8～10点を高得点群とすると、中得点群（68.7%）が最も多く、次いで高得点群（12.9%）となっています。

町内（集落）の人々の幸福度について（全体）

令和6年(n=791)



問22 今から5年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。

■ 「5点」が最も多く26.0%。次いで「7点」(14.9%)の順。

今から5年後の暮らしの幸福度については、「5点」が26.0%と最も多く、次いで「7点」(14.9%)、「6点」(13.1%)の順となっています。

0～4点を低得点群、5～7点を中得点群、8～10点を高得点群とすると、中得点群(54.0%)が最も多く、次いで低得点群(23.1%)となっています。

今から5年後の暮らしの幸福度について (全体)

令和6年(n=791)

